



THE NATIONAL
ART CENTER, TOKYO
国立新美術館

NACT REPORT
APRIL 2011-MARCH 2012
平成23年度 活動報告

平成23年度
国立新美術館 活動報告

NACT REPORT
April 2011 - March 2012
The National Art Center, Tokyo

目次 Contents

1	平成23年度主要記事	Record of Events April 2011 – March 2012	5
2	展覧会	Exhibitions	7
2-1	平成23年度展覧会一覧	List of Exhibitions April 2011 – March 2012	8
2-2	平成22年度までの展覧会一覧	List of Past Exhibitions to March 2011	10
2-3	展覧会記録	Exhibition Details	14
3	美術団体等への展覧会会場提供	Provision of Exhibition Venues to Artist Associations	27
4	教育普及	Education and Public Programs	35
4-1	講演会等	Lectures, etc.	36
4-2	ワークショップ	Workshops	40
4-3	インターンシップ、ボランティア	Internships and Volunteering	41
4-4	その他の教育普及事業	Other Education and Public Programs	41
5	情報資料収集・提供	Collection and Provision of the Library and Information Services	43
5-1	美術関連資料の収集と公開	Collection and Provision of the Library Materials	44
5-2	JACプロジェクト	JAC Project	46
5-3	展覧会情報の収集と提供	Collection and Provision of the Information Services	46
6	広報・出版	Publicity and Publications	47
6-1	印刷物	Publications	48
6-2	ホームページ	Website	53
6-3	広報活動	Publicity Activities	53
7	調査・研究	Research	57
8	その他の事業	Other Programs and Events	61
9	記録	Records	65
9-1	入場者数	Number of Visitors	66
9-2	予算	Revenue and Expenditure	66
9-3	企業協賛	Corporate Support	66
9-4	来館者サービス	Visitor Services	66
9-5	国際交流	International Exchanges	68
9-6	展覧会出品リスト	List of Works	74
9-7	名簿	The NACT Council and Staff List	90

主な事業

平成23(2011)年

- 6月8日 「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展
印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション」開催
(～9月5日)
- 9月28日 「モダン・アート, アメリカン—珠玉のフィリップス・
コレクション—」開催(～12月12日)
- 9月29日 国立新美術館評議員会(平成23年度)開催

平成24(2012)年

- 1月14日 「未来を担う美術家たち DOMANI・明日展
文化庁芸術家在外研修の成果」開催(～2月12日)
- 1月18日 「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」開催(～4月2日)
- 2月22日 「平成23年度[第15回]文化庁メディア芸術祭」開催
(～3月4日)
- 3月28日 「セザンヌ—パリとプロヴァンス」開催(～6月11日)

トピックス

平成23(2011)年

- 6月20日 延べ展覧会入場者数1200万人を達成
- 9月27日 森文部科学副大臣「モダン・アート, アメリカン
—珠玉のフィリップス・コレクション—」内覧会御臨席
- 11月6日 中川文部科学大臣「第43回日展」御観覧
- 11月28日 延べ展覧会入場者数1300万人を達成

平成24(2012)年

- 1月21日 開館5周年(1月18日から1月30日まで記念事業を開催)
- 3月24日 六本木アートナイト2012開催(～3月25日)

協力等

平成23(2011)年

- 10月8日 「2011(第30回)みなと区民まつり」(～10月9日)協賛
(主催:みなと区民まつり実行委員会)



4月27日 チャリティコンサート

東日本大震災後の対応

開館時間の短縮等

- 4月1日(金)～4日(月) 開館時間を10時～16時に短縮。
4月6日(水)～11日(月) 平日の開館時間は10時～17時。土日は通常どおり。
4月13日(水)～ 10時～18時開館。但し、金曜日の夜間開館は行わない。
6月10日(金) 金曜日の夜間開館を再開
※参考(平成22年度)
臨時休館: 3月12日(土)、14日(月)、16日(水)～18日(金)、23日(水)～25日(金)
開館時間の短縮:
3月19日(土)～21日(月・祝)、26日(土)～28日(月)、30日(水)、31日(木) 10時～16時

節電対策

- ・震災発生後、空調、照明、エレベーター及びエスカレーターなどの運転制限、一部施設の休業を実施
- ・大口需要家に対する電気事業法第27条に基づく電気の使用制限を受け、節電対策を実施
(使用制限期間: 7月1日(金)～9月9日(金))
- 夏期の自主企画展「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」の開催を延期
- 企画展示室2Eを閉室(空調機の停止、展示室内照明の消灯)
- 鑑賞環境に配慮しつつ、公募展示室内照明の減光、休憩室照明の間引き、展示室内空調温度の制限
- ロビー、執務室等の照明の間引き、減光、消灯
- エレベーター及びエスカレーターを一部停止、トイレのエアタオルの使用停止 等
- 使用制限解除後も、来館者の利便性を考慮しつつ、引き続き節電に努めた。

被災者支援

- ・「シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—」ナビゲーター・リサとガスパールによる募金呼びかけ日時: 4月20日(水)13時、14時、15時(各15分間)
場所: 国立新美術館 展示室1E前、1階ロビー
- ・「シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—」チャリティコンサート
日時: 4月27日(水)13時～13時45分、15時～15時45分
会場: 国立新美術館 1階ロビー
出演: 鈴木重子(ボーカル)、ウォン・ウィンツァン(ピアノ)
参加者数: 446人(全2回)
- ・館内に募金箱を設置
期間: 3月19日(土)～9月5日(月)
(5月13日(金)には、募金にご協力いただいた方に先着順で展覧会のポスターをプレゼントする募金呼びかけを行った。)いずれも集まった義援金は、日本赤十字社を通じて被災地に寄付した。

「文化財レスキュー事業」への協力

- ・被災した文化財等の救出、応急措置等に従事する「文化財レスキュー事業」に協力するため、職員を被災地に派遣した。
- ・「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」ミニコンサートにおける募金活動
日時: 6月7日(火)18時～18時30分
会場: 国立新美術館 1階ロビー
出演: アンジェラ・アキ
会場で募金を行い、あわせて関連グッズ等の販売による売り上げ金額の一部を義援金として文化財レスキュー事業に寄付した。

全国美術館会議の震災救援・支援活動に対する募金協力

- 館内に募金箱を設置し募金協力を呼びかけた。
期間: 9月7日(水)～

2

展覧会

Exhibitions

2-1 平成23年度展覧会一覧

List of Exhibitions April 2011 — March 2012

2-2 平成22年度までの展覧会一覧

List of Past Exhibitions to March 2011

2-3 展覧会記録

Exhibition Details

2-1 平成23年度展覧会一覧 List of Exhibitions April 2011-March 2012

シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—

Le Surréalisme: Exposition organisée par le Centre Pompidou à partir de sa collection

会期：平成23(2011)年2月9日(水)～5月15日(日)

日数：41日(全会期；77日)

※東日本大震災の影響により、会期および開館日を変更。当初の会期は5月9日(月)まで。3月の臨時休館(計8日)に伴い、5月6日(金)、10日(火)は開館。

入場者数：107,655人(1日平均2,467人)(全会期；189,971人)

入場：有料

種別：共催展



アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち

Artist File 2011—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成23(2011)年3月19日(土)～6月6日(月)

日数：60日(全会期；68日)

※東日本大震災の影響により、会期および開館日を変更。当初の会期は3月16日(水)から。3月の臨時休館(計8日)に伴い、5月6日(金)、10日(火)は開館。

入場者数：19,482人(1日平均325人)(全会期；21,114人)

入場：有料

種別：自主企画展



ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション

Impressionist and Post-Impressionist Masterpieces from the National Gallery of Art

会期：平成23(2011)年6月8日(水)～9月5日(月)

日数：78日

入場者数：380,304人(1日平均4,876人)

入場：有料

種別：共催展



モダン・アート, アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—

To See as Artists See: American Art from the Phillips Collection

会期：平成23(2011)年9月28日(水)～12月12日(月)

日数：66日

入場者数：88,853人(1日平均1,346人)

入場：有料

種別：共催展



未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果
“DOMANI: The Art of Tomorrow” Exhibition, The Achievements of the Japanese
Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural
Affairs

会期：平成24(2012)年1月14日(土)～2月12日(日)
日数：26日
入場者数：16,448人(1日平均633人)
入場：有料
種別：共催展



野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿
NODA Hiroji 1981-2011

会期：平成24(2012)年1月18日(水)～4月2日(月)
日数：64日(全会期；66日)
入場者数：20,338人(1日平均317人)(全会期；21,151人)
入場：有料
種別：自主企画展



平成23年度[第15回]文化庁メディア芸術祭
2011[15th] Japan Media Arts Festival

会期：平成24年(2012)年2月22日(水)～3月4日(日)
日数：11日
入場者数：45,175人(1日平均4,107人)
入場：無料
種別：共催展



セザンヌーパリとプロヴァンス
Cézanne. Paris-Provence

会期：平成24(2012)年3月28日(水)～6月11日(月)
日数：4日(全会期；66日)
入場者数：11,745人(1日平均2,936人)(全会期；302,239人)
入場：有料
種別：共催展



2-2 平成22年度までの展覧会一覧 List of Past Exhibitions to March 2011

国立新美術館開館記念展 20世紀美術探検—アーティストたちの三つの冒険物語—
Living in the Material World—‘Things’ in Art of the 20th Century and Beyond

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)

黒川紀章展—機械の時代から生命の時代へ
KISHO KUROKAWA: From the Age of the Machine to the Age of Life

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)

文化庁メディア芸術祭10周年企画展 日本の表現力
The Power of Expression, JAPAN

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～2月4日(日)

エトランジェ
異邦人たちのパリ1900-2005 ポンピドー・センター所蔵作品展
Paris du monde entier: Artistes étrangers à Paris 1900-2005. Exposition organisée par le Centre Pompidou

会期：平成19(2007)年2月7日(水)～5月7日(月)

大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産
Claude Monet: L'art de Monet et sa postérité

会期：平成19(2007)年4月7日(土)～7月2日(月)

スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション
Skin + Bones: Parallel Practices in Fashion and Architecture

会期：平成19(2007)年6月6日(水)～8月13日(月)

日展100年
The 100th Anniversary of NITTEN

会期：平成19(2007)年7月25日(水)～9月3日(月)

パーソナル フォト アーカイブス
安齊重男の“私・写・録”1970-2006
ANZAI: Personal Photo Archives 1970-2006

会期：平成19(2007)年9月5日(水)～10月22日(月)

アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展
Milkmaid by Vermeer and Dutch Genre Painting—Masterworks from the Rijksmuseum Amsterdam

会期：平成19(2007)年9月26日(水)～12月17日(月)

文化庁芸術家在外研修制度40周年記念 『旅』展—異文化との出会い、そして対話—
The 40th Anniversary of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs: Journey—Encounters and Dialogues with Foreign Cultures

会期：平成19(2007)年12月15日(土)～平成20(2008)年1月28日(月)

没後50年 横山大観—新たなる伝説へ
YOKOYAMA TAIKAN Fifty Years On—A legend in the making

会期：平成20(2008)年1月23日(水)～3月3日(月)

平成19年度[第11回]文化庁メディア芸術祭
2007 [11th] Japan Media Arts Festival

会期：平成20(2008)年2月6日(水)～2月17日(日)

アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち
Artist File 2008—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成20(2008)年3月5日(水)～5月6日(火・祝)

モディリアーニ展
Modigliani et le Primitivisme

会期：平成20(2008)年3月26日(水)～6月9日(月)

エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家

Utopia: the Genius of Emily Kame Kngwarreye

会期：平成20(2008)年5月28日(水)～7月28日(月)

ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密

European Still-Life Painting from the Kunsthistorisches Museum Wien

会期：平成20(2008)年7月2日(水)～9月15日(月・祝)

アヴァンギャルド・チャイナ—〈中国当代美術〉二十年—

AVANT-GARDE CHINA: Twenty Years of Chinese Contemporary Art

会期：平成20(2008)年8月20日(水)～10月20日(月)

巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡

PICASSO: Sa vie et sa création

会期：平成20(2008)年10月4日(土)～12月14日(日)

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2008 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2008” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成20(2008)年12月13日(土)～平成21(2009)年1月26日(月)

加山又造展

KAYAMA Matazo Retrospective

会期：平成21(2009)年1月21日(水)～3月2日(月)

平成20年度[第12回]文化庁メディア芸術祭

2008 [12th] Japan Media Arts Festival

会期：平成21(2009)年2月4日(水)～2月15日(日)

アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち

Artist File 2009—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成21(2009)年3月4日(水)～5月6日(水・祝)

ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち

L'enfant dans les collections du Musée du Louvre

会期：平成21(2009)年3月25日(水)～6月1日(月)

野村仁 変化する相—時・場・身体

NOMURA HITOSHI: PERCEPTIONS-CHANGES IN TIME AND FIELD

会期：平成21(2009)年5月27日(水)～7月27日(月)

ルネ・ラリック 華やぎのジュエリーから煌きのガラスへ

René Lalique: A Retrospective

会期：平成21(2009)年6月24日(水)～9月7日(月)

光 松本陽子／野口里佳

The Light: MATSUMOTO Yoko / NOGUCHI Rika

会期：平成21(2009)年8月19日(水)～10月19日(月)

THEハプスブルク

Treasures of Habsburg Monarchy 140th Jubilee of the Friendship Treaty between Austria — Hungary and Japan

会期：平成21(2009)年9月25日(金)～12月14日(月)

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2009 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2009” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成21(2009)年12月12日(土)～平成22(2010)年1月24日(日)

ルノワール—伝統と革新

Renoir: Tradition and Innovation

会期：平成22(2010)年1月20日(水)～4月5日(月)

平成21年度[第13回]文化庁メディア芸術祭

2009 [13th] Japan Media Arts Festival

会期：平成22(2010)年2月3日(水)～2月14日(日)

アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち

Artist File 2010—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成22(2010)年3月3日(水)～5月5日(水・祝)

ルーシー・リー展

Rucie Rie: A Retrospective

会期：平成22(2010)年4月28日(水)～6月21日(月)

オルセー美術館展2010「ポスト印象派」

Post-impressionisme 115 chefs-d'œuvre de la collection du Musée d'Orsay

会期：平成22(2010)年5月26日(水)～8月16日(月)

マン・レイ展

Man Ray: Unconcerned But Not Indifferent

会期：平成22(2010)年7月14日(水)～9月13日(月)

陰影礼讃—国立美術館コレクションによる

SHADOWS: Works from the Collections of the National Museums of Art

会期：平成22(2010)年9月8日(水)～10月18日(月)

没後120年 ゴッホ展

Van Gogh: The Adventure of becoming an Artist

会期：平成22(2010)年10月1日(金)～12月20日(月)

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2010 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2010” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成22(2010)年12月11日(土)～平成23(2011)年1月23日(日)

平成22年度[第14回]文化庁メディア芸術祭

2010 [14th] Japan Media Arts Festival

会期：平成23(2011)年2月2日(水)～2月13日(日)

2-3 展覧会記録 Exhibition Details

シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—
Le Surréalisme: Exposition organisée par le Centre Pompidou à partir de sa collection

会期：平成23(2011)年2月9日(水)～5月15日(日)

日数：41日(全会期；77日)

※東日本大震災の影響により、会期および開館日を変更。当初の会期は5月9日(月)まで。3月の臨時休館(計8日)に伴い、5月6日(金)、10(火)は開館。

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：107,655人(1日平均2,467人)(全会期；189,971人)

入場：有料

主催：国立新美術館、ポンピドゥセンター、読売新聞社、日本テレビ放送網

後援：外務省、フランス大使館

協賛：大日本印刷

協力：エールフランス航空、ソニー・クリエイティブプロダクツ

監修：ディディエ・オットンジエ(ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 副館長)
南雄介(学芸課長)



4月23日 講演会

講演会等：

●講演会「シュルレアリスムと美術」

日時：4月23日(土)14時～16時

※東日本大震災の影響により日程変更、当初は3月12日(土)。

講演者：巖谷國士(美術評論家、仏文学者)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：301人

関連事業：

●シュルレアリスム映画上映会

「眠るパリ」「ヒトデ」「黄金時代」「アンダルシアの犬」

日時：4月9日(土)14時～16時

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：138人

※本展の平成22年度開催記録および出品リストは、
『平成22年度 国立新美術館活動報告』に記載した。

アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち
Artist File 2011—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成23(2011)年3月19日(土)～6月6日(月)
日数：60日(全会期；68日)
※東日本大震災の影響により、会期および開館日を変更。当初の会期は3月16日(水)から。3月の臨時休館(計8日)に伴い、5月6日(金)、10(火)は開館。
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：19,482人(1日平均324人)(全会期；21,114人)
入場：有料
主催：国立新美術館

講演会等：

●アーティスト・トーク

日時：4月16日(土)14時～16時

講演：岩熊力也(出品作家)

ゲスト：ボンちゃん人形(腹話術師)による紙芝居

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：40人

●アーティスト・トーク

日時：4月29日(金・祝)14時～15時

※東日本大震災の影響により日程変更、当初は3月26日(土)。

対談：松江泰治(出品作家)×松井みどり(美術評論家)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：52人

●フィルム上映会+アーティスト・トーク

日時：5月3日(火・祝)1回目：11時～12時15分

2回目：13時～14時15分

※東日本大震災の影響により日程変更、当初は3月21日(月・祝)。

講演：ビョルン・メルフス(出品作家)

※インターネット中継により、ドイツから映像出演。

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：25人

関連事業：

●アーティスト・ワークショップ「暮らしを見つめる 粘土で作ってみる」

日時：5月7日(土)12時30分～16時

講師：中井川由季(出品作家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他

対象：小学生以上

参加者数：18人

※本展の平成22年度開催記録および出品リストは、『平成22年度 国立新美術館活動報告』に記載した。



4月16日 アーティスト・トーク



4月29日 アーティスト・トーク

ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション
Impressionist and Post-Impressionist Masterpieces from the National Gallery of Art

ワシントン・ナショナル・ギャラリーが所蔵する作品のなかから、日本初公開作品を中心に、日本で人気の高い印象派、ポスト印象派の計83点を紹介する展覧会であった。マネ、モネ、ドガ、ルノワール、カサット、スーラ、ゴーギャン、ファン・ゴッホ、セザンヌなど23名の画家たちの代表作により、印象派以前～印象派～ポスト印象派の流れを追える内容とした。第1章「印象派登場まで」、第2章「印象派」、第3章「紙の上の印象派」、第4章「ポスト印象派」の4章で構成した。

ワシントン・ナショナル・ギャラリー展は1999年にも東京と京都で開催されているが、出品作品は85点とほぼ今回と同数ながら、印象派以前から20世紀までの作品とフェルメール、グレコ、ティツィアーノらオールド・マスターの作品が混在する内容であった。それに比べると今回は、印象派以前からポスト印象派までに対象を絞ってテーマを明確にし、かつ前回よりも質の高く日本初公開の作品が多数出品された点で、より充実した内容になった。また、前回の展覧会では簡単にふれられるのみであったワシントン・ナショナル・ギャラリーでのコレクションの形成史、印象派、ポスト印象派のコレクションの特色の紹介にも力を割き、前回との差異化を図った。

展覧会においては、印象派、ポスト印象派の紙作品を「紙の上の印象派」として第3章にまとめ、印象派、ポスト印象派の画家たちがカンヴァスと同等に重要視していた紙というメディアに着目することで、内容に幅と深みを持たせた。また、ワシントン・ナショナル・ギャラリーで作品を鑑賞しているような気分を演出するため、同ギャラリーを模した会場作りを行った。カタログにおいては、たんなる印象派、ポスト印象派の概説的なテキストはやめ、コレクション自体をテーマにテキストを構成した。

This exhibition introduced 83 paintings from the collection of the National Gallery of Art, Washington primarily in the impressionist and post-impressionist genres, which are particularly popular in Japan. Most of the paintings in the exhibition were being shown in Japan for the first time. The exhibition featured representative works by 23 artists, carefully selected to illustrate the development of pre-impressionist, impressionist, and post-impressionist art, including Manet, Monet, Degas, Renoir, Cassatt, Seurat, Gauguin, Van Gogh, and Cézanne. The exhibition was divided into four sections: 1. Until the Advent of Impressionism, 2. Impressionism, 3. Impressionism on Paper, and 4. From Post-Impressionism.

A previous exhibition of paintings from the National Gallery of Art, Washington of a similar scale (85 artworks in total) was held in Tokyo and Kyoto in 1999, but that earlier exhibition was more mixed, including paintings by Old Masters such as Vermeer, El Greco, and Titian. In contrast, the present exhibition was more narrowly focused on paintings from the pre-impressionist through post-impressionist period. Moreover, the overall quality of the artworks was higher, and the exhibition featured more works that had never been shown in this country before. Another thing that distinguished this exhibition from its predecessor was the effort made to inform visitors about the history of the National Gallery of Art, Washington and the background to its collection of impressionist and post-impressionists, subjects that had been given only cursory treatment in the previous exhibition.

The inclusion of works on paper by impressionist and post-impressionist artists added breadth and depth to the exhibition. These works, which many of the impressionists and post-impressionists regarded as of equal value with paintings on canvas, were collected in Part 3 of the exhibition under the title "Impressionism on Paper." A special viewing space modeled on the National Gallery of Art, Washington was created to give visitors the sense that they were looking at the paintings in their normal setting. The exhibition catalogue provides an account of the National Gallery of Art, Washington collection itself, rather than just offering a simple outline of the impressionist and post-impressionist movements.

会期：平成23(2011)年6月8日(水)～9月5日(月)
日数：70日
会場：国立新美術館 企画展示室1E
入場者数：380,304人(1日平均4,876人)
入場：有料
主催：国立新美術館、日本テレビ放送網、読売新聞社
後援：外務省、アメリカ大使館
協賛：大日本印刷、日本興亜損害保険
協力：全日本空輸、日本貨物航空、日本通運、JR東日本、BS日テレ、
シーエス日本、ラジオ日本、J-WAVE、文化放送、tvk
企画協力：NTVヨーロッパ
巡回展：京都市美術館
平成23(2011)年9月13日(火)～11月27日(日)



講演会等：

●記念講演会「アメリカはいかにしてナショナル・ギャラリーを創ったか」

日時：6月12日(日)14時～15時30分

講演：ジョセフ・J・クラコーラ(ワシントン・ナショナル・ギャラリー
エグゼクティブ・オフィサー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：184人

●記念講演会「コレクターとしてのメアリー・カサット：世紀末アメリカにおけるヨーロッパ美術コレクションの形成」

日時：7月24日(日)14時～15時30分

講演：江崎聡子(東京工業大学世界文明センターフェロー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：136人

カタログ：『ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション Impressionist and Post-Impressionist Masterpieces from the National Gallery of Art』(並装版、和欧文)
A4変型、268ページ、図版カラー170点・白黒12点、30,000部(東京展のみ)

出品目録：仕上りA4判、二つ折、日本語 300,000部 英語30,000部

ポスター：B0判(5種)、75部

B1判(6種)、3,740部

B2判、500部

B3判(4種)、80,200部

チラシ：A4判(4種)、350,000部

仕上りA4判、二つ折、400,000部

関連記事：

読売新聞(夕刊)／平成23(2011)年6月9日～11日／市原尚士

The Daily Yomiuri／6月17日／Robert Reed

朝日新聞(夕刊)／6月22日／西岡一正

東京新聞(夕刊)／6月24日／三沢典文

ぶらぶら美術館博物館(BS日テレ)／7月5日

毎日新聞(夕刊)／7月6日／梅津時比古

日曜美術館(アートシーン)(NHK Eテレ)／7月10日

日本経済新聞／7月14日／平井章一(学芸課主任研究員)

毎日新聞(夕刊)／7月22日／岸圭子

産経新聞／7月24日／黒沢綾子

The Japan Times／6月23日／Jeff Micheal Hammond

婦人画報／8月号／鈴木芳雄

美術の窓／2月号／平井章一

芸術新潮／6月号／中野京子

他 多数

※出品リスト：pp. 74-76



6月12日 講演会



7月24日 講演会

モダン・アート、アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—
To See as Artists See: American Art from the Phillips Collection

ヨーロッパ近代絵画の優れた蒐集を誇るフィリップス・コレクション(ワシントンD.C.)は、1921年の開館以来、同時代のアメリカ人作家の作品を積極的に購入し、同国の若い芸術家を支援したことで知られる。本展では、ヨーロッパの影響を受けながらも独自の発展を遂げ、第二次世界大戦後に国際的な美術の潮流に影響を与えるに至るアメリカのモダン・アートの流れを、同コレクションの収蔵品を通して概観した。展覧会は10章(1. ロマン主義とリアリズム、2. 印象派、3. 自然の力、4. 自然と抽象、5. 近代生活、6. 都市、7. 記憶とアイデンティティ、8. キュビズムの遺産、9. 抽象表現主義への道、10. 抽象表現主義)で構成され、19世紀後半のモダニズムの黎明期から、ジョージア・オキーフやエドワード・ホッパーらアメリカン・モダニズムの時代を経て、ジャクソン・ポロックとマーク・ロスコに代表される抽象表現主義の隆盛まで、78作家の作品110点(絵画109点、彫刻1点)を展示した。アメリカのモダン・アート、特に19世紀後半から20世紀前半にかけてのアメリカ美術は日本で紹介される機会が少なく、本展は、アメリカの固有の風土と歴史の中で独自の表現を追求することによって培われたアメリカ美術の多様性を体感し、その歴史を辿る貴重な機会となった。

In addition to its famous collection of European modern painting, the Phillips Collection, located in Washington, D.C. is well known for its support for American modern art, having actively acquired works by contemporary American artists since its inception in 1921. This exhibition presented works from the Phillips Collection to trace the course of American modern art, from the first stirrings of a distinctive national identity despite the continuing influence of Europe, to its emergence as a major influence on mainstream international art in the years after World War II. The exhibition was organized into ten sections: 1. Romanticism and Realism, 2. Impressionism, 3. Forces in Nature, 4. Nature and Abstraction, 5. Modern Life, 6. The City, 7. Memory and Identity, 8. Legacy of Cubism, 9. Transitions to Abstract Expressionism, and 10. Abstract Expressionism. The exhibition comprised 110 works (109 paintings and 1 sculpture) by 78 artists, ranging from the dawn of modernism in the second half of the nineteenth century, through the age of American modernism as represented by the work of Georgia O'Keeffe and Edward Hopper, to the heyday of abstract expressionist artists like Jackson Pollock and Mark Rothko. Japanese art lovers have had few opportunities to enjoy exhibitions of American modern art, particularly American art from the late nineteenth to the early twentieth century. This exhibition therefore provided a valuable opportunity for museum goers in Japan to experience the full diversity of American modern art and to get a sense of its historical development, nurtured by the search for an independent American aesthetic that has reflected America's distinctive nature and history.

会期：平成23(2011)年9月28日(水)～12月12日(月)

日数：66日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：88,853人(1日平均1,346人)

入場：有料

主催：国立新美術館、フィリップス・コレクション、読売新聞社

後援：アメリカ合衆国大使館

協力：全日本空輸、日本貨物航空、J-WAVE

監修：スーザン・ペーレント・フランク(フィリップス・コレクション
アソシエイト・キュレーター)

講演会等：

●記念講演会「ダンカン・フィリップス：アメリカ美術のチャンピオン」

日時：9月28日(水)14時～15時30分

講演：スーザン・ペーレント・フランク(フィリップス・コレクション
アソシエイト・キュレーター)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：80人

●記念講演会「アメリカ・モダニズムの誕生をめぐって」

日時：10月16日(日)14時～15時30分

講演：松本典久(元慶応義塾大学教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：120人



カタログ：『モダン・アート、アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—』

A4変型、250ページ、図版カラー110点・白黒38点、6,000部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、70,000部

ポスター：B1判、960枚

B2判、2,620枚

B3判、22,200枚

B3変型(インターサイズ)、1,200枚

チラシ：A4判、80,000部

仕上りA4判、二つ折、初版120,000部・2版355,000部

鑑賞ガイド：「アメリカ『都会と自然』」

蛇腹折り(840×148mm)、16ページ、図版カラー7点、50,000部

関連記事：

読売新聞(夕刊)／平成23(2011年)9月9日／津村記久子、西野華子(学芸課主任研究員)

AUTUMN NAVIGATION(J-WAVE)／9月19日／西野華子

日本経済新聞／10月19日／宝玉正彦

ぶらぶら美術・博物館(BS日テレ)／10月25日／西野華子

朝日新聞(夕刊)／11月9日／大西若人

読売新聞／11月15日／西野華子

日曜美術館アートシーン(NHK教育)／11月27日／西野華子

他 多数

※出品リスト：pp. 77-79



9月28日 講演会



10月16日 講演会

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

文化庁は、将来の我が国芸術界を支える芸術家を支援するため、若手芸術家を海外に派遣し、その専門とする分野について研修の機会を提供する、「芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)」を昭和42年度から実施している。これまで13回開催してきた「DOMANI・明日展」は、国立新美術館に会場を移して4回目を迎える。今回は、美術界の様々なジャンルから選出された、現在活躍中の8名の作家がその研修の成果を発表した。また、在外研修発足から45周年の特別展示として、54名の作家が出品することで、多くの芸術家が様々な国で学んできた成果を展覧することができた。

Run by the Japanese Agency for Cultural Affairs since 1967, the Program of Overseas Study for Upcoming Artists gives young artists the opportunity to study abroad under specialists in their field, providing valuable support to the individuals who will build the foundations of the future Japanese art world.

Since 1998, the “DOMANI: The Art of Tomorrow” exhibition has been held to publicize the work of artists supported by the program. This was the thirteenth time the exhibition has been held, and the fourth year it has been held at the National Art Center, Tokyo. The exhibition presented the work of 8 artists working today selected from a wide variety of artistic genres. Additionally, in a special exhibit to mark 45 years since the program was launched, 54 graduates of the program exhibited their work, to present the benefits these artists have acquired from their studies overseas.

会期：平成24(2012)年1月14日(土)～2月12日(日)

日数：26日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：16,448人(1日平均633人)

入場：有料

主催：文化庁、国立新美術館

共催：読売新聞社

協力：(社)日本美術家連盟、在研会実行委員会

制作：アート・ベンチャー・オフィス ショウ

講演会等：

●ギャラリートーク

日時：1月15日(日)11時～

出演者：児嶋サコ、山口牧子、横澤典、綿引展子

会場：国立新美術館 企画展示室1E

参加者数：70人

●ギャラリートーク&コンサート

日時：1月27日(金)18時～

出演者：津田睦美+rimacona

会場：国立新美術館 企画展示室1E

参加者数：70人

●ギャラリートーク

日時：1月28日(土)11時～

出演者：奥谷博、福島瑞穂、柳澤紀子、峯田義郎

会場：国立新美術館 企画展示室1E

参加者数：70人

●ギャラリートーク

日時：1月29日(日)11時～

出演者：北久美子、北郷悟、久野和洋、田村能里子、宮いつき、谷中武彦、渡辺恂三

会場：国立新美術館 企画展示室1E

参加者数：80人

●ギャラリートーク

日時：2月4日(土)11時～

出演者：池田良二、今井信吾、内田あぐり、大成浩、絹谷幸二、高柳裕、中井貞次、馬越陽子

会場：国立新美術館 企画展示室1E

参加者数：80人



●ギャラリートーク

日時：2月5日(日)11時～

出演者：阿部守、塩谷亮、元田久治

会場：国立新美術館 企画展示室1E

参加者数：120人

カタログ：『未来を担う美術家たちDOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果』

A4変型、148ページ、カラー159点、2000部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、20,000部

ポスター：B1判、200部

チラシ：A4判、120,000部

関連記事

月刊美術／平成23年(2011)年12月20日／下川拓郎

月刊ボザール／平成24(2012)年1月1日／田淵至

メトロポリスマガジン／1月6日／マルガリータ市川

オズマガジン／1月12日／中村美枝

ポコチェ／1月25日／松本亜希

東京新聞(夕刊)／2月3日／三沢典丈

他 多数

※出品リスト：pp. 80-82



1月29日 ギャラリートーク

野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿
NODA Hiroji 1981-2011

野田裕示(のだ・ひろじ)は1952年に現在の和歌山県御坊市に生まれ、多摩美術大学を卒業した翌1977年には、日本の現代美術画廊の草創期を担った南画廊で個展を開催するなど、早くから才能を認められた画家である。しかし野田は、80年代に入るとそれまでの仕事を見直し、絵画の新しい可能性を求めて、様々な模索を始めている。

彼の絵画の本質を問う作業は、一種のレリーフ作品ともいえる箱状の造形によってスタートした。続く80年代半ばにはそれらが発展し、支持体を袋状に覆う独自の絵画スタイルが登場している。さらに90年代は、支持体のカンヴァスを縫い合わせたり、画面に貼り付けた綿布を折り返し重ねる手法によって深化が図られ、それらは各地の美術館に収蔵された。

しかし2000年を迎える頃には、より自在な図像を求めるために、画面に貼り付けられる綿布は部分的になり、切り抜かれたかたちと、作家の手になる形象との親密な関係が幾通りも生まれた。またこの時期の個展では、複数の画面を連結し、あるいは組み合わせた大作に挑み、モニュメンタルで意欲的な作品を残している。作家が、2001年に第51回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞したのは、当時の精力的な仕事ぶりが評価されたものと考えられる。

野田裕示は、これまで活発に発表活動を行ってきた作家の一人ではあるが、その初期から現在までを見直す機会はほとんどなかった。わずかに1995年に和歌山県立近代美術館で開催された近作展が、前半期の活動を概観するものであったが、それから15年の歳月が過ぎ去っている。東京で初の回顧展となった本展では、1981年以来、30年に及ぶ画家の取り組みを、140点の作品によって展覧した。作家が自身の造形思考をどのように深め、作品化してきたかを確認することは待望されたものであり、さらにこの展覧が、一人の優れた作家の足跡を辿ることに留まらず、今後の絵画の行く末に思いを馳せる機会となることも意図した。

Born in Gobo in Wakayama Prefecture in 1952, Noda Hiroji is an artist whose talent was recognized from an early age. In 1977, just one year after graduating from the Tama Art University, he had a solo show at the Minami gallery, an important pioneering gallery specializing in Japanese contemporary art. In the early 1980s, Noda took stock of his career to date and began to experiment with a number of new approaches in an attempt to unlock new possibilities for painting.

His search for the essence of painting began with box-shaped forms that were in effect a kind of relief. These works continued to appear into the mid-1980s, when Noda developed a distinctive style of painting in which the supporting medium was covered with a sack-like fabric. In the 1990s, he added further complexity by sewing canvases together or attaching fabrics and folding them back to create a layered painting surface. These pieces were much sought after by museums.

Around the turn of the millennium, Noda switched to a more partial use of fabric incorporated only into a small part of the painting surface. A diverse range of paintings resulted, featuring a close relationship between the cut-out sections and the designs created by the artist's hand. In solo exhibitions during this period, Noda produced ambitious, monumental works by bringing together several pictures with a common theme or combining several canvases into a single work. Noda's passionate and tireless work during this period was recognized when he won the 51st Education Minister's Art Encouragement Prize for New Artists in 2001.

Noda Hiroji has always been active in displaying new work, but until now there have been few opportunities to view his work in its entirety from his early period to the present day. An exhibition held at the Museum of Modern Art, Wakayama in 1995 provided a survey of the first half of the artist's career, but 15 years have passed since then. This first major retrospective of the artist's work to be held in Tokyo featured 140 of the artist's works from throughout his 30-year career, stretching back to his debut in 1981. The exhibition aimed to remind visitors of how the artist's sophisticated ideas on form have developed over the years and how he has used these ideas in his work. As well as tracing the career of an outstanding artist, the exhibition also provided an ideal opportunity to consider possible directions for the future of painting.

会期：平成24(2012)年1月18日(水)～4月2日(月)
日数：64日(全会期；66日)
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：20,338人(1日平均317人)(全会期；21,151人)
入場：有料
主催：国立新美術館

講演会等：

●講演会「自作を語る」

日時：1月21日(土)14時～15時30分

講演：野田裕示(出品作家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：250人

●講演会「南画廊と野田裕示」

日時：2月4日(土)14時～15時30分

講演：林牧人(森美術館 管理運営グループ ファシリティー・マネージャー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：43人



●対談：野田裕示×福永治

日時：3月2日(金)18時30分～19時30分

出演者：野田裕示、福永治(副館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：90人

●講演会「美術批評と野田裕示」

日時：3月17日(土)14時～15時30分

講演：三田晴夫(美術ジャーナリスト)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：45人

関連事業：

●アーティスト・ワークショップ

「私の“好き”を箱に詰めて～廃品からつくる、アート～」

日時：2月18日(土)13時～16時

講師：富田菜摘(現代美術家)、野田裕示(出品作家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他

対象：一般(中学生以上)

参加者数：22人

●アーティスト・ワークショップ

「野ダテ○△□～掛け軸に描いて、お茶室で鑑賞しよう!～」

日時：3月24日(土)13時～17時

講師：開発好明(現代美術家)、野田裕示(出品作家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他

対象：一般(中学生以上)

参加者数：14人

カタログ：『野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿』

A4変型、198ページ、図版カラー229点・白黒19点、4,000部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、45,000部

ポスター：B1判(2種)各550部(計1,100部)

B2判、2,500部

B3判、5,000部

B3変型(インターサイズ)、760部

チラシ：A4判、100,000部

鑑賞ガイドブック：『アートのとびらvol.6』

A5判、12ページ、図版カラー6点、15,000部

「野田裕示」展リーフレット：『「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」を楽しむヒント』

仕上りA4判、変型二つ折、3,000部

関連記事：

日本経済新聞／平成24(2012)年2月8日／宝玉正彦

朝日新聞(夕刊)／2月22日／大西若人

The Japan Times／2月23日／C.B. Liddel

新かながわ新聞／2月26日／宮田徹也

毎日新聞(夕刊)／2月28日／岸桂子

共同通信配信・中国新聞／3月1日／齊藤泰行

読売新聞(夕刊)／3月12日／井上晋治

他 多数

※出品リスト：pp. 83-86



1月21日 講演会



2月18日 ワークショップ

平成23年度[第15回]文化庁メディア芸術祭
2011 [15th] Japan Media Arts Festival

文化庁メディア芸術祭は、優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、これを鑑賞する機会を提供することにより、メディア芸術の創造とその発展を図り、もって我が国文化の向上と振興に資する。こうした趣旨に基づき、受賞作品および審査委員会推薦作品など国内外の優秀なメディア芸術作品を展示・紹介する受賞作品展を開催し、アートとエンターテインメントの融合および表現とテクノロジーの進化を実体験することができる展示環境を構築した。

The purpose of Japan Media Arts Festival is to contribute to the improvement of Japanese culture by recognizing works of excellence in Media Arts and by providing an opportunity to view these works, thereby fostering the creation and the development of the media arts. The festival contributes to achieving these objectives by staging an exhibition of Award Winning Works and Jury Recommended Works by Japanese and international artists that allowed visitors to experience at first hand the fusion of art and entertainment and the evolution of expression and technology.

会期：平成24(2012)年2月22日(水)～3月4日(日)
日数：11日

会場：国立新美術館 企画展示室1E
※参考 サテライト会場：d-labo(東京ミッドタウン7階)、TOHOシネマズ六本木ヒルズ、メルセデス・ベンツ コネクション、ニコファーレ
入場者数：45,175人(1日平均4,107人)
入場：無料
主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会[文化庁、国立新美術館]

講演会等：(会場：国立新美術館 講堂)

●基調シンポジウム

・「日本から世界へ メディア芸術の今～メディア芸術15年～」
日時：2月24日(金) 17時30分～20時
出演：浜野保樹(運営委員)、建畠哲(運営委員)、岩谷徹(エンターテインメント部門審査委員)、古川タク(アニメーション部門審査委員主査)、竹宮恵子(マンガ部門審査委員)
参加者数：57人

●テーマシンポジウム

・「世界のアニメーションフェスティバル～現状と展望～」
日時：2月22日(水)13時～15時
出演：木下小夜子(広島国際アニメーション映画祭ディレクター、功労賞受賞者)、ダニエル・スルジック(ザグレブ国際アニメーション映画祭アーティスティックディレクター)、パトリック・エヴノ(アヌシー国際アニメーション映画祭CEO)
ファシリテーター：伊藤有彦(アニメーション部門審査委員)
参加者数：57人

●受賞者シンポジウム

・マンガ部門受賞者シンポジウム
日時：2月22日(水)16時～17時45分
出演：岩岡ヒサエ(大賞『土星マンション』)、しりあがり寿(優秀賞『あの日からのマンガ』)、パコ・ロカ(優秀賞『皺』)
ファシリテーター：さいとうちほ(マンガ部門審査委員主査)
参加人数：42人

・アニメーション部門新人賞シンポジウム

日時：2月23日(木)13時～14時30分
出演：植草航(新人賞『やさしいマーチ』)、アンドレア・デッペルト(新人賞『Rabenjunge』)、石田祐康(新人賞『rain town』)
ファシリテーター：伊藤有彦(アニメーション部門審査委員)
参加者数：96人

・アニメーション部門受賞者シンポジウム

日時：2月23日(木)16時～17時45分
出演：岩上敦宏(アニプレックス、大賞『魔法少女まどか☆マギカ』)、川崎博嗣(優秀賞『鬼神伝』)、松下慶子、霞麻衣子(以上 Production I.G.、優秀賞『ももへの手紙』)、山村浩二(マイブリッジの糸)、マチュー・ヴェルヌー、ポリヌ・ドゥファッセル、レミ・ポール(以上、優秀賞『Folksongs & Ballads』)
ファシリテーター：古川タク(アニメーション部門審査委員主査)
参加人数：103人

・アート部門新人賞シンポジウム

日時：2月24日(金)12時30分～14時30分
出演：ラルフ・キスラー、ヤン・ジーベル(以上、新人賞『Monkey Business』)、菅野創、山口崇洋(以上、新人賞『SENSELESS DRAWING BOT』)、植木秀治(新人賞『HIMATSUBUSHI』)
ファシリテーター：関口敦仁(アート部門審査委員)
参加者数：30人

・アート部門受賞者シンポジウム

日時：2月24日(金)15時～17時
出演：山本良浩(大賞『Que voz feio(醜い声)』)、片山義幸(優秀賞『つながる天気』)
ファシリテーター：岡崎乾二郎(アート部門審査委員主査)
参加者数：43人

・マンガ部門新人賞シンポジウム

日時：2月27日(月)16時～17時45分
出演：西村ツチカ(新人賞『なかよしの冒険』)、昌原光一(新人賞『御詠 人情幕ノ内 まげもん。』)、冬川智子(新人賞『マスタード・チョコレート』)
ファシリテーター：村上知彦(マンガ部門審査委員)
参加者数：58人

・「マッシュデータフロー」の時代のメディアアート」

日時：2月29日(水)16時～17時30分
出演：池上高志(東京大学大学院教授)、江渡浩一郎(メディアアーティスト/産業技術総合研究所研究員)、島中実(NTTインターコミュニケーション・センター主任学芸員)
ファシリテーター：後藤繁雄(アート部門審査委員)
参加者数：59人

・エンターテインメント部門新人賞シンポジウム

日時：3月1日(木)13時～15時
出演：仲村海斗、小野寿輝(以上、新人賞『デジタル戦士サンジゲン』)、寺田創一(Omodaka)、ひらのりょう(以上、新人賞『Hietsuki Bushi』)、成瀬つばさ(新人賞『リズムシ』)
ファシリテーター：寺井弘典(エンターテインメント部門審査委員)
ゲスト：港千尋(多摩美術大学美術学部デザイン情報学部長・教授)
参加者数：47人

・エンターテインメント部門受賞者シンポジウム

日時：3月1日(木)16時～17時45分
出演：大八木翼、馬場鑑平、野添剛士(以上、大賞『SPACE BALLOON PROJECT』)、田中秀幸(優秀賞『べろべろ』)、勝本雄一郎(優秀賞『相転移的装置』)、齋藤精一、坂本政則、村山健(以上、優秀賞『The Museum of Me』)、犬飼博士、飯田和敏、禿真哉(以上、優秀賞『アナグラのうた～消えた博士と残された装置～』)
ファシリテーター：内山光司(エンターテインメント部門審査委員主査)
参加者数：50人

・「キャラクター文化の行方 インターネット/n次創作後の展開について」

日時：3月3日(土)13時～15時
出演：濱野智史(社会学者/批評家)、森川嘉一郎(明治大学国際日本学部准教授)、竜騎士07(シナリオライター/イラストレーター)
ファシリテーター：宇野常寛(評論家)
参加者数：210人



●プレゼンテーション

・メディア芸術クリエイター育成支援事業 成果プレゼンテーション① アニメーション
日時：2月27日(月)13時～14時30分
出演：大山慶『放課後』、ナガタタケシ、モンノカヅエ(トーチカ)『ピカピカ2011 ～太陽光で描く～』、四宮義俊、皆川真紀『水槽の虎』
参加者数：40人

・メディア芸術クリエイター育成支援事業 成果プレゼンテーション② アート、ゲーム
日時：2月29日(水)13時～14時30分
出演：津島岳央『凧の静寂に』、真鍋大度『pub-bio(public bio data)』、四宮義俊、皆川真紀『水槽の虎』、藤木淳『ゲームキョウカイ』
参加者数：35人

関連事業：(会場：国立新美術館 研修室)

●ワークショップ

・「ペーパークラフトアニメーション・ワークショップ」

日時：2月26日(日)14時～16時

参加者数：21人

・「『相転移的装置』の遊び方体感」

日時：3月3日(土)15時～17時

参加者数：165人

関連事業：(会場：国立新美術館 企画展示室1E)

●アーティストトーク、デモ&トーク

・『SENSELESS DRAWING BOT』(アート部門新人賞)

日時：2月22日(水)17時～17時45分

・『Monkey Business』(アート部門新人賞)

日時：2月25日(土)17時～17時45分

・『HIMATSUBUSHI』(アート部門新人賞)

日時：2月26日(日)17時～17時45分

・『Que voz feio(醜い声)』(アート部門大賞)

日時：2月29日(水)15時～16時

・『つながる天気』(アート部門優秀賞)

日時：3月1日(木)15時～16時

・『particles』(アート部門優秀賞)

日時：3月3日(土)14時～15時

・『デジタル戦士サンジゲン』(エンターテインメント部門新人賞)

日時：2月22日(水)13時～14時

・『SPACE BALLOON PROJECT』(エンターテインメント部門大賞)

日時：2月22日(水)15時～16時

・『リズムシ』(エンターテインメント部門新人賞)

日時：2月26日(日)13時～14時

・『相転移的装置』(エンターテインメント部門優秀賞)

日時：2月26日(日)15時～16時

・『The Museum of Me』(エンターテインメント部門優秀賞)

日時：3月3日(土)16時30分～17時30分

・『アナグラのうた～消えた博士と残された装置～』(エンターテインメント部門優秀賞)

日時：3月4日(日)13時30分～14時30分

・『べろべろ』(エンターテインメント部門優秀賞)

日時：3月4日(日)15時～16時

・『Hietsuki Bushi』(エンターテインメント部門新人賞)

日時：3月4日(日)16時30分～17時30分

・『SENSELESS DRAWING BOT—作家による解説付きガイドツアー』(場所：国立新美術館 野外展示場E)

日時：2月26日(日)11:00～/12:00～/14:00～/15:00～

3月3日(土)11:00～/12:00～/14:00～/15:00～/16:00～

3月4日(日)11:00～/12:00～/14:00～/15:00～/16:00～

(計14回開催)

参加人数：230人



SENSELESS DRAWING BOT—作家による解説付きガイドツアー

●パフォーマンス

・『即席紙芝居』(エンターテインメント部門審査委員会推薦作品)

日時：2月25日(土)、26日(日)、3月3日(土)、4日(日)、各日4回実施(計16回)

・アニメーション部門新人賞受賞者によるライブドローイング

日時：2月25日(土)12時15分～13時45分

●報告会

・『海外メディア芸術祭等参加事業報告』

日時：2月25日(土)15時～17時

・『ドイツからみた日本のメディア芸術の魅力』(海外展報告)

日時：2月29日(水)16時～17時30分

・『日本を縦断した“メディア芸術”の軌跡』(地方展/国内巡回事業)

日時：3月2日(金)16時～17時30分

参考：サテライト会場

d-labo(東京ミッドタウン 7階)

会期：平成24(2012)年2月22日(水)～3月4日(日)

日数：10日

入場者数：1,723人(1日平均173人)

TOHOシネマズ六本木ヒルズ

会期：平成24(2012)年2月22日(水)～3月4日(日)

日数：12日

入場者数：740人(1日平均62人)

メルセデス・ベンツ コネクション

会期：平成24(2012)年2月22日(水)～3月4日(日)

日数：12日

入場者数：7,618人(1日平均635人)

ニコファール

会期：平成24(2012)年2月22日(水)、24日(金)、27日(月)、29日(水)

日数：4日

入場者数：733人(1日平均183人)

カタログ：『第15回文化庁メディア芸術祭 受賞作品集』

A4判、160ページ、図版カラー352点・白黒26点、6,000部

ポスター：B2判、1,500部

チラシ：A4判、80,000部

関連記事：

Yahooニュース/平成24(2012)年2月15日

ニコニコニュース/2月15日

産経新聞/2月20日

NHKニュース/2月21日

新週間フジテレビ批評/2月25日

Tokyo Walker/2月25日

他 多数

※出品リスト：pp. 87-89

セザンヌーパリとプロヴァンス
Cézanne. Paris-Provence

会期：平成24(2012)年3月28日(水)～6月11日(月)
日数：4日(全会期；66日)
会場：国立新美術館 企画展示室1E
入場者数：11,745人(1日平均2,936人)(全会期；302,239人)
入場：有料
主催：国立新美術館、日本経済新聞社
後援：フランス大使館
協賛：NEC、花王、キャノン、損保ジャパン、ダイキン工業、大日本印刷、トヨタ自動車、三井住友銀行、三井物産
特別協力：オルセー美術館、パリ市立プティ・パレ美術館
協力：エールフランス航空、日本航空
監修：ドニ・クターニュ(フランス国家文化財主任研究員)

講演会等：

●記念講演会「パリにおけるセザンヌの画商とコレクター」
日時：3月29日(木)14時～15時30分
講演：マリリーヌ・アサンテ・ディ・バンツィッロ(パリ市立プティ・パレ美術館学芸課長)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：202人

●記念講演会「セザンヌとふたつの土地」
日時：3月30日(金)17時30分～19時
講演：ドニ・クターニュ(フランス国家文化財主任研究員、本展監修者)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：185人

カタログ：『セザンヌーパリとプロヴァンス』
A4変型、232ページ、図版カラー102点・白黒10点、
10,000部(初版)、5,000部(第2版)、15,000部(第3版)

出品目録：仕上りA4判、二つ折、4ページ、10,000部(初版)、100,000部(第2版)、130,000部(第3版)

ポスター：B1判(2種)、400部
B2判(2種)、8,000部
B3判(2種)、5,000部

チラシ：仕上りA4判、二つ折、600,000部、(内、割引券付き300,000部)

関連記事：

日経新聞／平成24(2012)年1月22日
日経新聞／2月19日
美術の窓／2月20日／工藤弘二(学芸課アソシエイト・フェロー)
日経おとなのOFF／3月6日／川岸徹
朝日新聞／3月28日
他 多数

※本展の平成24年度開催記録及び出品リストは、
『平成24年度 国立新美術館活動報告』に記載する。



3月29日 講演会



3月30日 講演会

3

美術団体等への展覧会会場提供

Provision of Exhibition Venues to
Artist Associations

3 美術団体等への展覧会会場提供

Provision of Exhibition Venues to Artist Associations

全国的な活動を行っている美術団体等が実施する公募展等への展覧会会場の提供を行った。平成23年度は、69団体に展覧会会場を提供し、第1会期から第25会期(平成23年3月29日から平成24年4月2日)までの公募展等の入場者数は合計1,253,764人であった。このうち、平成23年4月から平成24年3月までの入場者数は合計1,239,739人であった。

また、前年度の経験を踏まえ、施設・備品の管理運営の改善に取り組んだ。

The museum provides exhibition space to artist associations from around the country for public exhibitions and other events. In fiscal 2011, 69 such exhibition were held at NACT, attracting a total of 1,253,764 visitors from Session 1 to Session 25 (March 29, 2011 to April 2, 2012). Of these, 1,239,739 people visited between April 2011 and March 2012.

Building on our experiences from the previous fiscal year, we worked to improve the management of the equipment and facilities provided.

平成23年度会場使用団体一覧

団体名：社団法人 創元会
 展覧会名：70周年記念 創元展
 会期/日数：3月30日(水)～4月11日(月)/12日
 (うち23年度；4月1日(金)～4月11日(月)/10日)
 展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D
 入場者数：17,009人(全会期；20,460人)



団体名：現代日本書家協会
 展覧会名：第27回 全国公募書道展
 会期/日数：4月13日(水)～4月25日(月)/12日
 展示室：3 A
 入場者数：2,128人



団体名：社団法人 示現会
 展覧会名：第64回 示現会展
 会期/日数：3月30日(水)～4月11日(月)/12日
 (うち23年度；4月1日(金)～4月11日(月)/10日)
 展示室：2 A, 2 B, 2 C, 2 D
 入場者数：19,368人(全会期；22,074人)



団体名：国画会
 展覧会名：第85回 国展
 会期/日数：4月27日(水)～5月9日(月)/13日
 展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 A, 3 B,
 野外展示場A, B, C, D
 入場者数：77,230人



団体名：水彩連盟
 展覧会名：第70回記念 水彩連盟展
 会期/日数：3月30日(水)～4月11日(月)/12日
 (うち23年度；4月1日(金)～4月11日(月)/10日)
 展示室：3 A, 3 B
 入場者数：11,917人(全会期；13,609人)



団体名：社団法人 日本新工芸家連盟
 展覧会名：第33回 日本新工芸展
 会期/日数：5月11日(水)～5月22日(日)/11日
 展示室：3 A, 3 B
 入場者数：6,078人



団体名：社団法人 光風会
 展覧会名：第97回 光風会展
 会期/日数：4月13日(水)～4月25日(月)/12日
 展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D
 入場者数：20,187人



団体名：社団法人 太平洋美術会
 展覧会名：第107回 太平洋展
 会期/日数：5月11日(水)～5月23日(月)/12日
 展示室：1 A, 1 B, 1 C, 1 D
 入場者数：22,824人



団体名：一般社団法人 春陽会
 展覧会名：第88回 春陽展
 会期/日数：4月13日(水)～4月25日(月)/12日
 展示室：2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 B
 入場者数：21,284人



団体名：三軌会
 展覧会名：第63回 三軌展
 会期/日数：5月11日(水)～5月23日(月)/12日
 展示室：2 A, 2 B, 2 C, 2 D
 入場者数：14,452人



団体名：現代美術家協会
展覧会名：第67回 現展
会期/日数：5月25日(水)～6月6日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 1C
入場者数：11,069人



団体名：書象会
展覧会名：第50回記念 書象展
会期/日数：6月9日(木)～6月19日(日)/10日
展示室：2C, 2D
入場者数：7,786人



団体名：第一美術協会
展覧会名：第82回 第一美術展
会期/日数：5月25日(水)～6月6日(月)/12日
展示室：1D, 2C, 2D
入場者数：18,284人



団体名：日本教育書道藝術院
展覧会名：第31回 日本教育書道藝術院同人書作展
会期/日数：6月22日(水)～7月3日(日)/11日
展示室：2C, 2D
入場者数：3,600人



団体名：一般社団法人 日洋会
展覧会名：第25回記念 日洋展
会期/日数：5月25日(水)～6月6日(月)/12日
展示室：2A, 2B, 3A, 3B
入場者数：22,720人



団体名：財団法人 陶芸文化振興財団
展覧会名：全国公募2011 陶芸財団展
会期/日数：6月22日(水)～7月3日(日)/11日
展示室：3B
入場者数：6,543人



団体名：日本水墨院
展覧会名：公募第26回 日本水墨院展
会期/日数：6月8日(水)～6月19日(日)/11日
展示室：3A
入場者数：19,124人



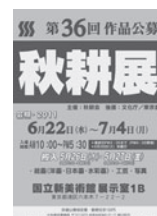
団体名：アート未来
展覧会名：2011・16th 国際公募 アート未来展
会期/日数：6月22日(水)～7月4日(月)/12日
展示室：1A, 野外展示場A
入場者数：10,523人



団体名：日本自由画壇
展覧会名：第37回 日本自由画壇展
会期/日数：6月8日(水)～6月20日(月)/12日
展示室：2A, 2B
入場者数：17,188人



団体名：秋耕会
展覧会名：第36回 秋耕展
会期/日数：6月22日(水)～7月4日(月)/12日
展示室：1B
入場者数：8,510人



団体名：たぶろう美術協会
展覧会名：第46回 たぶろう展
会期/日数：6月8日(水)～6月20日(月)/12日
展示室：3B
入場者数：7,574人



団体名：蒼騎会
展覧会名：第51回 蒼騎展
会期/日数：6月22日(水)～7月4日(月)/12日
展示室：1C, 1D
入場者数：11,745人



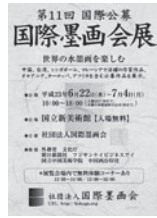
団体名：財団法人 全国書美術振興会
展覧会名：第39回「日本の書展」東京展
会期/日数：6月9日(木)～6月19日(日)/10日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D
入場者数：11,617人



団体名：財団法人 日本余暇文化振興会
楽習フォーラム アートクレイ倶楽部
展覧会名：第12回 銀粘土でつくるシルバーアクセサリーコンテスト作品展
会期/日数：6月22日(水)～7月4日(月)/12日
展示室：2A
入場者数：5,289人



団体名：一般社団法人 国際墨画会
展覧会名：第11回 国際公募 国際墨画会展
会期/日数：6月22日(水)～7月4日(月)/12日
展示室：2B
入場者数：7,257人



団体名：社団法人 二科会
展覧会名：第96回 二科展
会期/日数：8月31日(水)～9月12日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B,
野外展示場A, B, C, D
入場者数：88,634人



団体名：公益社団法人 日本彫刻会
展覧会名：第41回 日彫展
会期/日数：6月22日(水)～7月4日(月)/12日
展示室：3A
入場者数：8,653人



団体名：新制作協会
展覧会名：第75回記念 新制作展
会期/日数：9月14日(水)～9月26日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 3A, 3B, 野外展示場A, B
入場者数：57,442人



団体名：財団法人 毎日書道会・毎日新聞社
展覧会名：第63回 毎日書道展
会期/日数：7月6日(水)～7月31日(日)/23日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：63,354人



団体名：行動美術協会
展覧会名：66回 行動展
会期/日数：9月14日(水)～9月26日(月)/12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C, D
入場者数：22,812人



団体名：貞香会
展覧会名：第46回 貞香書展
会期/日数：8月3日(水)～8月15日(月)/12日
展示室：3A
入場者数：5,545人



団体名：自由美術協会
展覧会名：第75回 自由美術展
会期/日数：9月28日(水)～10月10日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 野外展示場A, B
入場者数：14,471人



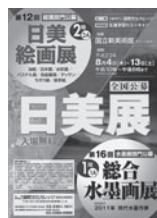
団体名：全国水墨画協会
展覧会名：第18回 全国水墨画展
会期/日数：8月3日(水)～8月15日(月)/12日
展示室：3B
入場者数：6,428人



団体名：一陽会
展覧会名：第57回 一陽展
会期/日数：9月28日(水)～10月10日(月)/12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C, D
入場者数：18,084人



団体名：公益財団法人 国際文化カレッジ
展覧会名：日美展(第16回総合水墨画展・第12回日
美絵画展)
会期/日数：8月4日(木)～8月13日(土)/9日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：23,975人



団体名：一期会
展覧会名：第46回 一期展
会期/日数：9月28日(水)～10月10日(月)/12日
展示室：3A, 3B
入場者数：12,609人



団体名：読売書法会・読売新聞社
展覧会名：第28回 読売書法展 東京展
会期/日数：8月19日(金)～8月28日(日)/9日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：27,672人



団体名：独立美術協会
展覧会名：第79回 独立展
会期/日数：10月12日(水)～10月24日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 3A
入場者数：24,744人



団体名：社団法人 二紀会
展覧会名：第65回記念 二紀展
会期/日数：10月12日(水)～10月24日(月)/12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 3B, 野外展示場C, D
入場者数：33,110人



団体名：土日会
展覧会名：第36回 土日会展
会期/日数：12月7日(水)～12月19日(月)/12日
展示室：3A
入場者数：5,408人



団体名：AJAC
展覧会名：Go ahead! AJAC 第5回 AJAC野外展
会期/日数：10月27日(木)～11月6日(日)/10日
展示室：野外展示場A, B
入場者数：1,673人



団体名：日本表象美術協会
展覧会名：第38回 日象展
会期/日数：12月7日(水)～12月19日(月)/12日
展示室：3B
入場者数：5,082人



団体名：社団法人 日展
展覧会名：第43回 日展
会期/日数：10月28日(金)～12月4日(日)/33日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 2E, 3A, 3B
入場者数：163,011人



団体名：財団法人 独立書人団
展覧会名：第60回記念 独立書展
会期/日数：1月11日(水)～1月23日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：22,313人



団体名：雪舟国際美術協会
展覧会名：第18回 雪舟国際美術協会展
会期/日数：12月7日(水)～12月18日(日)/11日
展示室：1A, 1B
入場者数：7,183人



団体名：特定非営利活動法人 平泉会
展覧会名：第24回 平泉展 ～楽しい手作り～
会期/日数：1月25日(水)～2月6日(月)/12日
展示室：1A
入場者数：11,890人



団体名：白峰社
展覧会名：第29回 白峰社書展
会期/日数：12月7日(水)～12月19日(月)/12日
展示室：1C, 1D
入場者数：5,548人



団体名：国際書画連盟
展覧会名：第34回 国際書画展
会期/日数：1月25日(水)～2月6日(月)/12日
展示室：1B, 1C, 1D
入場者数：6,798人



団体名：特定非営利活動法人 国際架橋書会
展覧会名：第24回 国際架橋書展
会期/日数：12月7日(水)～12月19日(月)/12日
展示室：2A
入場者数：7,437人



団体名：亜細亜太平洋水墨画会
展覧会名：アジア創造美術展
会期/日数：1月25日(水)～2月6日(月)/12日
展示室：2A
入場者数：3,618人



団体名：株式会社 全日本書芸文化院
展覧会名：第40回記念 全書芸展
会期/日数：12月7日(水)～12月19日(月)/12日
展示室：2B, 2C, 2D
入場者数：6,593人



団体名：産経国際書会
展覧会名：第28回 産経国際書展(新春展)
会期/日数：1月25日(水)～2月6日(月)/12日
展示室：2B, 2C, 2D
入場者数：3,934人



団体名：Heart Art Communication
 展覧会名：Heart Art in TOKYO 2012 第15回エイズチャリティー美術展
 会期/日数：1月26日(木)～2月6日(月)/11日
 展示室：3A, 3B
 入場者数：2,340人



団体名：日本書作院
 展覧会名：第52回 日本書作院展
 会期/日数：2月9日(木)～2月20日(月)/11日
 展示室：2B, 2C, 2D
 入場者数：10,479人



団体名：立軌会
 展覧会名：第64回 立軌展
 会期/日数：2月8日(水)～2月20日(月)/12日
 展示室：1A
 入場者数：9,609人



団体名：学校法人専門学校 東洋美術学校
 展覧会名：第63回 東洋美術学校卒業制作展
 会期/日数：2月22日(水)～3月4日(日)/11日
 展示室：3A
 入場者数：5,115人



団体名：新槐樹社
 展覧会名：第56回 新槐樹社展
 会期/日数：2月8日(水)～2月20日(月)/12日
 展示室：1C, 1D
 入場者数：7,336人



団体名：現日会
 展覧会名：第52回 現日選抜書展
 会期/日数：2月22日(水)～3月5日(月)/12日
 展示室：3B
 入場者数：2,581人



団体名：あきつ会
 展覧会名：第37回 あきつ会書道展
 会期/日数：2月8日(水)～2月20日(月)/12日
 展示室：2A
 入場者数：2,832人



団体名：東京五美術大学連合卒業・修了制作展
 展覧会名：平成23年度第35回 東京五美術大学連合卒業・修了制作展
 会期/日数：2月23日(木)～3月4日(日)/10日
 展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D,
 野外展示場A, B, C
 入場者数：63,850人



団体名：美術団体 等迦会
 展覧会名：第44回 等迦展
 会期/日数：2月8日(水)～2月20日(月)/12日
 展示室：3A
 入場者数：4,251人



団体名：全国水墨画美術協会
 展覧会名：第39回 全日本水墨画秀作展
 会期/日数：3月7日(水)～3月18日(日)/11日
 展示室：3A, 3B
 入場者数：5,990人



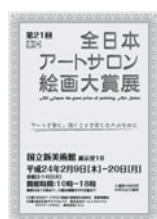
団体名：社団法人 日本中国水墨交流協会
 展覧会名：第29回 日本中国水墨画合同展
 会期/日数：2月8日(水)～2月20日(月)/12日
 展示室：3B
 入場者数：5,976人



団体名：汎美術協会
 展覧会名：2012 汎美展
 会期/日数：3月7日(水)～3月20日(火)/13日
 展示室：1A
 入場者数：7,643人



団体名：全日本アートサロン絵画大賞展実行委員会
 展覧会名：第21回 全日本アートサロン絵画大賞展
 会期/日数：2月9日(木)～2月20日(月)/11日
 展示室：1B
 入場者数：2,952人



団体名：社団法人 創玄書道会
 展覧会名：第48回 創玄展
 会期/日数：3月8日(木)～3月19日(月)/11日
 展示室：1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
 入場者数：33,123人



団体名：公益社団法人 日本南画院
展覧会名：公募第52回 日本南画院展
会期／日数：3月22日(木)～3月30日(金)／8日
展示室：3A, 3B
入場者数：10,892人



団体名：白日会
展覧会名：第88回 白日会展
会期／日数：3月22日(木)～3月31日(土)／9日
(全会期；3月22日(木)～4月2日(月)／11日)
展示室：1A, 1B, 1C, 1D
入場者数：12,926人(全会期；16,570人)



団体名：日本美術会
展覧会名：第65回 日本アンデパンダン展
会期／日数：3月22日(木)～3月31日(土)／9日
(全会期；3月22日(木)～4月2日(月)／11日)
展示室：2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：12,517人(全会期；15,049人)



入場者数合計 1,253,764人

公募展開催に関わる取り組み

●平成23年度展示室等使用団体実績

使用団体：70団体

●平成25年度展示室等使用団体の決定

決定時期：5月

決定団体：69団体

●平成24年度展示室使用団体の追加募集

募集期間：4月18日(月)～5月13日(金)

●平成26年度展示室等使用団体の使用申請受付

受付期間：2月1日(水)～2月29日(水)

●平成26年度野外展示場使用団体の募集

募集期間：2月1日(水)～2月29日(水)

●使用団体等への支援

ホームページに、開催中の公募団体等の展示会のポスター画像を掲載し、使用団体等の展示会広報の支援を行った。

「国立新美術館ニュース」に使用団体等からの寄稿を掲載し、団体の活動を紹介した。

●展示会観覧者への情報提供

公募展開催案内チラシを作成・配布するとともに、ホームページに公募展情報を掲載した。

公募展開催案内vol.20～vol.24(年5回発行)、A4判(297×210mm)、全37,000部

●企画展との相互割引の導入

自主企画展及び共催展において、開催中の公募展の観覧券持参者に対する割引観覧を行った。また、開催中の自主企画展及び共催展の観覧券持参者に対する、公募展の割引又は観覧料無料の協力を公募団体等へ依頼し、相互割引の充実に努めるとともに、館内にて広報を行った。

教育普及事業に対する公募団体等との連携

●展示会名：第85回国展

「第5回国展トークイン—作家の目 作者の心—」

主催：国画会、国立新美術館

日時：5月5日(木)

会場：国立新美術館 第85回国展会場

参加者数：323人

●展示会名：第43回日展

主催：社団法人日展、国立新美術館

・講演会

開催日：10月29日(土)、10月30日(日)、11月3日(木・祝)、11月5日(土)、
11月12日(土)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：635人(全5回)

・映像による作品解説

開催日：10月29日(土)、10月30日(日)、11月3日(木・祝)、11月5日(土)、
11月12日(土)、11月19日(土)、11月23日(水・祝)、11月27日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,112人(全10回)

・親子鑑賞教室

開催日：11月6日(日)、11月13日(日)、11月20日(日)

会場：国立新美術館 講堂、研修室

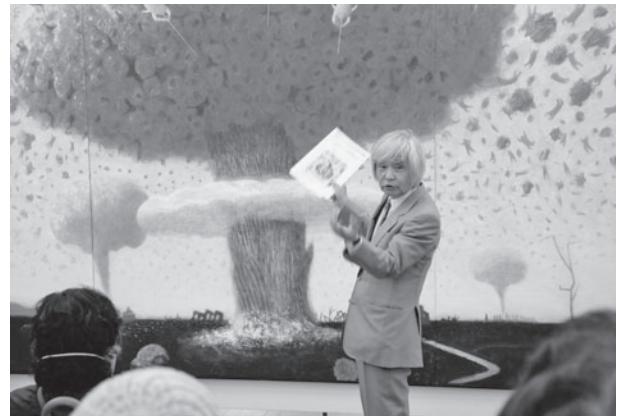
参加者数：106組287人(全6回)

・らくらく鑑賞会

開催日：11月7日(月)、11月14日(月)、11月21日(月)、11月28日(月)

会場：国立新美術館 第43回日展会場、研修室

参加者数：29人(全4回)



5月5日 国展



11月20日 日展

4

教育普及

Education and Public Programs

4-1 講演会等

Lectures, etc.

4-2 ワークショップ

Workshops

4-3 インターンシップ、ボランティア

Internships and Volunteering

4-4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

来館者の作品鑑賞の充実とサポートを目的に、展覧会に合わせて講演会やアーティスト・トークなどを開催したほか、無料の鑑賞ガイドブックを作成、配布した。また、美術に触れ、親しむ機会を広く提供するために、子どもから大人まで幅広い層を対象としたワークショップやシンポジウムなどのイベントを実施した。さらに、インターンや学生ボランティアの受け入れを継続的に行い、美術館活動への理解の促進や人材育成を図った。

To help people get the most out of their visit, we held lectures, artist talks, other events to coincide with our exhibitions, and distributed a series of free guidebooks. We also organized events such as workshops and symposiums to encourage appreciation of art among the wider public, including a number of education program for children and adults. We continued to accept interns and student volunteers as part of our efforts to increase the understanding of the NACT's activities and develop human resources.

4-1 講演会等 Lectures, etc.

国立新美術館による企画 展覧会関連

「シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—」

●シュルレアリスム映画上映会

「眠るパリ」「ヒトデ」「黄金時代」「アンダルシアの犬」

日時：4月9日(土)14時～16時

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：138人

●講演会「シュルレアリスムと美術」

日時：4月23日(土)14時～16時

※東日本大震災の影響により日程変更、当初は3月12日(土)。

講演：巖谷國士(美術評論家、仏文学者)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：301人

「アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち」

●アーティスト・トーク

日時：4月16日(土)14時～16時

講演：岩熊力也(出品作家)

ゲスト：ボンちゃん人形(腹話術師)による紙芝居

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：40人

●アーティスト・トーク

日時：4月29日(金・祝)14時～15時

※東日本大震災の影響により日程変更、当初は3月26日(土)。

対談：松江泰治(出品作家)×松井みどり(美術評論家)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：52人

●フィルム上映会+アーティスト・トーク

日時：5月3日(火・祝) 1回目：11時～12時15分 2回目：13時～14時15分

※東日本大震災の影響により日程変更、当初は3月21日(月・祝)。

講演：ビョルン・メルフス(出品作家)

※インターネット中継により、ドイツから映像出演。

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：25人

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション」

●記念講演会「アメリカはいかにしてナショナル・ギャラリーを創ったか」

日時：6月12日(日)14時～15時30分

講演：ジョセフ・J・クラコーラ(ワシントン・ナショナル・ギャラリー
エグゼクティブ・オフィサー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：184人

●記念講演会「コレクターとしてのメアリー・カサット：世紀末アメリカにおけるヨーロッパ美術コレクションの形成」

日時：7月24日(日)14時～15時30分

講演：江崎聡子(東京工業大学世界文明センターフェロー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：136人

「モダン・アート、アメリカン―珠玉のフィリップス・コレクション―」

●記念講演会「ダンカン・フィリップス：アメリカ美術のチャンピオン」

日時：9月28日(水)14時～15時30分

講演：スーザン・バーレント・フランク(フィリップス・コレクション
アソシエイト・キュレーター)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：80人

●記念講演会「アメリカ・モダニズムの誕生をめぐって」

日時：10月16日(日)14時～15時30分

講演：松本典久(元慶応義塾大学教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：120人

「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」

●講演会「自作を語る」

日時：1月21日(土)14時～15時30分

講演：野田裕示(出品作家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：250人

●講演会「南画廊と野田裕示」

日時：2月4日(土)14時～15時30分

講演：林牧人(森美術館 管理運営グループ ファシリティー・マネージャー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：43人

●対談：野田裕示×福永治

日時：3月2日(金)18時30分～19時30分

出演者：野田裕示(出品作家)、福永治(副館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：90人

●講演会「美術批評と野田裕示」

日時：3月17日(土)14時～15時30分

講演：三田晴夫(美術ジャーナリスト)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：45人

「セザンヌ―バリとプロヴァンス」

●記念講演会「バリにおけるセザンヌの画商とコレクター」

日時：3月29日(木)14時～15時30分

講演：マリリーヌ・アサンテ・ディ・パンツィッロ(パリ市立プティ・
パレ美術館学芸課長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：202人

●記念講演会「セザンヌとふたつの土地」

日時：3月30日(金)17時30分～19時

講演：ドニ・クターニュ(フランス国家文化財主任研究員、本展監修者)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：185人

国立新美術館による企画 その他

●シンポジウム「『展覧会カタログ』を斬る」

日時：12月4日(日)13時～17時

- ・講演1「大学(院)の美術研究と展覧会カタログ」
今橋映子(東京大学大学院教授)
- ・講演2「美術展調査から見た展覧会カタログ——『日本の美術展覧会開催実績』を編んで」
中島理壽(美術ドキュメンタリスト)
- ・講演3「展覧会の記憶をかたちにする」
近藤一弥(グラフィック・デザイナー、東北芸術工科大学教授)
- ・講演4「展覧会企画と展覧会カタログ」
平井章一(情報資料室長／学芸課主任研究員)
- ・討議「展覧会カタログのこれから」

パネリスト：今橋映子、中島理壽、近藤一弥

司会：平井章一

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：74人



12月4日 講演会

共催企画等

●「第85回国展」

「第5回国展トークイン—作家の目 作者の心—」

主催：国画会、国立新美術館

日時：5月5日(木)

会場：国立新美術館 第85回国展会場

参加者数：323人

●美術史学会 美術館博物館委員会 東西合同シンポジウム「WHAT'S NEW?—リニューアルあれこれ—」

日時：5月7日(土)10時～16時

主催：美術史学会、国立新美術館

後援：全国美術館会議、文化資源学会、日本アートマネジメント学会

・発表 その1

「展示館リニューアルは障害物競走のごとし—京都国立博物館平常展示館の建替え—」浅湊毅(京都国立博物館学芸部主任研究員)

「美術館博物館委員会からの諸報告」橋爪節也(大阪大学)

・発表 その2

「91回のケース会議」松原茂(根津美術館学芸部長)

「リニューアルから5年目を迎えて」石田佳也(サントリー美術館学芸部長)

「こんなに変わった? 仙台市博物館」内山淳一(仙台市博物館学芸室長)

・パネル・ディスカッション 「リニューアルの今とこれから」：浅湊毅、松原茂、石田佳也、内山淳一、平井章一

司会：泉武夫

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：121人

●ICAF(Inter College Animation Festival)2011

主催：インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル実行委員会

共催：日本アニメーション協会(JAA)、日本アニメーション学会(JSAS)

特別協力：国立新美術館、京都国際マンガミュージアム、金沢市、金沢21世紀美術館

協賛：アドビ システムズ株式会社、エヌビディア ジャパン、オートデスク株式会社、株式会社ディストーム、デル株式会社、株式会社Too、株式会社ナナオ、株式会社ボンデジタル

日時：9月23日(金・祝)～9月25日(日)

会場：国立新美術館 講堂、研修室A、B

参加者数：1,623名

参加校：阿佐ヶ谷美術学校、アート・アニメーションの小さな学校、IAMAS(岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー)、大垣女子短期大学、大阪芸術大学、京都精華大学、神戸芸術工科大学、女子美術大学、玉川大学、多摩美術大学、東京芸術大学、東京工芸大学、東京造形大学、東京デザイナー学院、長岡造形大学、日本大学芸術学部、武蔵野美術大学、早稲田大学川口美術学校

・特別プログラム

『タマグラ・アニメーションの奇跡～追悼・片山雅博教授』

出演：陣内利博、小出正志、野村辰寿、山中幸生、秋山孝、中島信也

●TOKYO ANIMA ! 2011

主催：TOKYO ANIMA ! 実行委員会、国立新美術館

日時：10月9日(日)、10日(月・祝)

※東日本大震災の影響により日程変更、当初は3月26日(土)、27日(日)。

会場：国立新美術館 講堂、研修室A, B

参加者数：600名

出品作家：有吉達宏、岩崎宏俊、植草航、大西景太、大見明子、
岡本将徳、奥田昌輝、折笠良、加藤隆、金東薫、北村愛子、
クリハラカシ、坂元友介、坂井治、銀木沙織、田中美妃、
田村聡和、辻直之、土屋萌児、TOCHKA、野上寿綿実、
橋本新、洞口祐輔、平山志保、三角芳子、水江未来、村井智、
山田園子、若井麻奈美、和田淳

・アーティスト・トーク[『わたし』のアニメーション]

日時：10月9日(日)

出演：和田淳、坂井治、土屋萌児、水江未来

●[第43回日展]

主催：社団法人日展、国立新美術館

・講演会

開催日：10月29日(土)、10月30日(日)、11月3日(木・祝)、
11月5日(土)、11月12日(土)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：635人(全5回)

・映像による作品解説

開催日：10月29日(土)、10月30日(日)、11月3日(木・祝)、
11月5日(土)、11月12日(土)、11月19日(土)、
11月23日(水・祝)、11月27日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,112人(全10回)

・親子鑑賞教室

開催日：11月6日(日)、11月13日(日)、11月20日(日)

会場：国立新美術館 講堂、研修室

参加者数：106組287人(全6回)

・らくらく鑑賞会

開催日：11月7日(月)、11月14日(月)、11月21日(月)、11月28日(月)

会場：国立新美術館 第43回日展会場、研修室

参加者数：29人(全4回)

●シンポジウム「美術館建設中。東京—ワルシャワ」

日時：11月14日(月)13時~17時

主催：国立新美術館、ワルシャワ近代美術館

後援：ポーランド共和国文化・国家遺産省、アダム・ミツケヴィチ
協会、駐日ポーランド共和国大使館

協力：森美術館、京都市立芸術大学美術学部総合芸術学科 加須屋明
子研究室

・第1部

モデレーター：セバスチャン・チホツキ(ワルシャワ近代美術館プロ
グラムディレクター)、平井章一(情報資料室長/主
任研究員)

パネリスト(作家)：アグニェシカ・ホルスカ、ヤン・スマガ

・第2部

モデレーター：セバスチャン・チホツキ、加須屋明子(京都市立芸術
大学准教授)

パネリスト(作家)：ヨアンナ・ライコフスカ、ズビグニェフ・リペラ

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：50人

●TOKYO ANIMA ! 2012 春

主催：TOKYO ANIMA ! 実行委員会、国立新美術館

日時：3月24日(土)

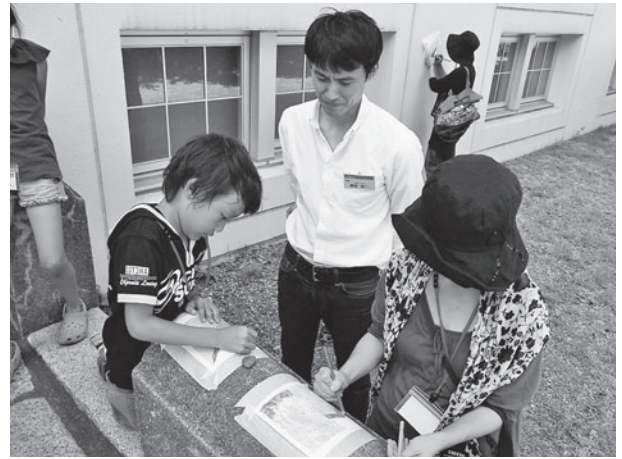
会場：国立新美術館 講堂

参加者数：401名

出品作家：岡本将徳、加藤隆、キムハケン、クリハラカシ、近藤聡乃、
ししやまざき、銀木沙織、鈴木隼吾、土屋萌児、中田彩郁・
サキタニユウキ、ひらのりょう、平林勇、水江未来、山田
遼志、和田淳

4-2 ワークショップ Workshops

●「アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち」
アーティスト・ワークショップ「暮らしを見つめる 粘土で作ってみる」
日時：5月7日(土)12時30分～16時
講師：中井川由季(陶造形作家、出品作家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生以上
参加者数：18人
※ワークショップ記録写真スライドショーを、館内3階のディスプレイで上映した。



7月16日

●アーティスト・ワークショップ「凸凹探検隊～探そう、美術館のかたち～」
日時：7月16日(土)13時～16時30分
講師：酒百宏一(美術作家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生以上
参加者数：22人
※ワークショップ記録写真スライドショーを、館内3階のディスプレイで上映した。

●アーティスト・ワークショップ「私だけの文様で作るSLEEVE BAG」
日時：9月4日(日)13時～16時30分
講師：高橋理子(アーティスト、SFTギャラリー出品作家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム
対象：一般(中学生以上)
参加者数：20人
※ワークショップ記録写真スライドショーを、館内3階のディスプレイで上映した。



9月4日

●国立新美術館開館5周年記念
アーティスト・ワークショップ「デザインって何だろう?～展覧会の印象を色や形にしてみよう!～」
日時：1月22日(日)14時～17時
講師：佐藤可士和(アートディレクター／クリエイティブディレクター)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生(中学年以上)
参加者数：24人

●「野田裕示『絵画のかたち／絵画の姿』」
アーティスト・ワークショップ「私の“好き”を箱に詰めて～廃品からつくる、アート～」
日時：2月18日(土)13時～16時
講師：富田菜摘(現代美術家)、野田裕示(画家、出品作家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：一般(中学生以上)
参加者数：22人



1月22日

●「野田裕示『絵画のかたち／絵画の姿』」、六本木アートナイト2012
関連プログラム
アーティスト・ワークショップ「野ダテ○△□～掛け軸に描いて、お茶室で鑑賞しよう!～」
日時：3月24日(土)13時～17時
講師：開発好明(現代美術家)、野田裕示(画家、出品作家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：一般(中学生以上)
参加者数：14人

4-3 インターン、ボランティア

Internships and Volunteering

インターン

美術館事業に関心のある若手研究者や大学院生に実践的な研究や活動の場を提供し、人材育成を図るためのインターンシップを引き続き行った。平成23年度は展覧会事業、教育普及事業、情報資料事業の3部門で8人を受け入れた。

岩崎美千子／岡坂桜子／小山祐美子／金井真悠子／浅井慧／高須咲恵／津田紘子／石川朝子

サポート・スタッフ

美術館の活動に関心を持つ学生にボランティアによる活動支援を呼び掛け、実務体験の機会を提供するサポート・スタッフ制度を引き続き実施した。

平成23年度サポート・スタッフ 85人

秋本真奈帆／綾部恵／新井音花／飯岡麻那実／泉田弘美／市川沙耶／伊藤珠恵／岩佐数音／上田結／尾澤理美／尾尻あやか／柿崎優／勝部佑香／加藤紗織／川辺和将／菅野友巳／岸本真依／櫛谷夏帆／熊野未有／小安絵南／今野真理子／齋藤陽帆／坂下視香／坂田温子／櫻井志穂／佐竹渉／佐藤芙美奈／佐藤弥生／篠崎茶代／篠原華子／柴田愛／渋谷百合／釈迦郡元気／秦裕華／杉山祥子／鈴木薫／須永詩織／関口愛／関根詩織／高橋優子／竹内千里／竹村淳／竹本芽依／田中麻衣子／田上健太／知久眞也／鄭卓／塚本麻知代／東郷恭之／常盤弘毅／外山有菜／豊田美月／中村真衣子／西川可奈子／西澤藍／西田淑恵／根本千明／長谷川雅渚／馬場愛美／林由宇子／原菜穂子／原田佳織／稗田有紗／樋田麻純／ビューラーイネス／平山美希／深田万有季／福島芹奈／福嶋菜衣／古山真里奈／堀川みどり／町田裕香／松丸美都／松本怜音／水谷真隆／村田杏美／森みどり／諸岡なつき／谷戸雄紀／矢野もも／山川舞／山中真梨／山本登喜子／良永晃子／渡邊真理

4-4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

●「モダン・アート、アメリカン」展鑑賞ガイド「アメリカ「都会と自然」

作品鑑賞の充実を図るため、「モダン・アート、アメリカン」の開催に合わせて、小学校高学年以上を対象とした鑑賞ガイドブック「アメリカ「都会と自然」」を作成し、展覧会来場者に無料配布した。

平成23(2011)年9月28日発行、蛇腹折り(840×148mm)、16ページ、
図版カラー7点、50,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：井上絵美子、木内祐子

デザイン：木内祐子

●アートのとびらvol.6

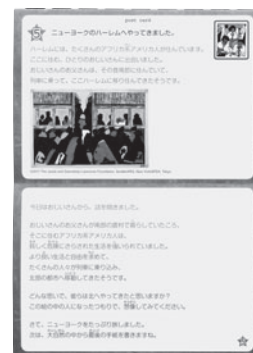
作品鑑賞の充実を図るため、「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」の開催に合わせて、中学生以上を対象とした鑑賞ガイドブック『アートのとびらvol.6』を作成し、展覧会来場者に無料配布した。

平成24(2012)年1月17日発行、A5判、12ページ、図版カラー6点、
15,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：井上絵美子、木内祐子

デザイン：高田唯、市川智美



●ワークショップ記録集

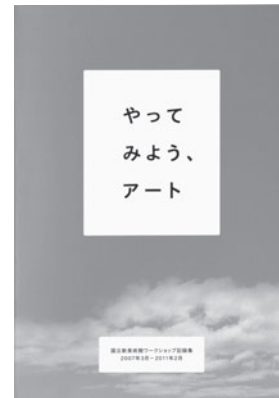
2007年3月から2011年2月までに開催された29回のワークショップを記録した『やってみよう、アート—国立新美術館ワークショップ記録集』を作成し、美術館教育普及関係者等に配布した。

平成23(2011)年12月16日発行、B5判、75ページ、5,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：西野華子、本橋弥生、吉澤菜摘、鳥居茜

デザイン：松下計、森井美紅



●「夏休みこどもたんけんツアー2011～新美術館のひみつをさがそう!～」

小学校3～6年生の児童を対象に、美術館のバックヤードを紹介するツアーを実施した。

日時：8月19日(金)、26日(金)14時30分～16時30分

対象：小学校3年生～6年生

参加者数：31人(全2回)

●鑑賞ガイダンス

学生、生徒、児童を対象に、作品鑑賞前に展示会のレクチャーを行った。

参加者数：5団体242人

●施設ガイダンス

学生、生徒、児童を対象に、国立新美術館の建築や施設などを紹介する施設ガイダンスを行った。

参加者数：2団体12人

●指導者研修

全国小中学校等の教員と美術館の学芸員等を対象に、美術館を活用した鑑賞教育の充実と、学校と美術館の連携を図ることを目的とした指導者研修を行った。

主催：独立行政法人国立美術館

日時：8月1日(月)～8月2日(火)

会場：国立西洋美術館(1日)、国立新美術館(2日)

参加者数：101人

●職業体験生徒受入

地域の学校からの職業体験生徒受入の依頼について、体験プログラムを実施し協力を行った。

日時：9月21日(水)、22日(木)

受入：港区立六本木中学校生徒2名

●SFTギャラリーへの企画協力

より多くの人々がアートやデザインに触れる機会を設けるとともに、アーティストやデザイナーを支援し、発表の場を提供することを目的に、館内地下1階にあるSFTギャラリーへの展示企画の協力を行った。



5

情報資料収集・提供

Collection and Provision of the Library
and Information Services

5-1 美術関連資料の収集と公開

Collection and Provision of the
Library and Materials

5-2 JACプロジェクト

JAC Project

5-3 展覧会情報の収集と提供

Collection and Provision of the
Information Services

5 情報資料収集・提供

Collection and Provision of the Library and Information Services

ホームページを通じて国立新美術館の活動を国内外に発信するとともに、全国の美術展の情報を収集し、ホームページ内に設けた検索システム「アート commons」や、館内のポスター掲示板、チラシ配付場所で提供した。

美術に関する資料については、日本の美術展カタログの網羅的収集や、近現代美術・デザイン・建築・写真・メディアアートに関連する図書の収集に努めた。美術展カタログの収集にあたっては、関係機関、全国の美術館・博物館、個人からの寄贈に多くを負った。これらの資料を、本館3階のアートライブラリーと別館1階の特別資料閲覧コーナーで一般の利用に供した。また、当館で刊行した美術展カタログ等の印刷物を、国内約400箇所、国外約100箇所の美術館・博物館、大学図書館等関連機関に送付した。

「JACプロジェクト」（日本の美術展カタログを国外の日本美術研究機関4箇所に寄贈する事業）については、引き続き欧米での日本に関する美術資料の活用促進に努めた。こうした活動に対し、寄贈先機関からも「JAC II」として、国外での日本美術に関する展覧会カタログの寄贈を受けた。

また、12月には、外部講師による展覧会カタログをテーマにしたシンポジウム、1月には開館5周年を記念した所蔵資料の特別展示を通して、美術に関する資料の調査・研究活動を進めた。

Along with using our website to provide basic information about NACT to visitors from Japan and overseas, we gathered details of exhibitions throughout the country and made it available to the public via the Art Commons search system installed on the website and via posters and pamphlets at the museum.

We worked to assemble a comprehensive catalog of reference materials relating to exhibitions held throughout Japan, and collected books on modern and contemporary art, design, architecture, photography, and the media arts. A large number of the catalogs in our collection were received through donations from sponsoring institutions, museums throughout Japan, and private individuals. These materials are made available to the public in the third-floor Art Library and in a special reading corner on the first floor of the museum annex. We also sent copies of our own catalogs and other printed materials to around 400 locations in Japan and 100 overseas, including museums, university libraries, and other related facilities.

The Japan Art Catalog (JAC) Project involves sending catalogs of Japanese art exhibitions to libraries at four institutions overseas specializing in Japanese art. We continued our work to encourage the use of these materials in the West. As part of the JAC II Project, recipient institutions reciprocated by donating catalogs from overseas Japanese art exhibitions.

In December we held a symposium with guest lecturers on the subject of art exhibition catalogs. And in January we organized a special exhibition of materials from our collection to mark the museum's fifth anniversary, continuing to develop our survey and research work on art-related materials.

5-1 美術関連資料の収集と公開 Collection and Provision of the Library Materials

美術関連資料の収集

●収集方針

日本で開催された展覧会のカタログの網羅的、遡及的収集を目指す。また、図書については、都内の他の国立美術館ライブラリー蔵書との重複を極力避け、国立新美術館が特にその紹介に力を入れている近現代美術、デザイン、建築、メディアアートに関するものを重点的に収集する。

●受贈 以下の大口寄贈を受けた(順不同)

- ・藤田喜久子氏(岡畏三郎氏旧蔵資料 展覧会カタログ670冊、図書50冊、その他15冊)
- ・財団法人水戸市芸術振興財団(展覧会カタログ967冊、図書36冊、その他54冊)
- ・武者小路知行氏(武者小路穰氏旧蔵資料 展覧会カタログ146冊、図書38冊)

●所蔵資料数

図書・カタログ登録冊数

		図書		カタログ		合計冊数	
和書	購入	12,253	(970)	1,762	(288)	14,015	(1,258)
	受贈	14,293	(1,149)	74,179	(7,533)	88,472	(8,682)
	小計	26,546	(2,119)	75,941	(7,821)	102,487	(9,940)
洋書	購入	4,739	(398)	2,580	(304)	7,319	(702)
	受贈	2,976	(256)	6,516	(832)	9,492	(1,088)
	小計	7,715	(654)	9,096	(1,136)	16,811	(1,790)
計		34,261	(2,773)	85,037	(8,957)	119,298	(11,730)

※()内は平成23年度増加冊数

逐次刊行物登録タイトル数

和雑誌	洋雑誌	年報・紀要類
1,554	218	853

美術関連資料の公開

1. アートライブラリー(3階)

●利用統計

	開室日数	入室者数	閉架書庫出納冊数	コピー枚数
平成23(2011)年4月	22	1,427	398	1,267
5月	28	2,205	702	2,182
6月	26	1,835	603	1,581
7月	27	2,774	571	1,435
8月	26	3,245	754	1,517
9月	26	1,893	482	2,034
10月	27	1,900	832	2,146
11月	25	1,860	765	1,816
12月	17	1,089	447	1,417
平成24(2012)年1月	18	1,038	604	1,537
2月	25	1,461	580	1,878
3月	27	1,713	492	1,744
合計	294	22,440	7,230	20,554

●利用時間

開室時間：11時～18時

休室日：毎週火曜日(祝日の場合は開室し、翌日休室)、年末年始、特別整理期間

※東日本大震災の影響により4月1日(金)～4日(月)は休室、4月6日(水)～8日(金)、11(月)は11時～17時の開室

アートライブラリー内所蔵資料紹介コーナー「話のたね」

- ・「美術品にまつわる犯罪とアートマーケット」平成22(2010)年12月6日(月)～平成23(2011)年5月9日(月)
- ・「国際美術展！！」5月11日(水)～8月29日(月)
- ・「追悼 針生一郎、多木浩二、瀬木慎一、中原佑介—『美術批評』が生んだ戦後の美術批評家たち—」8月31日(水)～11月28日(月)
- ・「現代アートが創る絵本たち」11月30日(水)～平成24(2012)年3月26日(月)
- ・「東京駅丸の内駅舎と近代の洋風建築」3月28日(水)～6月25日(月)

●資料展示

- ・「美術雑誌の創刊号シリーズ1 戦時下の美術雑誌」平成23(2011)年4月6日(水)～9月5日(月)
- ・「美術雑誌の創刊号シリーズ2 戦後の美術雑誌」9月7日(水)～平成24(2012)年3月26日(月)
- ・「雑誌紹介 『国際建築』」3月28日(水)～7月23日(月)

2. 特別資料閲覧コーナー(別館1階)

●利用統計

開室日数：95日

利用者数：44名

●特別資料閲覧の対象となっている資料

1969年以前に刊行された展覧会カタログ：3,775冊

貴重・脆弱な図書：802冊

美術・デザイン・建築以外の分野に関する図書：2,014冊

美術館・博物館・大学等の年報・紀要：853タイトル

美術館・博物館等のニューズレター：803タイトル

終刊した雑誌：610タイトル

マイクロ資料：(図書78冊、雑誌16タイトル)

ANZAïフォトアーカイブの写真：3,217点

●利用時間

事前予約制

開室日時：毎週木、金曜日、13時～17時

(木、金曜日が祝日、振替休日にあたる場合および年末年始は休室)

※東日本大震災の影響により4月1日(金)～4日(月)は休室

3. 開館5周年記念展示

「開館5周年記念展示 国立新美術館別館の建築とその時代—当館所蔵資料で見る昭和初期の都市モダニズム文化—」

日時：1月18日(水)～30日(月)

会場：国立新美術館 3階アートライブラリー前

5-2 JACプロジェクト JAC Project

●送付先

フリーア美術館／アーサー・M.サックラー美術館図書室(スミソニアン研究所)
 コロンビア大学 エイヴリー建築美術図書館
 ライデン大学 東亜図書館
 シドニー大学 フィッシャー図書館

●送付資料数：1,607冊

内訳(冊)	送付先	送付資料数
	フリーア	424
	コロンビア	113
	ライデン	592
	シドニー	478

●「JAC II プロジェクト」による受入資料数：87冊

内訳(冊)	送付先	送付資料数
	北米日本研究資料調整委員会(NCC)	83
	フリーア	2
	コロンビア	0
	ライデン	2
	シドニー	0

5-3 展覧会情報の収集と提供 Collection and Provision of the Information Services

アートcommons(展覧会情報検索システム)

平成23年度において、約1,700件の展覧会情報(約1,200の美術館・美術団体・画廊)を収集した。

11月に利用者の利便性を考慮し、サイトのリニューアルを実施。アクセス数が約3倍になった。

また、「日本の美術展覧会記録1945-2005」と連携し、戦後から現代までの展覧会情報が検索できるサービスの実現を図った。

展覧会チラシ、ポスターの収集と展覧会情報提供

全国の美術館や博物館、美術団体、画廊などから送付される広報物、展覧会チラシやポスターの一部を、館内複数箇所にて掲示、配布し、来館者への情報提供を行った。また、終了した展覧会の情報についても、当該年度分のチラシをアートライブラリーで来館者の求めに応じて閲覧に供した。



開催名	開始	終了	会場
手がゆら	2012-02-18	2012-05-13	京橋新国立美術館
小塚1919-100年の軌跡	2012-02-18	2012-05-13	市立小塚美術館
東北の名人別荘の美	2012-02-08	2012-05-13	九州美術館
カネタカの本	2012-02-13	2012-05-17	九州美術館
北海道近代美術館 名品100 Part1	2012-02-17	2012-05-13	北海道近代美術館
ウネネシア展	2012-02-17	2012-05-13	宮城美術館
フラクショナル展	2012-02-17	2012-05-17	札幌芸術の森美術館
足利町 太郎丸展	2012-04-01	2012-06-26	北海道立三好町太郎丸美術館
宮城の美術品	2012-04-05	2012-06-19	宮城美術館
同院美術のすべて展	2012-04-07	2012-05-08	北海道立近代美術館
本間宗室の書と絵画	2012-04-07	2012-05-15	本間美術館
新編に集る石巻派	2012-04-13	2012-05-13	宮城県美術館(主催) 美術館(共催) 公益財団法人「まほろば」(協賛)
チカガ展覧会	2012-04-13	2012-06-07	北海道立近代美術館

6

広報・出版

Publicity and Publications

6-1 印刷物

Publications

6-2 ホームページ

Website

6-3 広報活動

Publicity Activities

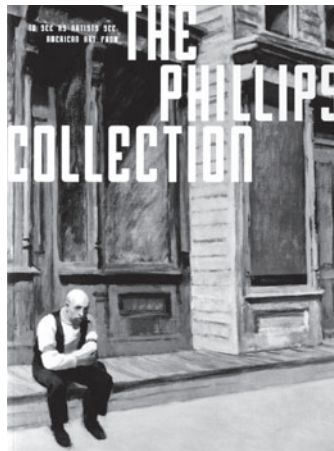
6-1 印刷物 Publications

カタログ Catalogue

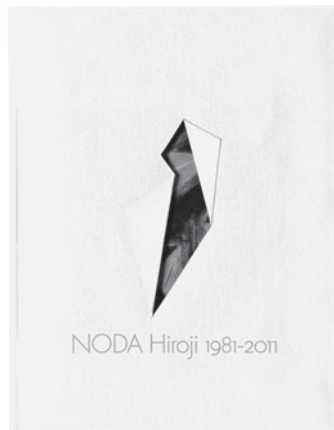
- 「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション」展覧会カタログ
平成23(2011)年6月発行、A4変型(296×231mm)、268ページ
図版カラー170点・白黒12点、30,000部(東京展のみ)
編集：日本テレビ放送網、国立新美術館、京都市美術館
執筆：キンバリー・A・ジョーンズ、六人部昭典、平井章一、後藤結美子
制作：美術出版社デザインセンター
発行：日本テレビ放送網



- 「モダン・アート, アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—」展覧会カタログ
平成23(2011)年9月28日発行、A4変型(300×225mm)、250ページ
図版カラー110点・白黒38点、6,000部
編集：スーザン・バーレント・フランク、国立新美術館、読売新聞東京本社 文化事業部
執筆：スーザン・バーレント・フランク、ドリー・アシュトン、西野華子
翻訳：出羽尚、岸みづき、瀧上華、中嶋泉、西野華子、長谷川珠緒、ギャビン・フルー、山田由佳子
編集デザイン：垣本正哉(D_CODE)
印刷：凸版印刷株式会社
発行：読売新聞東京本社



- 「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」展覧会カタログ
平成23(2011)年1月18日発行、A4変型(290×225mm)、198ページ
図版カラー229点・白黒19点、4,000部
編集：国立新美術館
執筆：福永治、本橋弥生、米田尚輝
翻訳：クリストファー・スティヴンズ
校正：岩田高明
デザイン：梯耕治
編集協力：リーヴル
編集補助：加藤絢、小山祐美子
発行：国立新美術館



- 「セザンヌ—パリとプロヴァンス」展覧会カタログ
平成24(2012)年3月28日発行、A4変型(297×230mm)、232ページ
図版カラー102点・白黒10点
発行部数：10,000部(初版)、5,000部(第2版)、15,000部(第3版)
編集：国立新美術館、日本経済新聞社
執筆：ドニ・クターニュ、マリリーヌ・アサンテ・ディ・パンツィッコ、ミシェル・フレッセ、フィリップ・セザンヌ、長屋光枝、工藤弘二
翻訳：小泉順也、中島恵、船岡美穂子、石谷治寛、山上紀子、小川カミーユ、小川紀久子
デザイン：今井千恵子(n. b. graphics)
制作：コギト
発行：日本経済新聞社



ポスター、チラシ、出品目録 Poster and Flier and List of Works

●「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション」

ポスター



チラシ



A4判(4種)、
350,000部

仕上りA4判、二つ折、400,000部

B0判(5種)、各15部(計75部)

B1判(4種)、各500部

B1判(1種)、1,500部

B1判(1種)、240部

(B1判計3,740部)

B2判、500部

B3判、2,000部

B3判、5,200部

B3判、2,600部

B3判、4,700部

(B3判計80,200部)

デザイン：あかねデザイン

出品目録

仕上りA4判、二つ折、日本語300,000部 英語30,000部

●「モダン・アート、アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—」

ポスター



チラシ



A4判、80,000部

仕上りA4判、二つ折、
初版120,000部・2版355,000部

B1判、960枚

B2判、2,620枚

B3判、22,200枚

B3変型(インターサイズ)、1,200枚

デザイン：田辺智子(田辺智子デザイン室)

出品目録

仕上りA4判、二つ折、700,000部

●「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」

ポスター



B 1 判(2種)、各550部(計1,100部)



B 2 判、2,500部



B 3 判、5,000部



B 3 変型(インターサイズ)、760部

チラシ



A 4 判、100,000部

デザイン：梯耕治

出品目録

仕上りA 4 判、二つ折、45,000部

●「セザンヌーパリとプロヴァンス」

ポスター



B 1 判(2種)、各200部(計400部)

B 2 判(2種)、各4,000部(計8,000部)

B 3 判(2種)、各2,500部(計5,000部)

チラシ



仕上りA 4 判、二つ折、
600,000部、(内、割引券付き300,000部)

デザイン：大島依提亜

出品目録

仕上りA 4 判、二つ折、4 ページ、発行部数；10,000部(初版)、100,000部(第2版)、130,000部(第3版)

フロアガイド、スケジュール類 Floor Guide, Exhibition Schedule, etc.

●国立新美術館スケジュール 2011.4-2011.9

仕上り210×100mm、巻三つ折、100,000部



●国立新美術館スケジュール 2011.10-2012.3

仕上り210×100mm、巻三つ折、100,000部



●国立新美術館 美術館ニュース No.18

平成23(2011)年5月31日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・「アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち」
展覧会関連イベントレポート
「対談：松江泰治(出品作家)×松井みどり(美術評論家)」
編集：長屋光枝(学芸課主任研究員)
- ・研究員レポート
「長谷川三郎のコラージュ—1937年前後の日本における板ガラスをめぐって」
谷口英理(学芸課アソシエイト・フェロー)
- ・書架のあいだから
「資料の紹介という新しい試み—講演会」
奥村嘉子(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業レポート
アーティスト・ワークショップ
「私の線をあつめよう」
国立新美術館 インターンシップ
鳥居茜(学芸課研究補佐員)
- ・公募団体等の活動
「更なる新しい価値の創造を求めて」
—社団法人二科会
二科会 事務局



●国立新美術館 美術館ニュース No.20

平成23(2011)年11月30日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・「モダン・アート、アメリカン・珠寶のフィリップス・コレクション—」
「チャールズ・シーラーが見たニューヨーク」
瀧上華(学芸課研究補佐員)
「ジェイコブ・ローレンスと《大移動》シリーズ」
山田由佳子(学芸課研究補佐員)
- ・研究員レポート
「CIMAM2011報告」
南雄介(学芸課学芸課長)
- ・書架のあいだから
「アートライブラリーの活用」
望月麻実子(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業レポート
アーティスト・ワークショップ
「凹凸探検隊！～探そう、美術館のかたち～」
「私だけの文様で作るSLEEVE BAG(スリーブバッグ)」
井上絵美子、木内祐子(学芸課研究補佐員)
- ・公募団体等の活動
「春陽展—90周年そして100周年に向けて—」
一般社団法人 春陽会



●国立新美術館 美術館ニュース No.19

平成23(2011)年8月31日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション」
「デュラン＝リュエルのアメリカー『パリの印象派による油彩とパステルの作品』展」
工藤弘二(学芸課アソシエイト・フェロー)
- ・研究員レポート
「展覧会『ヴェルサイユのヴェネ』」
宮島綾子(学芸課主任研究員)
- ・書架のあいだから
「画廊カタログの収集—水戸芸術館現代美術センター寄贈資料より」
力丸彩子(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業レポート
アーティスト・ワークショップ
「暮らしを見つめる 粘土で作ってみる」
国立新美術館 サポート・スタッフ
鳥居茜、吉澤菜摘(学芸課研究補佐員)
- ・公募団体等の活動
「独立書人団の今」
独立書人団事務局



●国立新美術館 美術館ニュース No.21

平成24(2012)年2月29日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・「国立新美術館 開館5周年特集」
「館長就任のメッセージ」
青木保(国立新美術館館長)
「初代館長としての任務を終えて」
林田英樹(前国立新美術館館長)
- ・「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」
「1995年の野田裕示」
安来正博(国立国際美術館主任研究員)
- ・書架のあいだから
「アートライブラリーの活用2—インターネット検索にはない良さを—」
窪内美緒(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業レポート
アーティスト・ワークショップ
「デザインって何だろう？～展覧会の印象を色や形にしてみよう！～」
『やってみよう、アート—国立新美術館ワークショップ記録集』ができました！
井上絵美子(学芸課研究補佐員)
- ・公募団体等の活動
「独立美術協会展……日本の絵画の源流となって……2012」
独立美術協会 事務局



活動報告 NACT Report

●平成22年度 国立新美術館 活動報告

平成23(2011)年5月31日発行、A4判、126ページ、800部

表紙デザイン：佐藤可士和



ガイドブックその他 Guide Book, etc.

●「モダン・アート、アメリカン」展鑑賞ガイド「アメリカ『都会と自然』」

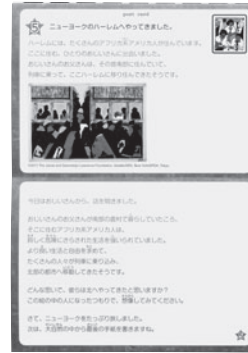
平成23(2011)年9月28日発行、蛇腹折り(840×148mm)、16ページ、

図版カラー7点、50,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：井上絵美子、木内祐子

デザイン：木内祐子



●国立新美術館ガイドブック『アートのとびらVol.6』

平成24(2012)年1月17日発行、A5判、12ページ、図版カラー6点、

15,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：井上絵美子、木内祐子

デザイン：高田唯、市川智美



●ワークショップ記録集

『やってみよう、アート—国立新美術館ワークショップ記録集』

平成23(2011)年12月16日発行、B5判、75ページ、5,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：西野華子、本橋弥生、吉澤菜摘、鳥居茜

デザイン：松下計、森井美紅



●「野田裕示」展リーフレット「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」を楽しむヒント

平成24(2012)年3月6日発行、仕上りA4判、変型二つ折、3,000部

編集：学芸課企画室広報担当

デザイン：柴田ユウスケ(soda design)



「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」を楽しむヒント

6-2 ホームページ Website

当館ホームページは、当館の多彩な活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体としての役割に加え、東日本大震災後の臨時休館等の情報を適時、広く伝えるためにも活用した。

当館の活動を発信するための手段として、平成23(2011)年11月、ソーシャルネットワーキングサービスFacebook上に「国立新美術館」のページ(<http://www.facebook.com/nact.jp>)を開設した。開館5周年関連の情報やアート commonsの更新情報等を随時発信した。

当館の活動を携帯電話などでも手軽に閲覧できることを目指して、平成21(2009)年12月から、メールマガジンを原則として月1回発行している。臨時休館の告知などの広報媒体としても使用している。約2,300名が受信登録している。

The purpose of the NACT website is to communicate information about our various activities via a user-friendly page design. The website was also used to provide information on temporary closures of the museum in the aftermath of the Great East Japan Earthquake Disaster in March 2011.

In November 2011, the museum debuted on Facebook, with the Facebook page (<http://www.facebook.com/nact.jp>, Japanese only). This site is updated on an ad hoc basis with notices regarding the museum's fifth anniversary and information about the latest additions to the Art Commons database.

Since December 2009, we have provided regular updates from the museum via an email subscription service, allowing visitors to keep track of our activities at their convenience via their mobile phones. The service is generally updated once a month. We also used the service to provide information after last year's earthquake disaster, keeping visitors up to date on temporary museum closures and other developments. The email service has around 2,300 subscribers.

当館ホームページの総アクセス数(閲覧されたページ数)：9,840,242件

うち、英語ページ： 193,577件

ドイツ語ページ： 6,141件

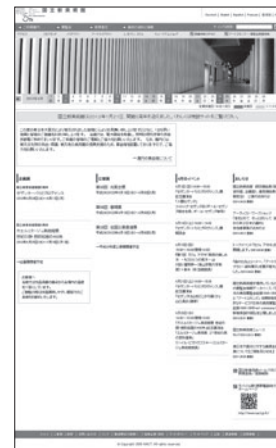
フランス語ページ：5,756件

スペイン語ページ：5,309件

韓国語ページ： 6,783件

中国語ページ： 10,318件

携帯サイト： 1,083,466件



6-3 広報活動 Publicity Activities

メディア各社へ展示会の情報を発信するほか、平成23(2011)年度は、東日本大震災・震災にともなう節電の影響による展示会の会期変更や、館長交代に関する取材対応を行った。また、平成24(2012)年1月21日(土)に開館5周年を迎えるにあたり、様々なイベントを開催するほか、プレスリリースの定期配信・媒体キャラバンによる取材誘致や、Twitterでの情報周知に努め、施設広報の機会とした。また、自主企画展では、特設ウェブサイトをPRページの制作、リーフレットの配架など、新たな方法で幅広い層へ情報を発信した。

We worked to publicize the exhibition events among a wide range of media outlets. In addition to our regular activities, in fiscal 2011 we received media coverages about schedule changes made in line with the nationwide efforts to conserve electricity following the March 11 earthquake and nuclear disaster, and about the museum's appointment of a new director. January 21, 2012 (Sat.) marked the museum's fifth anniversary, and various events were held to mark the occasion. We also solicited media coverage by issuing regular press releases and encouraging to attract media reports, and used Twitter as a tool for conveying information.

At the independently produced exhibitions held at the museum, we adopted new approaches to reach a wider audience. These included special-purpose publicity websites and the producing and distributing of PR leaflets.

平成23年度掲載記事、放映 Media Publicity April 2011 - March 2012

新聞

No. 紙名	発行	発行日	内容
1 毎日新聞	毎日新聞社	4月19日	「アーティスト・ファイル2011」展
2 東京新聞	中日新聞東京本社	4月22日	「アーティスト・ファイル2011」展
3 朝日新聞	朝日新聞社	5月18日	「アーティスト・ファイル2011」展
4 読売新聞	読売新聞社	6月2日	「シュルレアリスム展」震災対応
5 毎日新聞(関西版)	毎日新聞社	9月1日	震災と表現④美術館の役割 平井章一(国立新美術館 学芸課主任研究員)執筆
6 新美術新聞	美術年鑑社	10月11日	美術館の震災・災害対応 福永治(国立新美術館 副館長)、水野元洋(国立新美術館 庶務課長)取材
7 読売新聞	読売新聞社	11月28日	「モダン・アート、アメリカン」展 西野華子(国立新美術館 学芸課主任研究員)執筆
8 産経新聞	産経新聞社	1月17日	開館5周年スタート企画
9 新美術新聞	美術年鑑社	1月21日	館長交代 青木保(国立新美術館 館長)執筆、 「野田裕示」展 福永治(国立新美術館 副館長)執筆、 開館5周年スタート企画
10 日本経済新聞	日本経済新聞社	2月8日	「野田裕示」展

他 149件(当館把握件数)

雑誌

No. 誌名	発行	発売号	内容
1 日経おとなのOFF	日経BP社	5月号	美術館紹介 巻頭特集
2 美術手帖	美術出版社	5月号	「アーティスト・ファイル2011」展、 「シュルレアリスム展」南雄介(国立新美術館 学芸課長)執筆
3 芸術新潮	新潮社	6月号	「アーティスト・ファイル2011」展、 「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」特集
4 週刊ポスト	小学館	7月1日号	「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」特集 平井章一(国立新美術館 学芸課主任研究員)コメント
5 Pen	阪急コミュニケーションズ	7月15日号	美術館の秘密(公募展の搬入)
6 美人百花	角川春樹事務所	9月号	美術館紹介
7 おとなの週末	講談社	12月号	美術館紹介
8 with	講談社	1月号	「野田裕示」展、開館5周年スタート企画
9 美術の窓	生活の友社	2月号	「野田裕示」展、「セザンヌ」展 工藤弘二(国立新美術館 学芸課 アソシエイト・フェロー)執筆、「大エルミタージュ美術館展」本 橋弥生(国立新美術館 学芸課主任研究員)執筆、「具体」展、 「リヒテンシュタイン」展 宮島綾子(国立新美術館 学芸課主任 研究員)執筆
10 Cut	ロッキング・オン	2月号	開館5周年スタート企画
11 日経サイエンス	日経サイエンス社	3月号	「野田裕示」展
他 118件(当館把握件数)			

WEB

No. 誌名	発行	掲載日	内容
1 OZmall	スターツ出版	4月12日～	「アーティスト・ファイル2011」展 タイアップページ
2 CINRA.NET	CINRA	4月18日～	「アーティスト・ファイル2011」展展覧会フォトレポート(片桐仁氏)
3 webDICE	アップリンク	4月29日～	「アーティスト・ファイル2011」展 岩熊力也(同展出品作家)インタ ビュー
4 WEDGE	ウェッジ	6月16日～	「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」 平井章一(国立新美 術館 学芸課主任研究員)取材
5 日本政府観光局(JNTO)ホームページ	日本政府観光局(JNTO)	8月21日～	美術館紹介
6 artgene	OCN	12月28日～	「野田裕示」展
7 アメバニュース	サイバーエージェント	1月16日～	「野田裕示」展
8 インターネットミュージアム	インターネットミュージアム事務局	1月18日～	「野田裕示」展 展覧会レポート
9 芸術環境KAIZENファイル	ネットTAM	1月23日～	託児サービス 水野元洋(国立新美術館 庶務課長)取材
他 75件(当館把握件数)			

テレビ

No. 放映番組名	放送局	放映日	内容
1 あなたが主役50ボイス	NHK	7月1日	美術館紹介 室屋泰三(国立新美術館 学芸課主任研究員)、山田 由佳子(国立新美術館 学芸課研究補佐員)出演
2 ぶらぶら美術・博物館	BS日テレ	10月25日	「モダン・アート、アメリカン」展 西野華子(国立新美術館 学 芸課主任研究員)出演
3 NEWS ZERO	日本テレビ	1月31日	国立新美術館開館5周年記念 アーティスト・ワークショップ 「デザインって何だろう?～展覧会の印象を色や形にしてみよ う!～」(講師:佐藤可士和)紹介
他 20件(当館把握件数)			

ラジオ

No. 放送番組名	放送局	放送日	内容
1 シナプス	TOKYO FM	4月27、28日	「アーティスト・ファイル2011」展 中井川由季(同展出品作家)、岩 熊力也(同展出品作家)出演
2 ラジオジャパン	NHKワールド	5月27日	「アーティスト・ファイル2011」展
3 RENDEZ-VOUZ	J-WAVE	6月21日	「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」 平井章一(国立新美 術館 学芸課主任研究員)出演
4 NHKジャーナル	NHKラジオ第1	7月26日	震災・節電対応について 水野元洋(国立新美術館 庶務課長)出演
5 AUTUMN NAVIGATION	J-WAVE	9月19日	「モダン・アート、アメリカン」展 西野華子(国立新美術館 学 芸課主任研究員)出演
6 LOVE CONNECTION	TOKYO FM	1月20日	開館5周年スタート企画
他 3件(当館把握件数)			

その他、フリーペーパー、書籍等の掲載 104件(当館把握件数)

六本木アート・トライアングル

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館の3館は、地図上で三角形を描く「六本木アート・トライアングル」として、展覧会観覧料の相互割引「あとり割」や、『六本木アート・トライアングルMap+Calendar』の配布など、新しいアートの拠点を目指し、様々な連携に取り組んでいる。今年度は新たな試みとして、アカデミーヒルズと連携し、11月23日(水・祝)に「六本木アートカレッジ」を開催した。1日で全20講座を開催し、参加者数約1000人を迎え、講座によっては立ち見が出るなど、大変盛況であった。またこの「六本木アートカレッジ」の受講票の提示で、11月23日(水・祝)～12月4日(日)の期間、「あとり割」を適応した。

●六本木アート・トライアングルMap+Calendar 2011.4-10

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館

平成23(2011)4月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折

※東日本大震災の影響による展覧会会期変更等のため、内容を見直し再印刷した。

●六本木アート・トライアングルMap+Calendar 2011.10-2012.3

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館

平成23(2011)10月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折



●六本木アートカレッジ

開催日：平成23(2011)年11月23日(水・祝) 10時～18時30分

概要：アートを中心とした20種類の講座を、1日3000円で好きなだけ受講できるイベント。7つの時間帯、6つの会場で開講の講座から、好みのものを選択し、受講する。また受講票の提示で、11月23日(水・祝)～12月4日(日)の期間、国立新美術館「モダン・アート、アメリカン・珠玉のフィリップス・コレクション」展を100円割引、サントリー美術館「南蛮美術の光と影 泰西王侯騎馬図屏風の謎」展を100円割引、森美術館「メタボリズムの未来都市展：戦後日本・今蘇る復興の夢とビジョン」展を200円割引とした。

会場：アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ 森タワー49階)

申込者数：1,224人 参加者数：939人



福永治 FUKUNAGA Osamu

【執筆】

- ・「『絵画のかたち／絵画の姿』野田裕示の歩み」、「図像のかたち」／「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」展覧会カタログ／1月／国立新美術館
- ・「国立新美術館開館5周年 野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿展」／『新美術新聞』No.1269／1月21日／美術年鑑社
- ・「『新進アーティスト作品展X』総評、作品評」／「新進アーティスト作品展X」展覧会リーフレット／2月／財団法人富士市文化振興財団

【講演等】

- ・「記念講演会『坂本善三美術館と善三先生』」／「坂本善三 故郷に帰る」展／9月17日／坂本善三美術館(熊本県)
- ・「対談：野田裕示×福永治」／「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」／3月17日／国立新美術館

【海外出張】

- ・イタリア、フランス／8月24日～9月3日／国際美術展(第54回ヴェネツィア・ビエンナーレ)、ならびに国立21世紀美術館(イタリア)、ポンピドゥー・センター メッス分館など新設美術館の調査、およびオルセー美術館、ポンピドゥー・センター本館、ルーブル美術館訪問、関係者との意見交換、実態調査のため

南雄介 MINAMI Yusuke

【執筆】

- ・「マルセル・デュシャン」(特集：現代アートの巨匠 先駆者たちの〈作品・ことば・人生〉) [作家解説、作家のことば、他]／『美術手帖』第63巻951号／5月号／美術出版社
- ・「研究員レポート CIMAM2011報告」／『国立新美術館ニュース』第20号／11月／国立新美術館
- ・「マン・レイ『回転扉』をめぐって」／『Fuji Xerox Print Collection No.40 マン・レイ』／12月／富士ゼロックス株式会社
- ・「前沢知子」／「VOCA展2012 現代美術の展望——新しい平面の作家たち」展覧会カタログ／3月／「VOCA展」実行委員会、財団法人日本美術協会・上野の森美術館

【講演、研究発表等】

- ・「シュルレアリスムの世界——国立新美術館『シュルレアリスム展』を中心に」(フランス美術史シリーズその8—中世から現代までフランス美術史をたどって—)／4月26日／日仏会館ホール

【海外出張】

- ・フランス、ベルギー／8月27日～9月3日／企画展にかかわる調査、交渉、打合せのため
- ・アメリカ／9月11日～17日／企画展にかかわる調査、交渉、打合せのため
- ・オーストリア、イタリア、スロヴェニア、クロアチア、フランス／11月8日～19日／CIMAM2011(国際近現代美術館会議)への参加、ヴェネツィア・ビエンナーレ視察、およびその他企画展にかかわる調査、交渉、打合せのため

平井章一 HIRAI Shoichi

【執筆】

- ・「アメリカ人と印象派」／「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション」展覧会カタログ／6月／日本テレビ放送網
- ・「アート・トーキング」／『日本経済新聞』／7月14日／日本経済新聞社
- ・「BUNKAなう 震災と表現④ 美術館の役割」／『毎日新聞』／9月1日／毎日新聞社

【講演、研究発表等】

- ・「パネル・ディスカッション『リニューアルの今とこれから』」／美術史学会 美術館博物館委員会 東西合同シンポジウム「What's New?—リニューアールあれこれ—」／5月7日／国立新美術館

- ・「第60回全国美術館会議総会 特別セッション『東日本大震災と美術館』」／5月26日／横手セントラルホテル
- ・「市民自由講座 印象派からポスト印象派へ」／6月22日／八王子市生涯学習センター(クリエイトホール)
- ・「公開講座『ワシントン・ナショナル・ギャラリー展』展のみどころ」／8月6日／朝日カルチャーセンター新宿
- ・「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション：国立新美術館」／8月19日、8月26日、9月2日／青山学院大学、国立新美術館
- ・「シンポジウム『美術館建設中。東京一ワルシャワ』」／11月14日／国立新美術館
- ・「『具体』—“未知の美”を求めて」／六本木アートカレッジ／11月23日／アカデミーヒルズ
- ・「展覧会企画と展覧会カタログ」／「シンポジウム“展覧会カタログ”を斬る」／12月4日／国立新美術館

【海外出張】

- ・アメリカ／11月2日～10日／ハーヴァード大学で開催された同校とグッゲンハイム美術館共催による「具体」シンポジウムでの発表、平成24年度企画展「具体」展調査のため

長屋光枝 NAGAYA Mitsue

【執筆】

- ・「[セクション解説]「形成期：パリとプロヴァンスのあいだで」「パリ：裸体の誘惑」「パリ：余暇の情景」「プロヴァンス：水浴図」「親密な人々：家族と友人の肖像」「プロヴァンス：農民、庭師の肖像」[エッセイ]「セザンヌからマティスへ—《3人の水浴の女たち》を手がかりに」／「セザンヌ—パリとプロヴァンス」展覧会カタログ／3月／日本経済新聞社

【講演、研究発表等】

- ・「国立新美術館における取り組み」／「文化財の保存環境を考慮した博物館の省エネ化」に関する研究会／2月17日／東京文化財研究所

【海外出張】

- ・ドイツ、デンマーク／7月25日～31日／平成25年度企画展にかかわる打ち合わせ、およびその他の企画展にかかわる調査と交渉のため
- ・イタリア、スロヴェニア、クロアチア、フランス／11月8日～19日／国際近現代美術館会議(CIMAM)への出席、平成23年度企画展「セザンヌ—パリとプロヴァンス」展打ち合わせ、および、各国の美術状況の調査のため

宮島綾子 MIYAJIMA Ayako

【執筆】

- ・「研究員レポート 展覧会『ヴェルサイユのヴェネ』」／『国立新美術館ニュース』No.19(8月)／国立新美術館
- ・「リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝」／『美術の窓』第31巻第2号(通巻341号)／2月／生活の友社

【海外出張】

- ・フランス、ドイツ／3月21日～27日／企画展の打ち合わせと作品調査、近現代美術の展覧会調査のため

西野華子 NISHINO Hanako

【執筆】

- ・「モダン・アートの周辺—初期のコレクターと美術館」／「モダン・アート、アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—」展覧会カタログ／9月／読売新聞東京本社
- ・「モダン・アート、アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—展」／『文化庁月報』10月号No.517／文化庁
- ・「国立新美術館『モダン・アート、アメリカン』から『ランチョス教会、No.2、ニューメキシコ』」／「(ぎやらいいモール)」／『読売新聞』11月15日(夕刊)／読売新聞社

- ・『やってみよう、アート—国立新美術館ワークショップ記録集』（共著）／12月／国立新美術館
- ・「二〇世紀を超えて—民藝と物の時代」／鞍田崇編『〈民藝〉のレッスン—つたなさの技法』／1月／フィルムアート社
- ・「北城貴子—Saturationによせて」／「Saturation—北城貴子」展覧会リーフレット／3月／アートフロントギャラリー

【翻訳】

- ・ドリー・アシュトン「アメリカ美術におけるモダニズム」／「モダン・アート、アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—」展覧会カタログ／9月／読売新聞東京本社

【講演、研究発表等】

- ・「アメリカ美術って何？～モダン・アート、アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—展から紐解く」／六本木アートカレッジ／11月23日／アカデミーヒルズ

本橋弥生 MOTOHASHI-MÄKI-MANTILA Yayoi

【執筆】

- ・『やってみよう、アート—国立新美術館ワークショップ記録集』（共著）／12月／国立新美術館
- ・「皮膚としてのカンヴァス、絵画の向こう側」／「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」展覧会カタログ／1月／国立新美術館
- ・「ティツィアーノからマティスまで—挙に400年を辿る」／『美術の窓』（No.341）／2月／生活の友社

【海外出張】

- ・ロシア／9月22日～28日／平成24年度企画展「大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧美術の400年」にかかわる作品調査のため
- ・アメリカ／10月23日～30日／平成25年度企画展にかかわる作品調査および交渉のため

室屋泰三 MUROYA Taizo

【執筆】

- ・第VI講「作品情報の発信とアクセス」／全国美術館会議 情報・資料研究部会企画 セミナーⅢ 美術情報・資料の活用—展覧会カタログからWebまで—／12月／全国美術館会議 情報・資料研究部会

【講演、研究発表等】

- ・第VI講「作品情報の発信とアクセス」／全国美術館会議 情報・資料研究部会企画 セミナーⅢ 美術情報・資料の活用—展覧会カタログからWebまで—／12月17日／奈良国立博物館

工藤弘二(アソシエイト・フェロー) KUDO Koji (Associate Curator)

【執筆】

- ・「章解説」『紙の上の印象派』／「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション」展覧会カタログ／6月／日本テレビ放送網
- ・「デュラン＝リュエルのアメリカ—『パリの印象派による油彩とパステルの作品』展」／『国立新美術館ニュース』No.19(8月)／国立新美術館
- ・「南北の移動に焦点を絞ったセザンヌ展」／『美術の窓』No.341(2月)／生活の友社
- ・「セクション解説」[第1章:初期][第2章:風景][第5章:静物]、[エッセイ]「セザンヌの岩石画をめぐって」／「セザンヌ—パリとプロヴァンス」展覧会カタログ／3月／日本経済新聞社

【講演、研究発表等】

- 「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」解説会／7月30日／国立新美術館

谷口英理(アソシエイト・フェロー) TANIGUCHI Eri (Researcher)

【執筆】

- ・「異種メディアのはざままで」／「生誕100年記念瑛九展」展覧会カタログ／7月／宮崎県立美術館・埼玉県立近代美術館・うらわ美術館
- ・「研究員レポート 長谷川三郎のカラーズ—1937年前後の日本における板ガラスをめぐって」／『国立新美術館ニュース』No.18(5

月)／国立新美術館

- ・「一九三〇年前後の前衛的芸術潮流における堀野正雄の位置」／東京都写真美術館編「幻のモダニスト 写真家堀野正雄の世界」展覧会カタログ／3月／国書刊行会

【海外出張】

- ・台湾／9月6日～9日／台北市立美術館で行われた「パイロット・プログラム2011 美術館の資料保存と再利用」に出席するため

三木哲夫(特任研究員) MIKI Tetsuo (Special Projects Curator)

【講演、研究発表等】

- ・「近代版画のあゆみと川上澄生」／「川上澄生と宇都宮女子高等学校」展／10月22日／鹿沼市立川上澄生美術館

8

その他の事業

Other Programs and Events

●SFTギャラリー展示一覧

・TABERU

石田誠、尾形アツシ、小野哲平、村田森

ディレクター：祥見知生

平成23(2011)年3月16日(水)～5月9日(月)

・accoとmagmaのはっぴーハッピー

acco：田中章子、magma：杉山純、宮澤謙一

5月25日(水)～7月11日(月)

・文様 TAKAHASHI HIROKO

高橋理子

7月13日(水)～9月12日(月)

・生きものをめぐる22人の作り手たちの物語

倉敷意匠分室

山本奈穂／ノラヤ、きたのまりこ、田所真理子／Tadokoro garo、

柴田葉子／アケモドロ、岡理恵子／点と線模様製作所、軸原ヨウスケ・

武田美貴／コチャエ、ユカワアツコ／トリル、土井朋子／atelier朋、

福田十糸子、吉浦亮子／パピアクリップ、沼田真央／tamao、

安部太一、萩原朋子、堀内亜理子／halico、富井貴志、ハタノワタル、

関美穂子、若野忍／kiyata、加護園、結城伸子、加藤郁美／月兔社、

にしお ゆき／おるがん社

9月14日(水)～10月17日(月)

・喫茶

伊藤聡信、中園義光、福田るい、村上躍、山野邊孝、wagashiasobi

10月19日(水)～平成24(2012)年1月23日(月)

・上出長右衛門窯の工場(こうば)展

上出長右衛門窯、Jamie Hayon

企画協力：丸若屋

1月25日(水)～3月26日(月)

・MESHIAN 贈るうつわ

浅井純介、石田誠、尾形アツシ、小野哲平、小山乃文彦、掛江祐造、

亀田大介、寒川義雄、郡司康久、田村一、寺田鉄平、鶴見宗次、

額賀章夫、村木雄児、村田森、横山拓也、吉岡萬理

ディレクション：祥見知生、うつわ祥見

3月28日(水)～5月21日(月)

●別館1階展示コーナー

昭和3(1928)年建設の旧陸軍兵舎は、「日」の字型の構造を持ち、アー

ルデコ調のデザインを取り入れた外壁など、ビルディング・タイプの

モダンな旧陸軍初の鉄筋コンクリート建築であった。国立新美術館建

設に伴い、建物は解体・撤去されることとなったが、建築上の歴史的

価値に鑑み、その一部が国立新美術館別館として保存されている。

別館1階の展示コーナーでは、兵舎時代の建物の写真や図面、模型、

解体前の調査報告書などを公開している。

開室日：毎週木、金曜日

(木、金曜日が祝日または休日にあたる場合、休館日及び年末年始は休室)

開室時間：13時～17時

開室日数：94日

利用者数：1,215人

●ロビーコンサート

・スペシャルパフォーマンス MI ♪ CHIKU ♪ SA

日時：10月9日(日)14時30分～15時

※東日本大震災の影響により日程変更、当初は平成23(2011)年3月26日(土)。

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：斉藤美音子(振付家・ダンサー)、知久寿焼(音楽家)

参加者数：378人



12月2日 クリスマスジャズコンサート

・クリスマスJAZZコンサート

日時：12月2日(金)18時30分～19時30分

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：satsuki(ボーカル)、西村和彦(ピアノ)、小畑和彦(ギター)

参加者数：346人

・国立新美術館開館5周年オペラコンサート

日時：1月20日(金)18時30分～19時30分

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：新国立劇場オペラ研修所修了生

参加者数：253人

●国立新美術館開館5周年記念事業

国立新美術館は1月21日(土)に開館5周年を迎え、記念事業を実施した。

・開館5周年記念ロゴマークの制作(佐藤可士和氏に委嘱)

・開催中の展覧会について観覧料無料

・来館者全員に、開館5周年記念品プレゼント

・開館5周年記念展示

○「国立新美術館別館の建築とその時代—当館所蔵資料で見る昭和初期の都市モダニズム文化—」

日時：1月18日(水)～1月30日(月)

会場：国立新美術館 3階アトライブラリー前

○記録写真展示「あゆみ展」

日時：1月18日(水)～1月30日(月)

場所：デジタルサイネージ(館内2ヶ所に設置)

・国立新美術館開館5周年オペラコンサート

日時：1月20日(金)18時30分～19時30分

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：新国立劇場オペラ研修所修了生

参加者数：253人

・「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」講演会「自作を語る」

日時：1月21日(土)14時～15時30分

講演：野田裕示(出品作家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：250人

・絵本と音楽のスペシャルライブ「えほんうた」

日時：1月21日(土)11時30分～12時、16時30分～17時

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：和津実(ミュージシャン)、皆倉崇良(ギター)

参加者数：590人(全2回)

- ・アーティスト・ワークショップ「デザインって何だろう？～展覧会の印象を色や形にしてみよう！～」
日時：1月22日(日)14時～17時
講師：佐藤可士和(アートディレクター／クリエイティブディレクター)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生(中学年以上)
参加者数：24人

●六本木アートナイト2012

主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、六本木アートナイト実行委員会(国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合)

日時：3月24日(土)10時～25日(日)18時
(コアタイム24日17時56分【日没】～25日5時38分【日の出】)

開催場所：国立新美術館、サントリー美術館、森美術館、21_21DESIGN SIGHT、東京ミッドタウン、六本木ヒルズ、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

国立新美術館プログラム：

3月24日(土)：

- ・「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」を22時まで開館延長
- ・「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」観覧料無料の実施
- ・アーティスト・ワークショップ「野ダテ○△□～掛け軸に描いて、お茶室で鑑賞しよう！～」(講師：開発好明)
- ・「TOKYO ANIMA! 2012春」
- ・「橋本聡によるスペシャル・パフォーマンス」

3月24日(土)～3月25日(日)：

- ・「屋外特別展示 開発好明『発泡苑』」

六本木広域プログラム(うち、国立新美術館を会場として実施したもの)：

3月24日(土)～3月25日(日)：

- ・「草間彌生《愛はとこしえ、未来は私のもの!》／《PUMPKIN》」

3月25日(日)：

- ・「Musicity Tokyo in ROPPONGI SPECIAL LIVE MUSIC 蓮沼執太『タイム』」



9

記録

Records

9-1 入場者数

Number of Visitors

9-2 予算

Revenue and Expenditure

9-3 企業協賛

Corporate Support

9-4 来館者サービス

Visitor Services

9-5 国際交流

International Exchanges

9-6 展覧会出品リスト

List of Works

9-7 名簿

The NACT Council and Staff List

9-1 入場者数 Number of Visitors

国立新美術館展覧会入場者数

年度	企画展			公募展			年間入場者数合計	入場者数累計
	展覧会数	開催日数	入場者数	展覧会数	開催日数	入場者数		
平成18	4	162	498,694	—	—	—	498,694	498,694
平成19	11	423	1,847,413	69	832	1,317,508	3,164,921	3,663,615
平成20	11	432	1,052,472	69	840	1,309,747	2,362,219	6,025,834
平成21	10	453	1,149,767	69	833	1,246,840	2,396,607	8,422,441
平成22	11	397	1,807,150	69	811	1,266,989	3,074,139	11,496,580
平成23	8	350	690,000	69	831	1,253,764	1,943,764	13,440,344

※平成18年度は開館(平成19年1月21日)から年度末(3月31日)までの統計である

※開催日数には、年度内に開催された全ての展覧会の開催日数合計を記した

※公募展の展覧会数・開催日数・入場者数は、当該年度第1会期から第25会期まで(平成22年度までは第50会期まで)の展覧会の統計である

※平成23(2011)年3月12日(土)、14日(月)、16日(水)～18日(金)、23日(水)～25日(金)は臨時休館

9-2 予算 Revenue and Expenditure

収入

事項	金額(単位：千円)
運営交付金	1,204,936
自己収入	575,735
合計	1,780,671

支出

事項	金額(単位：千円)
一般管理費	530,768
展示事業費	735,615
教育普及費(情報・資料事業費等を含む)	504,288
調査研究費	10,000
合計	1,780,671

※人件費は除く

9-3 企業協賛 Corporate Support

企業名	協賛事業
東レ株式会社、鹿島建物総合管理株式会社、住友化学株式会社、三井不動産株式会社、三菱電機株式会社	海外に向けて美術情報を発信する活動(JACプロジェクト)への協賛
三菱商事株式会社	託児サービス事業への協賛
JXホールディングス株式会社	コンサート事業への協賛

9-4 来館者サービス Visitor Services

●付属施設

- ・ レストラン：ブラスリー ポール・ボキューズ ミュゼ(3階)
- ・ カフェ：サロン・ド・テロンド(2階)
カフェ コキュー(1階)
カフェテリア カレ(地下1階)
- ・ ミュージアムショップ：スーベニア フロム トーキョー(SFT)
SFTギャラリー(地下1階)

●観覧環境の整備

- ・ 多目的トイレの設置
- ・ 車椅子・ベビーカーの貸出
- ・ オストメイト(人工肛門・人工膀胱)対応トイレの設置
- ・ 身体障害者用駐車場の整備
- ・ 授乳室(地下1階)の整備
- ・ 補聴器等への磁気誘導無線システムを講堂に設置(専用受信機10台)
- ・ 点字ブロック、点字表示の整備
- ・ 視覚障害者用のインターホンを各入口に設置
- ・ 館内ディスプレイでの展覧会や講演会等の情報表示
- ・ 海外6ヶ国語版の利用案内(220×107mm、二つ折)を配布
- ・ バリアフリー情報に特化した大きな文字の利用案内を配布

●託児サービス

育児支援及び来館者サービスの一環として、託児サービスを実施した。

実施日：毎月第2木曜、第3日曜、第4月曜 計27回

※第4月曜は1月から実施

使用施設：国立新美術館 研修室

受入人数：190人

●独立行政法人国立美術館キャンパスメンバーズ

会員法人数：70法人(うち国立新美術館利用法人数；60法人)

国立新美術館利用者数：21,917人

●高校生等の観覧料無料化

・高校生又は18未満の観覧料無料展覧会：

「アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち」

「未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果」

「野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿」

・高校生特別無料招待日を設けた展覧会：

「シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥセンター所蔵作品による—」

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション」

「モダン・アート、アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション—」

「セザンヌ—パリとプロヴァンス」

・観覧料無料展覧会：

「平成23年度[第15回]文化庁メディア芸術祭」

●クレジットカードおよび電子マネーによる観覧券購入対応

クレジットカード：UC、MasterCard、VISA、JCB、AMEX、Diners Club、DISCOVER

電子マネー：Suica、PASMO、ICOCA、Kitaca、TOICA、SUGOCA、nimoca、はやかけん

●ぐるっとパス

平成23年4月1日～平成24年3月31日の期間、東京の美術館・博物館等共通入館券「東京・ミュージアム ぐるっとパス2011」に参加。



託児サービス

9-5 国際交流 International Exchanges

氏名 Name

肩書

国・地域

滞在期間・来館日

来館目的

平成23年度招聘者 Guests April 2011 - March 2012

アラン・スボン Alain Seban

ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 総裁

フランス

5月15日～16日

シュルレアリスム展 展示視察

アレクサンドル・コリエックス Alexandre Colliex

ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 国際部長

フランス

5月15日～16日

シュルレアリスム展 展示視察

ブリジット・レアル Brigitte Leal

ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 副館長

フランス

5月15日～18日、20日

シュルレアリスム展 撤去指導、作品輸送

オルガ・マクロフ Olga Makhroff

ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 作品貸出・寄託室長

フランス

5月16日～18日、20日

シュルレアリスム展 撤去指導、作品輸送

セナン・コジョヴィ・コジョ Sennen Kodjovi Codjo

ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 レジストラール

フランス

5月16日～18日、23日

シュルレアリスム展 撤去指導、作品輸送

コリーヌ・ピカレロ Corinne Picarello

ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 レジストラール

フランス

5月16日～18日、26日

シュルレアリスム展 撤去指導、作品輸送

アリシア・B・トーマス Alicia B. Thomas

ワシントン・ナショナル・ギャラリー シニア・ローン・オフィサー

5月27日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」作品輸送

ジョニー・ミゼル Johnnie Mizell

ワシントン・ナショナル・ギャラリー シニア・アート・サービス専門員

5月27日、9月9日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」作品輸送

ダニエル・B・シェイ Daniel B. Shay

ワシントン・ナショナル・ギャラリー アート・サービス・マネージャー

5月28日、6月1日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」作品輸送、展示指導

ミカエル・スウィックリック Michael Swicklik

ワシントン・ナショナル・ギャラリー シニア・コンサヴァター(絵画担当)

5月28日、6月1日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」作品輸送、展示指導

キャスリーン・クレイン Kathleen Crain

ヒューストン美術館 レジストラール

5月28日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」作品輸送

サリー・R・フライターク Sally R. Freitag

ワシントン・ナショナル・ギャラリー チーフ・レジストラール

6月1日～4日、9月6日～7日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」作品輸送、展示・撤去指導

サラ・フィッシャー Sarah Fisher

ワシントン・ナショナル・ギャラリー チーフ・コンサヴァター(絵画担当)

6月1日～4日、9月6日～7日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」作品輸送、展示・撤去指導

マリアン・ディルダ Marian Dirda

ワシントン・ナショナル・ギャラリー コンサヴァター(紙作品担当)

6月1日、3日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」作品輸送、展示指導

アンヌ・ハルバーン Anne Halpern

ワシントン・ナショナル・ギャラリー レジストラール

6月2日～4日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」作品輸送、展示指導

キンバリー・A・ジョーンズ Kimberly A. Jones

ワシントン・ナショナル・ギャラリー アソシエイト・キュレーター(フランス絵画担当)

6月2日～4日、7日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」監修者、作品輸送、展示指導、開会式出席

ジョセフ・J・クラコーラ Joseph J. Krakora

ワシントン・ナショナル・ギャラリー エグゼクティブ・オフィサー

6月7日、12日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」開会式出席、講演会

エレン・ブライアント Ellen Bryant

ワシントン・ナショナル・ギャラリー エグゼクティブ・オフィサー補佐官

6月7日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」開会式出席

アン・ホニグスヴァルド Ann Hoeningwald

ワシントン・ナショナル・ギャラリー シニア・コンサヴァター(絵画担当)

9月7日～8日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」撤去指導、作品輸送

ジュディス・クライン Judith Cline

ワシントン・ナショナル・ギャラリー アソシエイト・レジストラール

9月7日～8日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」撤去指導、作品輸送

ミシェル・ファチャーニ Michelle Facini

ワシントン・ナショナル・ギャラリー コンサヴァター(紙作品担当)

9月8日～9日

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」撤去指導、作品輸送

ルネ・モーラー Renée Maurer
フィリップス・コレクション アシスタント・キュレーター
アメリカ
9月15日、20日～23日
「モダン・アート, アメリカン」展作品輸送、展示指導

スーザン・ベレント・フランク Susan Behrends Frank
フィリップス・コレクション アソシエイト・キュレーター
アメリカ
9月20日～23日、27日～28日、12月13日～15日、21日
「モダン・アート, アメリカン」展作品輸送、展示・撤去指導、講演会

ジョセフ・ホルバック Joseph Holbach
フィリップス・コレクション チーフ・レジストラ
アメリカ
9月16日、20日～23日、27日、12月13日～15日、20日
「モダン・アート, アメリカン」展作品輸送、展示・撤去指導

パトリア・ファヴェロ Patricia Favero
フィリップス・コレクション コンサヴェーション・フェロー
アメリカ
12月13日～15日、21日
「モダン・アート, アメリカン」展作品輸送、撤去指導

ドニ・クターニュ Denis Coutagne
フランス国家文化財主任研究員
3月1日～2日、19日～23日、25日～27日、30日
「セザンヌ」展監修者、作品輸送、展示指導、記者説明会、講演会

エマニュエル・バ Emmanuelle Bas
パリ市立ブティ・パレ美術館 レジストラ
3月2日
「セザンヌ」展 作品輸送

カロラ・ベル Carola Bell
シンシナティ美術館 アソシエイト・レジストラ
3月2日
「セザンヌ」展 作品輸送

ポートランド・マコーミック Portland McCormik
ハマー美術館 作品管理・収集部門長
3月2日、21日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

ジャレッド・ゴス Jared Goss
メトロポリタン美術館 アソシエイト・キュレーター(近現代美術担当)
3月2日
「セザンヌ」展 作品輸送

マヌー・デュフル Manou Dufour
オルセー美術館 レジストラ、常設コレクション部門長
3月3日
「セザンヌ」展 作品輸送

ミシェル・ホーン Michère Hornn
オランジュリー美術館 研究員
3月14日、19日～20日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

マリリーヌ・アサンテ・ディ・パンツィロ Mariline Assante di Panzillo
パリ市立ブティ・パレ美術館 学芸課長
3月15日、20日～21日、27日、29日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導、記者説明会、講演会

ラルデ・ステファニー Lardez Stéphanie
グラネ美術館 レジストラ
3月15日、19日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

ミシュリーヌ・フォード Michline Ford
オーストラリア国立美術館 シニア・コンサヴァター(テキスタイル担当)
3月16日、19日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

キャロライン・ジェラティ Caroline Geraghty
ニュー・サウス・ウェールズ美術館 アシスタント・コレクション・レジストラ
3月16日、19日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

ソフィー・マシーソン Sophie Matthiesson
ヴィクトリア国立美術館 国際美術部門学芸員
3月16日、19日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

シャロン・マット・アトキンス Sharon Matt Atkins
ブルックリン美術館 展覧会マネージング・キュレーター
3月19日、21日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

ジン・ガオ Jing Gao
ボストン美術館 アジア絵画修復室中国絵画修復師
3月19日、21日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

ナンシー・ソイカ Nancy Sojka
デトロイト美術館 学芸員、素描・版画・写真部門長
3月19日、21日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

ジョセフ・ホルバック Joseph Holbach
フィリップス・コレクション チーフ・レジストラ
3月20日、22日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

エリザベス・ドリスコル・ポッチャー Elizabeth Driscoll Pochter
ワシントン・ナショナル・ギャラリー 館長補佐局 ポリシー・プログラム担当
3月20日、22日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

フランチェスカ・ウィリアム Francesca Williams
プリンストン大学付属美術館 レジストラ
3月20日、22日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

エリック・M・ザフラン Eric M. Zafran
ワズワース・アテネウム美術館 ヨーロッパ美術部門学芸員
3月20日、22日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

クリスティーナ・フォン・クノリング Kristina von Knorring
アテネウム美術館 展覧会コーディネーター
3月20日
「セザンヌ」展 展示指導

ペル・クヌータス Per Knutàs
シンシナティ美術館 チーフ・コンサヴァター
3月21日
「セザンヌ」展 展示指導

塚田全彦 Masahiko Tsukada
メトロポリタン美術館 アソシエイト・リサーチ・サイエンティスト
3月21日
「セザンヌ」展 展示指導

カルル・ド・ランクサン Carl de Lencquesaing
モナコ大公宮殿 エキスパート・コンサヴァター
3月21日
「セザンヌ」展 展示指導

スーザン・ブリーン Susan Breen
テイト レジストララー
3月22日
「セザンヌ」展 展示指導

イリーナ・アルテミーエワ Irina Artemyeva
エルミタージュ美術館 チーフ・キュレーター(イタリア絵画担当)
3月21日、23日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

エリザヴェータ・アブラモワ Elizaveta Abramova
エルミタージュ美術館 キュレーター(版画担当)
3月22日、25日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

アンドレイ・ツヴェートコフ Andrei Tsvetkov
エルミタージュ美術館 修復家
3月23日、25日
「セザンヌ」展 作品輸送、展示指導

ミシェル・フレッセ Michel Fraisset
セザンヌのアトリエ 館長
3月27日
「セザンヌ」展 記者説明会

平成23年度来館者 Visitors April 2011 - March 2012

潘 公凱 Pan Gongkai
中国国立中央美術学院 院長
中国
5月12日
林田館長表敬訪問、視察

アラン・スボン Alain Seban
ポンピドゥセンター・パリ国立近代美術館 総裁
フランス
5月15日
林田館長表敬訪問、視察

ジョセフ・クラコーラ Joseph J. Krakora
ワシントン・ナショナル・ギャラリー エグゼクティブ・オフィサー
アメリカ
6月7日
「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」開会式出席

ジョン・クラーク John Clark
シドニー大学 教授
オーストラリア
6月13日
JACプロジェクトに関する意見交換

紀 天斌 Ji Tianbin
故宮博物院 副院長
中国
7月11日
林田館長表敬訪問 視察

ジャック・ジエス Jacques Giès
フランス国立 ギメ東洋美術館 館長
フランス
7月11日
林田館長表敬訪問、視察

林 曼麗 LIN Mun-lee
国立台北教育大学 教授(故宮博物院 前院長)
台湾
9月15日
林田館長表敬訪問、視察

楊 建新 YANG Jianxin
浙江省文化廳 廳長
中国
9月28日
林田館長表敬訪問、視察

陳 浩 CHEN Hao
浙江省博物館 館長
中国
9月28日
林田館長表敬訪問 視察

許 洪流 XU Hongliu
浙江省博物館 副館長
中国
9月28日
林田館長表敬訪問、視察

魏 祝挺 WEI Zhuting
浙江省博物館 外事秘書
中国
9月28日
林田館長表敬訪問、視察

李 衛平 LI Weiping
浙江省博物館 陳列部副研究館員
中国
9月28日
林田館長表敬訪問、視察

フィリップ殿下 H.S.H. Prince Philipp
LGT グループ会長(リヒテンシュタイン侯 実弟)
リヒテンシュタイン
9月28日
林田館長表敬訪問、視察

ロベルト・フレック Robert Fleck
クンストハレ(ボン) 館長
ドイツ
10月5日
林田館長表敬訪問 視察

デトマー・ヴェストホフ Detmar Westhoff
美術史家
ドイツ
10月5日
林田館長表敬訪問、視察

ヨハン・クレフトナー Johann Kräftner
リヒテンシュタイン美術館 館長
オーストリア
10月12日
林田館長表敬訪問、視察

ミシェル・エリゴット Michelle Elligott
ニューヨーク近代美術館 アーカイブ部門 アーキビスト
アメリカ
10月25日
林田館長表敬訪問、情報資料室視察

ドリアン・チョン Doryun Chong
ニューヨーク近代美術館 絵画・彫刻部門 アソシエイト・キュレーター
アメリカ
10月25日
林田館長表敬訪問、情報資料室視察

ナンシー・リム Nancy Lim
ニューヨーク近代美術館 絵画・彫刻部門 キュラトリアル・アシスタント
アメリカ
10月25日
林田館長表敬訪問、情報資料室視察

胡 偉 Hu Wei
中国美術館 副館長
中国
10月26日
林田館長表敬訪問

李 興宰 Lee, Heung Jae
韓国全羅北道立美術館 館長
韓国
10月27日
林田館長表敬訪問、視察

エヴァ・レスピニ Eva Respini
ニューヨーク近代美術館 写真部門 アソシエイト・キュレーター
アメリカ
10月31日
ANZAフォトアーカイブの調査

キム・ウンジン 金恩珍
韓国中央博物館
大韓民国
11月1日
JACプロジェクト、カタログ交換に関する視察

頼 瑛瑛 LAI Ying-Ying
国立台湾芸術大学 教授
台湾
11月2日
林田館長表敬訪問、視察

ドロシー・コジンスキー Dorothy Kosinski
フィリップス・コレクション 館長
アメリカ
11月4日
林田館長表敬訪問 視察

ヨコタ=カーター啓子 YOKOTA-CARTER Keiko
北米日本研究資料調整協議会 会長
ワシントン大学図書館 日本研究司書
アメリカ
11月8日
JACプロジェクトに関する意見交換

エリザベト・タビュレ=ドゥラエ Elisabeth Tabulet-Delahaye
クリュニー中世美術館 館長
フランス
11月21日
林田館長表敬訪問 視察

ロス・パーリー Ross Parry
レスター大学 准講師
イギリス
11月23日
林田館長表敬訪問、視察

アンドレア・カンツェラード Andrea Cancellato
ミラノトリエンナーレ美術館 館長
イタリア
12月9日
林田館長表敬訪問、視察

シリエ・ハルメ Sirje Helme
エストニア美術館 館長
エストニア
2月7日
青木館長表敬訪問 視察

カースティ・ティク Kersti Tiik
エストニア美術館 パートナー・リレーション・マネージャー
エストニア
2月7日
青木館長表敬訪問、視察

リ・ビ Li Wei
中国社会科学院日本研究所 所長
中国
3月2日
青木館長表敬訪問、視察

カトリーヌ・ペガール Catherine Pégard
ヴェルサイユ宮殿 会長
フランス
3月23日
青木館長表敬訪問、視察

オリヴィエ・ジョス Olivier Joss
ヴェルサイユ宮殿 国際担当
フランス
3月23日
青木館長表敬訪問、視察

ジン・セズ Jin Jai Soo
韓国文化体育観光部 企画課長
韓国
3月31日
青木館長表敬訪問、視察

オ・セヒョン Oh Sehyung
アジア文化開発院 チーム長
韓国
3月31日
青木館長表敬訪問、視察

平成23年度海外出張 Overseas Visits April 2011 - March 2012

氏名：林田英樹(館長)、菅原章(庶務課係長)

国・地域：台湾

滞在期間：6月23日～25日

目的：台湾国立芸術大学 講演

氏名：林田英樹(館長)、谷口英理(学芸課アソシエイト・フェロー)

国・地域：台湾

滞在期間：9月6日～8日

目的：台北市立美術館 講演

※研究員の海外出張については、「7 調査・研究」に掲載した

9-6 展覧会出品リスト List of Works

ワシントン・ナショナル・ ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション 出品リスト

第1章 印象派登場まで	12 アンリ・ファンタン＝ラトゥール 皿の上の3つの桃 1868 油彩／カンヴァスに貼られた紙 19.7×25.7cm	23 クロード・モネ サン＝タドレス 1867 油彩／カンヴァス 57×80cm
1 ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロ うなぎを獲る人々 1860／1865 油彩／カンヴァス 60.5×81.5cm	13 フレデリック・バジール エギュ＝モルトの城壁 1867 油彩／カンヴァス 60×100cm	24 クロード・モネ 揺りかご、カミーユと画家の息子ジャン 1867 油彩／カンヴァス 116.2×88.8cm
2 ジュール・デュブレ 古い樫の木 c.1870 油彩／カンヴァス 32.1×41.5cm	14 フレデリック・バジール エドモン・メートル 1869 油彩／カンヴァス 83.2×64cm	25 クロード・モネ アルジャントウイユ c.1872 油彩／カンヴァス 50.4×65.2cm
3 シャルル＝フランソワ・ドービニー オワーズ川の洗濯女たち、ヴァルモンド ワ近郊 1865 油彩／板 24×46cm	15 フレデリック・バジール 若い女性と牡丹 1870 油彩／カンヴァス 60×75cm	26 クロード・モネ 日傘の女性、モネ夫人と息子 1875 油彩／カンヴァス 100×81cm
4 ギュスターヴ・クールベ ルー川の洞窟 1864 油彩／カンヴァス 98.4×130.4cm	第2章 印象派	27 クロード・モネ ヴェトウイユの画家の庭 1880 油彩／カンヴァス 151.5×121cm
5 ウジェーヌ・ブーダン オンフルールの港の祭 1858 油彩／板 41×59.3cm	16 カミーユ・ピサロ ルーヴシエンヌの花咲く果樹園 1872 油彩／カンヴァス 45.1×54.9cm	28 クロード・モネ 太鼓橋 1899 油彩／カンヴァス 81.3×101.6cm
6 ウジェーヌ・ブーダン トルヴィル近郊の洗濯女 c.1872／1876 油彩／板 27.6×41.3cm	17 カミーユ・ピサロ 麦わら帽子をかぶる農家の少女 1881 油彩／カンヴァス 73.4×59.6cm	29 ベルト・モリゾ ロリアンの港 1869 油彩／カンヴァス 43.5×73cm
7 エドゥアール・マネ 牡蠣 1862 油彩／カンヴァス 39.2×46.8cm	18 カミーユ・ピサロ カルーゼル広場、パリ 1900 油彩／カンヴァス 54.9×65.4cm	30 ベルト・モリゾ 姉妹 1869 油彩／カンヴァス 52.1×81.3cm
8 エドゥアール・マネ キング・チャールズ・スパニエル犬 c.1866 油彩／カンヴァス 46×38cm	19 エドガー・ドガ 障害競馬―落馬した騎手 1866年、1880-1881年と1897年頃に加筆 油彩／カンヴァス 180×152cm	31 ベルト・モリゾ 麦わら帽子をかぶる若い女性 1884 油彩／カンヴァス 55.5×46.7cm
9 エドゥアール・マネ オペラ座の仮面舞踏会 1873 油彩／カンヴァス 59.1×72.5cm	20 エドガー・ドガ 舞台裏の踊り子 1876／1883 油彩／カンヴァス 24.2×18.8cm	32 ビエール＝オーギュスト・ルノワール ボン・ヌフ、パリ 1872 油彩／カンヴァス 75.3×93.7cm
10 エドゥアール・マネ 鉄道 1873 油彩／カンヴァス 93.3×111.5cm	21 エドガー・ドガ アイロンをかける女性 1876年頃から着手、1887年頃完成 油彩／カンヴァス 81.3×66cm	33 ビエール＝オーギュスト・ルノワール モネ夫人とその息子 1874 油彩／カンヴァス 50.4×68cm
11 エドゥアール・マネ ブラム酒 c.1877 油彩／カンヴァス 73.6×50.2cm	22 アルフレッド・シスレー アルジャントウイユのエロイズ大通り 1872 油彩／カンヴァス 39.5×59.6cm	34 ビエール＝オーギュスト・ルノワール 踊り子 1874 油彩／カンヴァス 142.5×94.5cm

[凡例]
作品番号
作家名
作品名
制作年
技法・材質
寸法 (cm)

*制作年の記載に際して「1860／1865年」のように「/」を用いた場合は、両年の間のいずれかの時期に制作されたことを示す。「1860-1865年」のように「-」を用いた場合は、両年の間に継続して制作されたことを示す。

35 ピエール＝オーギュスト・ルノワール アンリオ夫人 c.1876 油彩／カンヴァス 65.9×49.8cm	46 エドゥアール・マネ 葉のあるキュウリ c.1880 水彩、灰色の淡彩／簧の目紙 33.7×26cm	57 メアリー・カサット 浴女 1890-1891 カラー・ドライポイント、アクアチント ／厚手の簧の目紙 プレートサイズ：36.5×26.6cm シートサイズ：47.9×31.2cm	67 ポール・シニャック ブイ 1894 カラー・リトグラフ シートサイズ(イメージサイズで裁断)： 40.1×32.4cm
36 ピエール＝オーギュスト・ルノワール シャトゥーの漕ぎ手たち 1879 油彩／カンヴァス 81.2×100.2cm	47 カミュー・ピサロ キャベツ畑 c.1880 ソフトグラウンド・エッチング(亜鉛板) [没後の刷り] プレートサイズ：24.7×16.8cm シートサイズ：31.5×24cm	58 メアリー・カサット 入浴 1890-1891 カラー・ドライポイント、アクアチント、 ソフトグラウンド・エッチング／局紙 プレートサイズ：31.9×24.9cm シートサイズ：36.7×27.5cm	68 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック アンバサドゥールの粹な人々 1893 油彩(精油)、黒チョーク／厚紙に貼られ た網目紙 84.3×65.5cm
37 ピエール＝オーギュスト・ルノワール 皿の上の桃 1902／1905 油彩／カンヴァス 22.2×35.6cm	48 カミュー・ピサロ ポントワーズの野菜市場 1891 エッチング、アクアチント(亜鉛板) [没後の刷り] プレートサイズ：25.5×20.1cm シートサイズ：39×29cm	59 メアリー・カサット 果物狩り c.1893 カラー・ドライポイント、アクアチント ／簧の目紙 プレートサイズ：42.55×29.85cm シートサイズ：56.67×43.02cm	69 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック マルセル・ランデ嬢の胸像 1895 カラー・リトグラフ イメージサイズ：32.8×24.5cm シートサイズ：35.8×28cm
38 メアリー・カサット 青いひじ掛け椅子の少女 1878 油彩／カンヴァス 89.5×129.8cm	49 エドガー・ドガ ディエ＝モナン夫人 1879 パステル／紙 60×45.1cm	60 メアリー・カサット ボンネットをかぶりコートを着たサラ c.1904／1906 パステルによるカウンターブルーフ、パ ステル(加筆)、シン・コレ／網目紙 72.9×58.1cm	第4章 ポスト印象派以降
39 メアリー・カサット 浜辺で遊ぶ子どもたち 1884 油彩／カンヴァス 97.4×74.2cm	50 エドガー・ドガ オペラ座のホワイエ c.1880 モノタイプ(黒インク) プレートサイズ：16×11.8cm シートサイズ：17.8×13.3cm	61 ポール・セザンヌ ゼラニウム 1888／1890 水彩、黒鉛／簧の目紙 30.5×28.5cm	70 ポール・セザンヌ アントニー・ヴァラブレーグ 1866 油彩／カンヴァス 116.3×98.4cm
40 メアリー・カサット 麦わら帽子の子ども c.1886 油彩／カンヴァス 65.3×49.2cm	51 エドガー・ドガ 浴後(小型の版) c.1891 リトグラフ シートサイズ：37.5×27cm	62 ポール・セザンヌ 水浴の男たち(小型の版) 1897 カラー・リトグラフ／簧の目紙 シートサイズ：28.4×35.7cm	71 ポール・セザンヌ 『レヴェヌマン』紙を読む画家の父 1866 油彩／カンヴァス 198.5×119.3cm
41 ギュスターヴ・カイユボット スキフ(一人乗りカヌー) 1877 油彩／カンヴァス 88.9×116.2cm	52 アルフレッド・シスレー 川岸 1897 カラー・リトグラフ イメージサイズ：21.5×32.1cm シートサイズ：43×56.7cm	63 ポール・セザンヌ 自画像 1899 リトグラフ イメージサイズ：33×29cm シートサイズ：64×48cm	72 ポール・セザンヌ 赤いチョッキの少年 1888-1890 油彩／カンヴァス 89.5×72.4cm
42 エヴァ・ゴンザレス 家庭教師と子ども 1877／1878 油彩／カンヴァス 65×81.4cm	53 ピエール＝オーギュスト・ルノワール 田舎の踊り 1883 ペン、ブラシ、灰色のインク／網目紙 47.6×30.2cm	64 ポール・ゴーギャン アウティ・テ・ババ(川岸の女たち) 1894／1895 黒と灰色の板目木版 (ポーラ・ゴーギャンによる1921年の刷り) イメージサイズ：20.6×35.6cm シートサイズ：26.9×42.4cm	73 ポール・セザンヌ 水辺にて c.1890 油彩／カンヴァス 73×92.5cm
第3章 紙の上の印象派	54 ピエール＝オーギュスト・ルノワール ポールで遊ぶ子どもたち 1900 カラー・リトグラフ イメージサイズ：58.5×51.1cm シートサイズ：90.6×62.1cm	65 ポール・ゴーギャン ノア・ノア(かぐわしい) 1894／1895 黒と灰色の板目木版 (ポーラ・ゴーギャンによる1921年の刷り) イメージサイズ：35.6×20.6cm シートサイズ：42.4×27cm	74 ポール・セザンヌ 川辺 c.1895 油彩／カンヴァス 73×92.3cm
43 エドゥアール・マネ シャボン玉を吹く少年 1868／1869 エッチング、アクアチント／緑色の紙 プレートサイズ：25.2×21.4cm シートサイズ：40.2×25.7cm	44 エドゥアール・マネ ベルト・モリゾ 1872 黒のリトグラフ、シン・コレ／網目紙 イメージサイズ：20.5×14.2cm シートサイズ：24.9×17.8cm	75 ポール・セザンヌ りんごと桃のある静物 c.1905 油彩／カンヴァス 81×100.5cm	76 ポール・セザンヌ ブルターニュの踊る少女たち、ボン＝タ ヴェン 1888 油彩／カンヴァス 73×92.7cm
45 エドゥアール・マネ 道化役者 1874 カラー・リトグラフ／白の網目紙(第2版) シートサイズ：52.1×32.4cm	55 ピエール＝オーギュスト・ルノワール 画家の息子、クロード(通称ココ) c.1906 赤と白のチョーク／簧の目紙 シートサイズ：31.5×27.1cm 台紙サイズ：32.9×28.7cm	66 フィンセント・ファン・ゴッホ ガシエ医師(パイプを持つ男) 1890 エッチング プレートサイズ：18.2×15cm シートサイズ：40.1×28.2cm	77 フィンセント・ファン・ゴッホ プロヴァンスの農園 1888 油彩／カンヴァス 46.1×60.9cm

78
フィンセント・ファン・ゴッホ
自画像
1889
油彩／カンヴァス
57.2×43.8cm

79
フィンセント・ファン・ゴッホ
薔薇
1890
油彩／カンヴァス
71×90cm

80
ジョルジュ・スーラ
オンフルールの灯台
1886
油彩／カンヴァス
66.7×81.9cm

81
ジョルジュ・スーラ
ノルマンディのポール＝アン＝ベッサン
の海景
1888
油彩／カンヴァス
65.1×80.9cm

82
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
カルメン・ゴードン
1885
油彩／板
23.8×14.9cm

83
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
犬を抱く女性
1891
油彩／厚紙
75×57.2cm

モダン・アート, アメリカン
—珠玉のフィリップス・コレクション—
出品リスト

	第1章 ロマン主義とリアリズム	12 アーネスト・ローソン 春の夜、ハーレム川 1913年 油彩／カンヴァス(板で裏打ち) 63.8×76.5cm	24 アレン・タッカー 丘 制作年不詳 油彩／カンヴァス 77.5×91.4cm
	1 エドワード・ヒックス 平和な王国 1845-46年 油彩／カンヴァス 61.3×81.6cm	13 ウィリアム・メリット・チェイス フィレンツェ 1907年 油彩／板 15.9×20cm	第4章 自然と抽象
	2 アーサー・B. デイヴィーズ エリー運河沿いで 1890年 油彩／カンヴァス 46.1×101.9cm	14 モーリス・ブレンダー・ガスト パツリア橋 1898-99年、1922年完成 油彩／カンヴァス 70.8×58.7cm	25 ロックウェル・ケント アンバルド川 1922年 油彩／カンヴァス 86.7×111.8cm
	3 ジョージ・イネス 月明かり、ターボン・スプリングス 1892年 油彩／カンヴァス 76.2×115.6cm	15 モーリス・ブレンダー・ガスト ファンタジー 1917年頃 油彩／カンヴァス 57.6×80.3cm	26 ジョージア・オキーフ 私の小屋、ジョージ湖 1922年 油彩／カンヴァス 50.8×68.9cm
	4 ウィンズロウ・ホーマー 救助に向かう 1886年 油彩／カンヴァス 60.9×76.2cm	16 ウィリアム・グラッケンズ ベルボートの水浴 1912年頃 油彩／カンヴァス 63.5×76.2cm	27 アーサー・G. ダヴ 黄金色の嵐 1925年 油彩、メタリック・ペイント／合板 47.2×52.1cm
	5 アルバート・ピンカム・ライダー 月明かりの入り江 1880-85年 油彩／カンヴァス 35.9×43.5cm	17 ギフォード・ビール 散歩 1922年 油彩／カンヴァス 40.6×76.2cm	28 ジョージア・オキーフ 葉のかたち 1924年 油彩／カンヴァス 56.2×46cm
	6 ジェイムズ・アボット・マクニール・ホイッスラー リアン・ウォークス 1890-91年 油彩／カンヴァス 53.3×35.5cm	第3章 自然の力	29 ジョージア・オキーフ 白地に暗赤色の大きな葉 1925年 油彩／カンヴァス 81.3×53.3cm
	7 トマス・エイキンズ アメリカ・ヴァン・ビューレン 1891年頃 油彩／カンヴァス 114.3×81.2cm	18 ボール・ドガティー 嵐の声 1912年 油彩／カンヴァス 91.4×121.9cm	30 ジョージア・オキーフ ランチョス教会、No.2、ニューメキシコ 1929年 油彩／カンヴァス 61.3×91.8cm
	第2章 印象派	19 ロックウェル・ケント ロード・ローラー 1909年 油彩／カンヴァス 86.7×112.4cm	31 オーガスタス・ヴィンセント・タック 熱望 1931年 油彩／カンヴァス 188.6×341.6cm
	8 セオドア・ロビンソン ジヴェルニー 1889年頃 油彩／カンヴァス 40.6×55.9cm	20 ロックウェル・ケント 若い男の埋葬 1908-11年 油彩／カンヴァス 71.4×132.7cm	32 アーサー・G. ダヴ 砂を運ぶ解 1930年 油彩／厚紙 76.5×102.3cm
	9 ジョン・ヘンリー・トワットマン エメラルド色の池 1895年頃 油彩／カンヴァス 63.5×63.5cm	21 ジョン・マリン ウィーホーケン連作、No.30 1916年頃 油彩／カンヴァスボード 29.8×22.9cm	33 アーサー・G. ダヴ 電気を帯びた桃園 1935年 ワックス・エマルジョン／カンヴァス 51.4×71.1cm
	10 ジュリアン・オールデン・ウィア 牧場 1899-1902年 油彩／カンヴァス 61.3×85.1cm	22 マースデン・ハートレー 山中の湖、秋 1910年頃 油彩／厚紙カンヴァス 30.5×30.5cm	34 マックス・ウェーバー 真昼 1925年 油彩／カンヴァス 51.1×61.3cm
	11 チャイルド・ハッサム ワシントン記念門、春 1890年 油彩／カンヴァス 66.4×54.9cm	23 ハロルド・ウェストン 突風、アッパー・オーサブル湖 1922年 油彩／カンヴァス 40.6×55.8cm	35 アーサー・G. ダヴ 朝日 1935年 油彩／カンヴァス 50.8×71.1cm

[凡例]
作品番号
作家名
作品名
制作年
素材・技法
サイズ(cm)

36 アーサー・G. ダヴ 赤い太陽 1935年 油彩／カンヴァス 51.4×71.1cm	48 エドワード・ホッパー 日曜日 1926年 油彩／カンヴァス 73.7×86.4cm	第7章 記憶とアイデンティティ	70 ジェイコブ・ローレンス 《大移動》シリーズより、No.15：私刑も 行なわれた 1940-41年 カゼインテンペラ／ハードボード 30.5×45.7cm
37 ジョン・マリン 海、ケープ・スプリット、メイン州 1939年 油彩／カンヴァス 61.6×74.3cm	第6章 都市	59 国吉康雄 メイン州の家族 1922-23年頃 油彩／カンヴァス 76.8×61.3cm	71 ジェイコブ・ローレンス 《大移動》シリーズより、No.23：広がる移住 1940-41年 カゼインテンペラ／ハードボード 30.5×45.7cm
38 マースデン・ハートレー 夜の船出 1942年 油彩／ハードボード 76.2×101.6cm	49 ルイス・エルシミアス ニューヨークの屋根 1908年 油彩／板に貼った厚紙 77.5×65.1cm	60 ペビーノ・マングラヴィテ 政治亡命者 1928年頃 油彩／カンヴァス 61×52.7cm	72 ジェイコブ・ローレンス 《大移動》シリーズより、No.59：北部には 投票する自由があった 1940-41年 カゼインテンペラ／ハードボード 45.7×30.5cm
第5章 近代生活	50 ジョン・スローン 冬の6時 1912年 油彩／カンヴァス 66.4×81.3cm	61 ドリス・リー イリノイ川沿いの町 1938年頃 油彩／カンヴァス 81.3×127cm	73 ルフィーノ・タマヨ カーニヴァル 1941年 油彩／カンヴァス 112.1×84.5cm
39 ジョン・スローン 化粧をする道化師 1910年 油彩／カンヴァス 81.6×66cm	51 ステファン・ハーシュ ニューヨーク、ロウアー・マンハッタン 1921年 油彩／カンヴァス 73.7×86.4cm	62 アンドレ・ルエラン ワインド・アップ 制作年不詳 油彩／カンヴァス 51.1×76.2cm	第8章 キュビズムの遺産
40 ロバート・ヘンライ オランダ人の少女 1910年(1913年、1919年に加筆) 油彩／カンヴァス 61.6×51.4cm	52 チャールズ・シーラー 摩天楼 1922年 油彩／カンヴァス 50.8×33cm	63 マージョリー・フィリップス ナイト・ゲーム 1951年 油彩／カンヴァス 61.6×91.4cm	74 カール・クノス 夜の窓辺のゼラニウム 1922年 油彩／カンヴァス 61×51.1cm
41 ジョージ・ラクス 占い 1914年 油彩／カンヴァス 50.8×40.6cm	53 ラルストン・クロフォード 船と穀物倉庫 No.2 1941-1942年 油彩／ハードボード 51.1×40.6cm	64 ジョン・ケイン ストリップ地区の向こうに 1929年 油彩／カンヴァス 81.9×86.9cm	75 ナイルズ・スペンサー 屋根窓 1927年 油彩／カンヴァス 76.5×61.3cm
42 ケネス・ヘイズ・ミラー 買い物客 1920年 油彩／カンヴァス 61.3×51.1cm	54 ステファン・ハーシュ 工場の町 1925年頃 油彩／カンヴァス 76.2×101.6cm	65 アラン・ローハン・クライト ハモンド通りのバレード 1935年 油彩／カンヴァスボード 45.7×60.9cm	76 アルフレッド・モラー レースの敷物のある静物 1930年 油彩／ハードボード 45.4×54.6cm
43 ギ・ペーヌ・デュ・ボワ 到着客 1918年または1919年初め 油彩／合板 60.9×50.8cm	55 エドワード・ブルース パワー 1933年頃 油彩／カンヴァス 76.2×114.3cm	66 グランマ・モーゼス (アンナ・メリー・ロバートソン・モーゼス) フージック・フォールズの冬 1944年 油彩／ハードボード 50.2×60.3cm	77 ジョン・グレアム 青い静物 1931年 油彩／カンヴァス 65.1×91.8cm
44 ジョージ・ベロウズ 窓辺のエマ 1920年 油彩／カンヴァス 104.8×87cm	56 エドワード・ホッパー 都会に近づく 1946年 油彩／カンヴァス 68.9×91.4cm	67 ホラス・ピピン ドミノ遊びをする人々 1943年 油彩／パーティクルボード 32.4×55.9cm	78 ジョン・マリン 春 No.1 1953年 油彩／カンヴァス 55.8×71.1cm
45 ギ・ペーヌ・デュ・ボワ 青い肘掛椅子 1923年 油彩／合板 63.5×50.8cm	57 プレストン・ディキンソン 冬のハーレム川 制作年不詳 油彩／カンヴァス 51.1×76.2cm	68 ジェイコブ・ローレンス 《大移動》シリーズより、No.3：南部のあ ゆる町から、大勢の移住者が北部へと旅 立った 1940-41年 カゼインテンペラ／ハードボード 30.5×45.7cm	79 スチュアート・デイヴィス 卵泡立て器 No.4 1928年 油彩／カンヴァス 68.9×97.2cm
46 ジョージ・ラクス フィリップ・ブリーダー大佐に扮するオー ティス・スキナー 1919年 油彩／カンヴァス 132.1×111.8cm	58 ジョン・マリン ブライアント広場 1932年 油彩／カンヴァス 54.9×67.6cm	69 ジェイコブ・ローレンス 《大移動》シリーズより、No.7：かつて自然 豊かな田舎暮らしをしていた移住者が、今 や産業機械に依存する都市生活へと向かっ ていた 1940-41年 カゼインテンペラ／ハードボード 45.7×30.5cm	80 カール・クノス 海について 1931年 油彩／カンヴァス 101.6×81.2cm
47 ウォルト・クーン 羽飾り 1931年 油彩／カンヴァス 101.6×76.2cm			

81
スチュアート・デイヴィス
青いカフェ
1928年
油彩／カンヴァス
46×55cm

82
ジョン・グレアム
プレア通り
1928年頃
油彩／カンヴァス
63.5×52.1cm

83
イリヤ・ボロトウスキー
抽象
1940年頃
油彩／カンヴァス
48.3×63.2cm

84
ジョージ・L. K. モーリス
抽象
1942年
油彩／カンヴァス
30.4×40.6cm

85
ブラッドリー・ウォーカー・トムリン
静物
1940年
油彩／カンヴァス
56.2×73.7cm

第9章
抽象表現主義への道

86
ミルトン・エイヴリー
書きものをする少女
1941年
油彩／カンヴァス
121.9×80.6cm

87
マースデン・ハートレー
野ばら
1942年
油彩／ハードボード
55.9×71.1cm

88
モーリス・グレイヴス
8月の静物
1952年
油彩／カンヴァス(ハードボードで裏打ち)
121.9×103.5cm

89
ミルトン・エイヴリー
貝殻と釣り人
1941年
油彩／カンヴァス
61×91.8cm

90
カール・クノス
夕陽を浴びる鹿
1946年
油彩／カンヴァス
91.4×107cm

91
テオドロス・スタマス
クロノスの生贄、No.2
1948年
油彩／ハードボード
121.9×91.4cm

92
アーサー・G. ダヴ
ボツオーリの赤
1941年
ワックス・エマルジョン／カンヴァス
56.2×91.4cm

93
ジャクソン・ポロック
コンポジション
1938-41年頃
油彩／カンヴァス
44.5×65.4cm

94
アルフォンソ・オッソリオ
母と子
1951年
油彩、エナメル／カンヴァス
116.2×73cm

95
アレクサンダー・コールドー
赤い多角形
1949-50年頃
油彩、エナメル、針金に着色
86.4×154.9cm

96
ミルトン・エイヴリー
黒い海
1959年
油彩／カンヴァス
127×172.1cm

第10章
抽象表現主義

97
アドルフ・ゴットリーブ
見者
1950年
油彩／カンヴァス
151.8×181.9cm

98
クリフォード・スティル
1950 B
1950年
油彩／カンヴァス
213.4×170.5cm

99
岡田謙三
ナンバー 2
1954年
油彩／カンヴァス
79×99.3cm

100
フィリップ・ガストン
帰郷
1957年
油彩／カンヴァス
164.8×192.7cm

101
サム・フランシス
ブルー
1958年
油彩／カンヴァス
122.6×88.3cm

102
ジャック・トゥウォルコフ
高地
1959年
油彩／カンヴァス
127×101.6cm

103
フランツ・クライン
無題
制作年不詳
インク／紙
27×33.3cm

104
フランツ・クライン
無題
1957年
インク／紙
30.2×22.9cm

105
エルマー・ビショフ
二人の人物：後ろ姿と横顔
1960年
油彩／カンヴァス
137.8×137.8cm

106
リチャード・ディーベンコーン
少女と植物
1960年
油彩／カンヴァス
203.2×176.5cm

107
ジョゼフ・アルバース
正方形へのオマージュ：テンブラーノ
1957年
油彩／カンヴァス(板で裏打ち)
61×61cm

108
マーク・ロスコ
無題
1968年
アクリル／紙(ハードボードで裏打ち)
58.9×47.6cm

109
ヘレン・フランケンサラー
キャニオン
1965年
アクリル／カンヴァス
111.8×132.1cm

110
ロバート・マザウェル
キ・アマ、クレーデ(愛する者は、信じる)
1962年
油彩／カンヴァス
208.3×358.1cm

未来を担うアーティストたち
DOMANI・明日展
文化庁芸術家在外研修の成果
出品リスト

山口牧子	3 風鎮 2003 油彩、キャンバス	3 2009_18 2009 布、水彩、キャンバス Rik Reinking collection Hamburg
1 Wings No.1 2011 顔料、メディウム、蜜蝋、パネルに綿布	4 静 2007 油彩、キャンバス 個人	4 のぼした手だけがならぶ静寂 2009 布、水彩、キャンバス
2 Wings No.2 2011 顔料、メディウム、パネルに綿布	5 明日 2008 油彩、パネル 個人	5 2009_73 2009 布、キャンバス
3 Wings No.3 2011 顔料、メディウム、蜜蝋、パネルに綿布	6 燦 2008 油彩、パネル 個人	6 2009_86 2009 布、アクリル、キャンバス
4 Bird Spinning No.9 2010 顔料、メディウム、蜜蝋、キャンバスに綿布	7 朝の河岸 2008-2009 油彩、パネル 個人	7 つまさきだけは正直に 2010 布、水彩、キャンバス
5 Bird Spinning —Dawn— 2011 顔料、メディウム、蜜蝋、パネルに綿布	8 Olga 2008-2009 油彩、パネル 個人	8 2010_43 2010 布、アクリル、キャンバス
6 Bird Spinning —Crimson— 2011 顔料、メディウム、蜜蝋、パネルに綿布	9 初夏 2009 油彩、キャンバス 個人	9 2011_15 2011 布、アクリル、キャンバス
7 Bird Joy No.1-8 2011 顔料、メディウム、蜜蝋、パネルに綿布	10 白い陽 2009-2010 油彩、キャンバス	10 空洞のそとは 空洞のかたちをした夜がある 2011 布、キャンバス
横澤 典	11 Toscana 2009-2010 油彩、パネル 個人	11 2011_19 2011 布、アクリル、キャンバス
1 Parallel Lives #B8 2008 タイプCプリント	12 双 2010 油彩、パネル 個人	阿部 守 1 CIRCLES 2011 鍛造した鉄
2 Parallel Pictures #1 2009 タイプCプリント	13 Natalia 2011 油彩、パネル 彩鳳堂画廊	児嶋サコ 1 He kidnapped her daughter for bring up to be his friend. 2007 アクリル、キャンバス
3 Parallel Lives #A4 2009 タイプCプリント	14 模写 ヴェロッキオ工房「キリストの洗礼」部分 2008-2009 油彩、パネル	2 Black forest has a gruade against sky. 2008 アクリル、キャンバス 高橋コレクション
4 Parallel Lives #A5 2009 タイプCプリント	15 模写 ボッティチェッリ「春」部分 2008-2009 油彩、パネル	3 Hermine 2008 石膏、樹脂、ジェッソ、その他 高橋コレクション
5 Parallel Lives #C1 2009 タイプCプリント	綿引展子	4 Steppen mouse 2008 アクリル、キャンバス
6 Ascan Avenue 2011 タイプCプリント	1 2009_01 2009 布、水彩、キャンバス Rik Reinking collection Hamburg	5 pangs! 2009 アクリル、キャンバス
7 Lexington Avenue 2011 タイプCプリント	2 ささえる地面と ささえる空と 2009 布、水彩、キャンバス	
塩谷 亮		
1 朝の情景 2001 油彩、キャンバス		
2 夏の行方 2002 油彩、キャンバス		

[凡例]
No.
作品タイトル
制作年
素材・技法
所蔵先

[凡例(45周年特別展示)]
No.
作家名
作品タイトル
制作年
素材・技法
所蔵先

6 Death of R 2010 アクリル、キャンバス	9 日系二世のポートレート／ピエールとルシアン 2004 タイプCプリント	26 Tatura No.4 ダイニング跡 2010 タイプCプリント	11 Indication-Qantas (Australia) 2010 リトグラフ
7 Grave of R 1 2010 アクリル、キャンバス	10 日系二世のポートレート／マルセル 2004 タイプCプリント	27 Tatura No.4 鉄条網 2010 タイプCプリント	12 Indication-The House of Parliament (Canberra) 2010 リトグラフ
8 Grave of R 2 2010 アクリル、キャンバス	11 日系二世のポートレート／モーリス 2004 タイプCプリント	28 Tatura No.4 被服工場跡 2010 タイプCプリント	13 Indication-Bus (Nishitetsu) 2011 ミクストメディア
9 In a cage/getting wind 2010 アクリル、キャンバス	12 日系二世のポートレート／モーリス、エヴリン、アルベール 2004 タイプCプリント	29 Tatura No.4 便所跡 2011 タイプCプリント	14 Indication-Tokyo Station 5 2011 リトグラフ
10 In a cage/Perfect rearing 2010 アクリル、キャンバス	13 日系二世のポートレート／カミュー 2005 タイプCプリント	30 ニューカレドニアの日本人 2007 DVD(スライドショー) 9分	15 Foresight-Golden Gate Bridge 2 (San Francisco) 2011 リトグラフ
11 Toy play 2010 アクリル、キャンバス	14 日系二世のポートレート／ジュリエット 2005 タイプCプリント	31 馬の蹄鉄 2011 DVD(仏語／日本後字幕)10分	16 Foresight-Haneda Airport 2011 リトグラフ
12 Virgin Suicide 2011 アクリル、キャンバス	15 日系二世のポートレート／ヨロンドとルネ 2007 タイプCプリント	元田久治	17 Foresight-Roppongi Hills 2011 油彩、キャンバス
13 ESCAPE from the cage 2011 DVD	16 日本人のいた風景—ティオの日本人墓地 2004 タイプCプリント	1 Indication-Haneda Airport 2007 リトグラフ	18 Foresight-Stadium 1 (AT&T Park, San Francisco Giants) 2011 リトグラフ
津田睦美	17 日本人のいた風景—エリトリンの樹(コーヒーの日陰栽培) 2006 タイプCプリント	2 Indication-Tokyo Tower 5 2007-2009 リトグラフ	19 Foresight-Stadium 1 (Los Angeles Angels of Anaheim) 2011 油彩、キャンバス
1 日系二世のポートレート／イヴェットとローズ 2003 タイプCプリント	18 日本人のいた風景—カミ島 2010 タイプCプリント	3 Indication-Diet Building, Tokyo 3 2008 ミクストメディア、キャンバス	20 Foresight-Tokyo Station 3 2011 油彩、キャンバス
2 日系二世のポートレート／オデットとセシル 2003 タイプCプリント	19 日本人のいた風景—トビの家 2010 タイプCプリント	4 Indication-National Stadium (Bird's Nest) 2008 リトグラフ	21 The Plane 2 2011 ミクストメディア
3 日系二世のポートレート／カミュー、ルイ、ヴィクトワール 2003 タイプCプリント	20 シンシアの親族探し 2006 タイプCプリント、ハガキ、手紙など	5 Indication-Flinders Street Station 1 (Melbourne) 2009 リトグラフ	45周年 特別展示
4 日系二世のポートレート／リリアン 2003 タイプCプリント	21 村山一家の引き揚げ 2011 タイプCプリント、引き揚げトランクなど 村山洋子(一部)	6 Indication-Flinders Street Station 3 (Melbourne) 2010 リトグラフ	1 奥谷 博 鮎頭目 2003 油彩、キャンバス 個人
5 日系二世のポートレート／シャーリー 2004 タイプCプリント	22 Tatura No.4 抑留者のコート 2005 タイプCプリント	7 Indication-MCG (Melbourne) 2010 リトグラフ	2 渡辺恂三 Booッ Chuッ 2009 油彩、ポリエステル・フィルム
6 日系二世のポートレート／ソフィとマリー 2004 タイプCプリント	23 Tatura No.4 台所 2009 タイプCプリント	8 Indication-Harbour Bridge (Sydney) 2010 リトグラフ	3 一色邦彦 星燐 2011 ブロンズ
7 日系二世のポートレート／ダニエル 2004 タイプCプリント	24 Tatura No.4 獲物 2010 タイプCプリント	9 Indication-Opera House (Sydney) 2010 リトグラフ	4 馬越陽子 人間の大河—花は何処に 2011 油彩、キャンバス
8 日系二世のポートレート／ニナ、バナナ 2004 タイプCプリント	25 Tatura No.4 石英 2010 タイプCプリント	10 Indication-Sydney Tower (Sydney) 2010 リトグラフ	

5 白野文敏 内と外(在) 2011 アクリル、方解末、キャンバス、パネ	19 鈴木 丘 種に還る果実—彗星—V 2009 白銅	32 田村能里子 砂の箱舟 2008 油彩、キャンバス	46 下川昭宣 地の記憶 2005 黒花崗岩
6 豊島弘尚 顕現Ⅲ(3.11八戸港津波大震災を仮面の オーディンが見舞う) 2011 油彩、キャンバス	20 榎田伸也 方舟 2003 油彩、キャンバス	33 遠藤彰子 映ろう街 2009 油彩、キャンバス	47 浅野 均 雲深不知処 2011 岩彩、金泥、金箔、墨、楮紙
7 中井貞次 森の詩 2010 麻布染色(屏風)	21 齋藤 研 佇む 2011 油彩、キャンバス	34 金森宰司 ライフ「宝物」 1999 油彩、キャンバス	48 諏訪 敦 聖徳太子(大野慶人) 1999-2011 油彩、テンペラ、パネルの上に綿布
8 最上壽之 ホントウノ ニッポンジン ○×△□?2011 2011 松	22 池田良二 The vestiges wind 風の遺跡 2001 フォトエッチング、アクアチント、ペラ ン・アルシュ紙に雁皮刷	35 北久美子 風の宴 2008 油彩、アクリル、キャンバス	49 宮いつき 語り手と聞きて 2010 岩絵具、麻紙
9 小嶋悠司 穢土—希求 2010 膠彩、金箔、デトランプ、麻布	23 上條陽子 解体と再生 2011 ミクストメディア 個人	36 安達博文 WANGUN—虹の雨 2010 テンペラ、アクリル、白亜地パネ	50 北郷 悟 From the Sky 2010 2010 テラコッタ
10 服部峻昇 耀貝飾箱 陽光の翼 2010 漆 個人	24 森野真弓 WATER MARK—IV 2007 ホワイトフェルト、蜜蝋	37 久野和洋 地の風景・かたすみ 2000-2001 油彩、キャンバス 練馬区立美術館	51 小林孝亘 Sitting fire 2010 油彩、キャンバス 西村画廊
11 原 健 望潮0720 2007 油彩、キャンバス	25 谷中武彦 風の形 2011 墨、岩絵具、麻紙	38 八木幾朗 月の波紋 2011 岩絵具、木材	52 丸山直文 clouds 2011 アクリル、キャンバス
12 今井信吾 卓の景 2003 ミクストメディア	26 池田宗弘 M.A. 旅人(元気で暮らせ) 1996 真鍮 作家資料館《エルミタ》	39 相田幸男 翔—エトルタ・アヴァル崖 2011 油彩、キャンバス	53 福島瑞穂 業火 2000 油彩、キャンバス
13 船坂芳助 My Space and My Dimension・M900 2011 木版、シルクスクリーン、紙	27 市野英樹 寝る男 2010 油彩、キャンバス 名古屋画廊	40 内田あぐり 若い娘と美しい老婆 2006 岩絵具、墨、布、雲肌麻紙	
14 峯田義郎 旅・ぶどう畑の月 2003 ブロンズ	28 三澤憲司 絆(きずな) 2009 鉄 株式会社ミサワアートプロジェクト	41 瀬川富紀男 男と女 2010 油彩、キャンバス	
15 絹谷幸二 発心 I 2010 油彩、キャンバス	29 川口起美雄 二隻の舟 2010 テンペラ、油彩、キャンバス 彩鳳堂画廊	42 玉川信一 灰の光 2008 油彩、銀箔、コラージュ、キャンバス	
16 大成 浩 陽風No.6 2010 赤御影石	30 河内成幸 不二(一) 2007 木版画	43 柳澤紀子 For Isle I 2007 鉛筆、日本画顔料、アクリルカラー、カ ラーインク、版画、和紙、キャンバス	
17 高柳 裕 FACE-MAX ERNST 2007 紙、金属凸版	31 菊竹清文 The Resonance of Wind 心に響く風の声 2011 ステンレス	44 山本直彰 ANT-LION 薄羽蜉蝣 2011 岩絵具、箔、黄唐紙、ブルー	
18 相笠昌義 スペインにて ブラサ マヨール 2011 油彩、キャンバス	32 河内成幸 不二(一) 2007 木版画	45 吉岡正人 夜明けのつめたさ 2011 テンペラ、油彩、キャンバス	

野田裕示
 絵画のかたち／絵画の姿
 出品リスト

[凡例]
 作品番号
 〈作品名〉
 制作年
 技法、材質
 寸法
 所蔵(記載のないものは作家蔵)

1. 1980年代 絵画の可能性への試み	14 《WORK 245》 1985 アクリル、麻布、綿布、木／パネル 54.0×39.0×6.0cm	28 《WORK 732》 1992 アクリル、合板／カンヴァス 40.9×31.8cm
1 《WORK 112》 1981 アクリル、針金、竹、木／パネル 54.5×76.0×6.0cm	15 《WORK 274》 1985 アクリル、木／カンヴァス 193.9×97.0cm	29 《WORK 744》 1992 アクリル、合板／カンヴァス 40.9×31.8cm
2 《WORK 115》 1982 アクリル、綿布／木 85.0×9.0×11.4cm	16 《WORK 293》 1987 アクリル、麻布、木／カンヴァス 259.1×181.8cm	2. 1990年代 独自の様式の確立と展開
3 《WORK 117》 1982 アクリル、綿布、木／パネル 54.5×76.0×9.0cm	17 《WORK 294》 1987 アクリル、木／カンヴァス 259.1×181.8cm	30 《WORK 554》 1989 アクリル、合板／カンヴァス 90.9×65.2cm
4 《WORK 147》 1982 アクリル、綿布、綿、木、紙／パネル 126.0×198.0×10.0cm	18 《WORK 296》 1987 アクリル、木／カンヴァス 259.1×181.8cm	31 《WORK 576》 1990 アクリル、合板／カンヴァス 193.9×130.3cm 株式会社 猫本策三商店
5 《WORK 148》 1982 アクリル、麻布、綿布、木、針金、竹／ パネル 126.0×198.0×10.0cm	19 《WORK 299》 1987 アクリル、木、合板／カンヴァス 227.3×181.8cm 和歌山県立近代美術館	32 《WORK 578》 1990 アクリル、合板／カンヴァス 193.9×130.3cm ギャルリー東京ユマニテ
6 《WORK 179》 1983 アクリル、麻布、綿布、綿、木、針金、竹、 紙／パネル 198.0×756.0×10.0cm 御坊市民文化会館	20 《WORK 305》 1987 アクリル、木／カンヴァス 90.9×65.2cm	33 《WORK 580》 1990 アクリル、合板／カンヴァス 193.9×130.3cm 個人蔵
7 《WORK 186》 1984 アクリル、麻布、木／パネル 121.0×285.0×10.0cm	21 《WORK 314》 1987 アクリル、木／カンヴァス 72.7×60.6cm	34 《WORK 581》 1990 アクリル、合板／カンヴァス 193.9×130.3cm 森田武夫氏蔵
8 《WORK 213》 1984 アクリル、麻布、綿、木／パネル 166.0×116.0×10.0cm 個人蔵	22 《WORK 484》 1988 アクリル、合板／カンヴァス 40.9×31.8cm	35 《WORK 584》 1990 アクリル、合板／カンヴァス 193.9×130.3cm 個人蔵
9 《WORK 214》 1984 アクリル、麻布、綿布、木／パネル 166.0×116.0×10.0cm 和歌山県立近代美術館	23 《WORK 503》 1988 アクリル、合板／カンヴァス 259.1×181.8cm 原美術館	36 《WORK 596》 1990 アクリル、合板／カンヴァス 90.9×65.2cm
10 《WORK 216》 1984 アクリル、麻布、木／パネル 166.0×116.0×10.0cm	24 《WORK 504》 1988 アクリル、合板／カンヴァス 259.1×181.8cm 新潟市美術館	37 《WORK 628》 1991 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 227.3×162.1cm 世田谷美術館
11 《WORK 227》 1985 アクリル、綿布、木／パネル 54.0×39.0×6.0cm 個人蔵	25 《WORK 505》 1988 アクリル、合板／カンヴァス 259.1×181.8cm 和歌山県立近代美術館	38 《WORK 629》 1991 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 227.3×145.5cm 東京オペラシティ アートギャラリー
12 《WORK 235》 1985 アクリル、綿布、木／パネル 54.0×39.0×6.0cm 個人蔵	26 《WORK 507》 1988 アクリル、合板／カンヴァス 259.1×181.8cm	39 《WORK 630》 1991 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 227.3×145.5cm
13 《WORK 236》 1985 アクリル、麻布、綿布、木／パネル 54.0×39.0×4.5cm 個人蔵	27 《WORK 729》 1992 アクリル、合板／カンヴァス 40.9×31.8cm	

40 《WORK 632》 1991 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 227.3×162.1cm 個人蔵	54 《WORK 885》 1994 アクリル、綿布／カンヴァス 181.8×227.3cm	67 《WORK 1072》 1997 アクリル、綿布／カンヴァス 181.8×259.1cm	81 《WORK 1195》 1999 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm
41 《WORK 639》 1991 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 130.3×193.9cm	55 《WORK 950》 1995 アクリル、合板／カンヴァス 181.8×227.3cm 財団法人 大原美術館	68 《WORK 1101》 1998 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm	82 《WORK 1196》 1999 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm
42 《WORK 641》 1991 アクリル、麻布、綿布、合板／カンヴァス 227.3×145.5cm 国立国際美術館	56 《WORK 957》 1995 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 40.9×31.8cm	69 《WORK 1103》 1998 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm	83 《WORK 1316》 2000 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×687.8cm 新潟市美術館
43 《WORK 676》 1992 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 227.3×181.8cm	57 《WORK 963》 1995 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 40.9×31.8cm	70 《WORK 1104》 1998 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm	84 《WORK 1317》 2000 アクリル、綿布／カンヴァス 90.9×65.2cm
44 《WORK 713》 1992 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 40.9×31.8cm	58 《WORK 984》 1995 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 181.8×259.1cm 愛知県美術館	71 《WORK 1105》 1998 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm	85 《WORK 1323》 2000 アクリル、綿布／カンヴァス 90.9×72.7cm
45 《WORK 714》 1992 アクリル、綿布、合板／カンヴァス 40.9×31.8cm	59 《WORK 992》 1995 アクリル、麻布、綿布、木／カンヴァス 227.3×181.8cm	72 《WORK 1113》 1998 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm	86 《WORK 1401》 2001 アクリル、綿布／カンヴァス(6点組) 各193.9×97.0cm
46 《WORK 794》 1993 アクリル、麻布、合板／カンヴァス 181.8×259.1cm	60 《WORK 996》 1995 アクリル、綿布／カンヴァス 130.3×162.1cm 個人蔵	73 《WORK 1140》 1998 アクリル、綿布／カンヴァス 181.8×259.1cm	87 《WORK 1402》 2001 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×363.6cm
47 《WORK 796》 1993 アクリル、麻布、合板／カンヴァス 259.1×181.8cm 和歌山県立近代美術館	61 《WORK 1037》 1996 アクリル、綿布／カンヴァス 90.9×65.2cm	74 《WORK 1141》 1998 アクリル、綿布／カンヴァス 130.3×193.9cm	88 《WORK 1422》 2002 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×545.4cm
48 《WORK 806》 1993 アクリル、綿布／カンヴァス 72.7×90.9cm	62 《WORK 1040》 1996 アクリル／カンヴァス 90.9×72.7cm	75 《WORK 1142》 1998 アクリル、綿布／カンヴァス 130.3×193.9cm	89 《WORK 1424》 2003 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×545.4cm
49 《WORK 868》 1994 アクリル、麻布、合板／カンヴァス 65.2×90.9cm	63 《WORK 1045》 1996 アクリル／カンヴァス 90.9×65.2cm	76 《WORK 1155》 1998 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×130.3cm	90 《WORK 1536》 2003 アクリル、綿布／カンヴァス 181.8×259.1cm
50 《WORK 877》 1994 アクリル、綿布／カンヴァス 181.8×227.3cm 和歌山県立近代美術館	64 《WORK 1067》 1997 アクリル／カンヴァス 65.2×90.9cm	77 《WORK 1171》 1999 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm	91 《WORK 1587》 2004 アクリル、綿布／カンヴァス 181.8×259.1cm
51 《WORK 880》 1994 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×181.8cm 個人蔵	3. 2000年代 さらなる可能性を求めて	78 《WORK 1172》 1999 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm	92 《WORK 1602》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm
52 《WORK 881》 1994 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×181.8cm	65 《WORK 1068》 1997 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	79 《WORK 1190》 1999 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm	93 《WORK 1603》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm
53 《WORK 884》 1994 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×181.8cm	66 《WORK 1070》 1997 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	80 《WORK 1194》 1999 アクリル、綿布／カンヴァス 162.1×112.1cm	94 《WORK 1604》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm

95 《WORK 1605》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	109 《WORK 1619》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	123 《WORK 1633》 2005 アクリル、綿布／カンヴァス 181.8×259.1cm	137 《WORK 1705》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm
96 《WORK 1606》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	110 《WORK 1620》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	124 《WORK 1663》 2006 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	138 《WORK 1706》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm
97 《WORK 1607》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	111 《WORK 1621》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	125 《WORK 1664》 2006 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	139 《WORK 1728》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 90.9×65.2cm
98 《WORK 1608》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	112 《WORK 1622》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	126 《WORK 1666》 2006 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	140 《WORK 1766》 2011 アクリル、麻布、綿布／カンヴァス 387.8×651.5cm
99 《WORK 1609》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	113 《WORK 1623》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	127 《WORK 1672》 2006 アクリル、綿布／カンヴァス 90.9×65.2cm 中西千治氏蔵	141-190 50 Drawings from 《Drawing 31》~《Drawing 399》 1996-99 アクリル／紙 各56.0×38.0cm
100 《WORK 1610》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	114 《WORK 1624》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	128 《WORK 1676》 2007 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×545.4cm	191 《D-2000-2》 2000 アクリル／紙 56.0×76.0cm
101 《WORK 1611》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	115 《WORK 1625》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	129 《WORK 1697》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	192 《D-2000-3》 2000 アクリル／紙 56.0×76.0cm
102 《WORK 1612》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	116 《WORK 1626》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	130 《WORK 1698》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	193 《D-2000-5》 2000 アクリル／紙 56.0×76.0cm
103 《WORK 1613》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	117 《WORK 1627》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	131 《WORK 1699》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	194 《D-2000-8》 2000 アクリル／紙 56.0×76.0cm
104 《WORK 1614》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	118 《WORK 1628》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	132 《WORK 1700》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	195 《D-2007-21》 2007 アクリル／紙 102.0×65.5cm
105 《WORK 1615》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	119 《WORK 1629》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	133 《WORK 1701》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	196 《D-2007-22》 2007 アクリル／紙 102.0×65.5cm
106 《WORK 1616》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	120 《WORK 1630》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	134 《WORK 1702》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	197 《D-2007-23》 2007 アクリル／紙 102.0×65.5cm
107 《WORK 1617》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	121 《WORK 1631》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	135 《WORK 1703》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	198 《D-2007-24》 2007 アクリル／紙 102.0×65.5cm 個人蔵
108 《WORK 1618》 2004 アクリル／カンヴァス 116.7×72.7cm	122 《WORK 1632》 2005 アクリル、綿布／カンヴァス 181.8×259.1cm	136 《WORK 1704》 2009 アクリル、綿布／カンヴァス 227.3×162.1cm	199 《D-2007-25》 2007 アクリル／紙 102.0×65.5cm

コラボレーション	213
200	《Collaboration 2000 O&N-11》
《Collaboration 1996 O&N-I》	2000
1996	合板、白御影石、アクリル、ほか
白御影石、アクリル	26.5 (h) × 50.0 (w) × 30.0 (d) cm
83.0 (h) × 200.0 (w) × 54.0 (d) cm	214
愛知県美術館	《Collaboration 2000 O&N-12》
201	2000
《Collaboration 1996 O&N-II》	合板、白御影石、アクリル、ほか
1996	26.5 (h) × 50.0 (w) × 30.0 (d) cm
白御影石、アクリル	215
76.0 (h) × 200.0 (w) × 52.0 (d) cm	《Collaboration 2004 O&N-5》
愛知県美術館	2004
202	白御影石、アクリル
《Collaboration 1996 O&N-V》	129.5 (h) × 41.0 (w) × 43.5 (d) cm
1996	216
白御影石、アクリル	《Collaboration 2004 O&N-6》
18.0 (h) × 188.0 (w) × 110.0 (d) cm	2004
203	白御影石、アクリル
《Collaboration 1996 O&N-VI》	174.0 (h) × 10.0 (w) × 30.5 (d) cm
1996	
白御影石、アクリル	
97.0 (h) × 177.0 (w) × 9.0 (d) cm	
愛知県美術館	
204	
《Collaboration 1996 O&N-XI》	
1996	
白御影石、アクリル、フィルム、麻布、	
チェーン	
165.0 (h) × 38.0 (w) × 23.0 (d) cm	
愛知県美術館	
205	
《Collaboration 2000 O&N-3》	
2000	
合板、白御影石、アクリル、ほか	
26.5 (h) × 50.0 (w) × 48.0 (d) cm	
206	
《Collaboration 2000 O&N-4》	
2000	
合板、白御影石、アクリル、ほか	
26.5 (h) × 59.0 (w) × 30.0 (d) cm	
207	
《Collaboration 2000 O&N-5》	
2000	
合板、白御影石、アクリル、ほか	
26.5 (h) × 50.0 (w) × 30.0 (d) cm	
208	
《Collaboration 2000 O&N-6》	
2000	
合板、白御影石、アクリル、ほか	
26.5 (h) × 50.0 (w) × 30.0 (d) cm	
209	
《Collaboration 2000 O&N-7》	
2000	
合板、白御影石、アクリル、ほか	
26.5 (h) × 50.0 (w) × 30.0 (d) cm	
210	
《Collaboration 2000 O&N-8》	
2000	
合板、白御影石、アクリル、ほか	
26.5 (h) × 50.0 (w) × 30.0 (d) cm	
211	
《Collaboration 2000 O&N-9》	
2000	
合板、白御影石、アクリル、ほか	
26.5 (h) × 50.0 (w) × 30.0 (d) cm	
212	
《Collaboration 2000 O&N-10》	
2000	
合板、白御影石、アクリル、ほか	
26.5 (h) × 50.0 (w) × 30.0 (d) cm	

平成23年度[第15回]
文化庁メディア芸術祭
出品リスト

[凡例]
作品名
作者名
部門名
賞名
作品形式

Que voz feio(醜い声) 山本 良浩 アート部門 大賞 映像	The Reading circle Jaana KOKKO アート部門 推薦作品 映像	ONE SECOND PER DAY Richard NEGRE アート部門 推薦作品 映像
つながる天気 片山 義幸 アート部門 優秀賞 Web	Between Light and Darkness Ville ANDERSSON アート部門 推薦作品 デジタルフォト	1,2,3 Herring Shahar MARCUS アート部門 推薦作品 映像
BLA BLA Vincent MORISSET アート部門 優秀賞 Web	Dark Matter Boaz AHARONOVITCH アート部門 推薦作品 デジタルフォト	SPACE BALLOON PROJECT 大八木 翼 / 馬場 鑑平 / 野添 剛士 / John POWELL エンターテインメント部門 大賞 Web
particles 真鍋 大度 / 石橋 素 アート部門 優秀賞 メディアインスタレーション	Electronic instant Camera Niklas ROY アート部門 推薦作品 デジタルフォト	The Museum of Me 田中 耕一郎 / 谷川 英司 / 齋藤 精一 / 坂本 政則 / 村山 健 エンターテインメント部門 優秀賞 Web
The Saddest Day of My Youth Brian ALFRED アート部門 優秀賞 映像	Extraordinary Machine 緒方 範人 アート部門 推薦作品 デジタルフォト	相転移的装置 勝本 雄一郎 エンターテインメント部門 優秀賞 遊具
Monkey Business Ralph KISTLER / Jan SIEBER アート部門 新人賞 インタラクティブアート	Physical Forest 小山 泰介 アート部門 推薦作品 デジタルフォト	べろべろ 田中 秀幸 エンターテインメント部門 優秀賞 映像
SENSELESS DRAWING BOT 菅野 創 / 山口 崇洋 アート部門 新人賞 インタラクティブアート	OVAL PROCESS No.1-8 永戸 鉄也 アート部門 推薦作品 グラフィックアート	アナグラのうた〜消えた博士と残された装置〜 犬飼 博士 / 柴崎 亮介 / 飯田 和敏 / 有山 一郎 / 笠島 健司 / 禿 真哉 エンターテインメント部門 優秀賞 その他
HIMATSUBUSHI 植木 秀治 アート部門 新人賞 映像	関東各地の環境放射能水準の可視化： micro sievert 吉原 潤 / 小川 有希大 / Junko & Richard HOLBROOK / 蝶野 薫 アート部門 推薦作品 Web	Hietsuki Bushi Omodaka(寺田 創一、ひらのりょう) エンターテインメント部門 新人賞 映像
I am thinking in a room, different from the one you are hearing in now Samson YOUNG アート部門 推薦作品 インタラクティブアート	白井 剛+YCAM ビデオダンス制作プロ ジェクト[Choreography filmed: 5days of movement] 白井 剛+YCAM アート部門 推薦作品 Web	デジタル戦士サンジゲン 仲村 海斗 エンターテインメント部門 新人賞 ゲーム
Soak Yunsil HEO / Hyunwoo BANG アート部門 推薦作品 インタラクティブアート	Today's Smile qubibi(勅使河原 一雅) アート部門 推薦作品 Web	リズムシ 成瀬 つばさ エンターテインメント部門 新人賞 キャラクター
Sonophore Niall QUINN / Oliver WILSHEN アート部門 推薦作品 インタラクティブアート	La chambre des machines Nicolas BERNIER / Martin MESSIER アート部門 推薦作品 その他	謎惑館 〜音の間に間に〜 中井 実 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム
ballet rotoscope 佐藤 雅彦+EUPHRATES アート部門 推薦作品 映像	Prospectus For A Future Body Ka Fai CHOY アート部門 推薦作品 その他	忍者ロワイヤル 忍者ロワイヤル、クリエイティブチーム 代表 船橋 慶充 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム
BIND DRIVE 佐藤 雅晴 アート部門 推薦作品 映像	Analogue Kingdom Esther JOHNSON アート部門 推薦作品 映像	ポケモン立体図鑑BW 小笠原 博之(クリーチャーズ) エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム
I MAY HAVE LOST FOREVER MY UMBRELLA Johan GRIMONPREZ アート部門 推薦作品 映像	INVASION Markus HANAKAM / Roswitha SCHULLER アート部門 推薦作品 映像	Kinect for Xbox 360 Carl Ledbetter / John Ikeda / Claire Gerhardt エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム

Jimmyfish Yanyun CHEN / Sara CHONG / Jason POH / Jachin POUSSON / Shyalala エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム	RADWIMPS DADA 清水 康彦 エンターテインメント部門 推薦作品 映像	Mr.shapeのタッチカード 白川 東一 / 高村 剛 エンターテインメント部門 推薦作品 アプリケーション・ソフトウェア	Folksongs & Ballads Mathieu VERNERIE, Pauline DEFACHELLES, Rémy PAUL アニメーション部門 優秀賞 短編アニメーション
Panasonic Prime Smash! 次田 寿生 / 八田 晃 / 福田 伸矢 / 清野 あゆみ エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム	Sailing Days (salyu×salyu) 辻川 幸一郎 エンターテインメント部門 推薦作品 映像	muse'ic visualiser 大野真吾 a.k.a. Merce Death / 伊東 玄己 / 徳井 直生 / 齊藤 精一 / 千葉 秀憲 / 高橋 志津夫 エンターテインメント部門 推薦作品 アプリケーション・ソフトウェア	やさしいマーチ 植草 航 アニメーション部門 新人賞 短編アニメーション
Puchi Puchi Earth by Android(TM) au 林 智彦 / 千房 けん輔 / 川村 真司 / 木谷 知亮 / 神田 宗秋 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム	Sony Tablet Two will 齋藤 精一 / 谷川 英司 / 堀尾 寛太 / 高橋 聡 / 森口 哲平 / Nadya KIRILLOVA エンターテインメント部門 推薦作品 映像	TinyRiot 千房 けん輔 / 澤井 妙治 / 林 智彦 / 川村 真司 / 比嘉 了 エンターテインメント部門 推薦作品 アプリケーション・ソフトウェア	rain town 石田 祐康 アニメーション部門 新人賞 短編アニメーション
VANQUISH 三上 真司 エンターテインメント部門 推薦作品 ゲーム	SOUR「映し鏡」 川村 真司 / 清水 幹太 / Saqoosha / 大野 大樹 エンターテインメント部門 推薦作品 映像	ToyToyota「Backseat Driver」 伊藤 直樹 / 原野 守弘 / 清水 幹太 / 中村 洋基 / 川村 真司(PARTY) エンターテインメント部門 推薦作品 アプリケーション・ソフトウェア	Rabenjunge Andrea Deppert アニメーション部門 新人賞 短編アニメーション
アホな走り集 カンボジア編 大月 壮 (music by Nujabes / lyrics by Shing02) エンターテインメント部門 推薦作品 映像	Tic Tac 垣本 直(HEART-S) / 保坂 裕之(HEART-S) エンターテインメント部門 推薦作品 遊具	Tuneblock 田中 潤(東京工科大学大学院) エンターテインメント部門 推薦作品 アプリケーション・ソフトウェア	おまえうまそうだな 藤森 雅也 アニメーション部門 推薦作品 劇場公開アニメーション
九州新幹線全線開業「祝!九州縦断ウェブ」総集編 古川 裕也 エンターテインメント部門 推薦作品 映像	Touchable Fountains 西口 重孝(ジューコー) / 神田 竜 / 長谷川 尚哉(長谷川技術開発) / 菅 博(菅工房) / 辻尾 真由美 エンターテインメント部門 推薦作品 遊具	3D Light Writer 樫田 壮一 / 長谷川 裕介 / 栗澤 俊章 エンターテインメント部門 推薦作品 アプリケーション・ソフトウェア	あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。 長井 龍雪(監督) / 岡田 麿里(脚本) / 田中 将賀(キャラクターデザイン) アニメーション部門 推薦作品 テレビアニメーション
森の木琴 原野 守弘 / 西田 淳 / 菱川 勢一 / 松尾 謙二郎 / 津田 三朗 / 大磯 俊文 エンターテインメント部門 推薦作品 映像	時をつくる ところで創る THE OBAYASHI EXPERIENCE 小池 博史 エンターテインメント部門 推薦作品 Web	撃墜王ゲーム 宗 佳広 / 山田 純也 エンターテインメント部門 推薦作品 その他	花咲くいろは 安藤 真裕 アニメーション部門 推薦作品 テレビアニメーション
All Is Not Lost PLAY! with chrome「OK Go - All Is Not Lost」クリエイティブチーム 大八木 翼 エンターテインメント部門 推薦作品 映像	JOURNEY INTO CLOUD 吉田 竜二 / 安部 卓也 エンターテインメント部門 推薦作品 Web	即席紙芝居 佐々木 遊太 エンターテインメント部門 推薦作品 その他	輪るピングドラム 幾原 邦彦 アニメーション部門 推薦作品 テレビアニメーション
amazarashi「クリスマス」 YK BX エンターテインメント部門 推薦作品 映像	NHK宇宙チャンネル 飯野 滋(NHK宇宙チャンネル編集部) エンターテインメント部門 推薦作品 Web	nicofarre nicofarre 総支配人 原 知行 エンターテインメント部門 推薦作品 その他	Panty & Stocking with Garterbelt 今石 洋之 アニメーション部門 推薦作品 テレビアニメーション
LAMA Spell 清水 康彦 エンターテインメント部門 推薦作品 映像	ONE OK ROCK -Re:make- 左居 穰 エンターテインメント部門 推薦作品 Web	Perfume LIVE@東京ドーム「1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11」 MIKIKO+Perfume エンターテインメント部門 推薦作品 その他	STEINS ; GATE 佐藤 卓哉 / 浜崎 博嗣 アニメーション部門 推薦作品 テレビアニメーション
NATURAL BEAUTY BASIC 2010秋冬 キャンペーン 増山 晶 / 佐藤 朝子 / 土屋 泰洋 / 児玉 裕一 エンターテインメント部門 推薦作品 映像	SHOOTTER 正村 堅太郎 / イム ジョンホ / 勅使河原 一雅 エンターテインメント部門 推薦作品 Web	魔法少女まどか☆マギカ 新房 昭之(監督) アニメーション部門 大賞 テレビアニメーション	TIGER & BUNNY 株式会社サンライズ 尾崎 雅之(代表) / さとう けいいち(監督) / 西田 征史(シリーズ構成) アニメーション部門 推薦作品 テレビアニメーション
NIKE KICHIJOJI 3D ILLUMINATION 松本 卓也(LANP) / 染野 智(DAIKO) エンターテインメント部門 推薦作品 映像	The Google Puzzle PLAY! with chrome「The Google Puzzle」クリエイティブチーム日野 貴行 エンターテインメント部門 推薦作品 Web	ももへの手紙 沖浦 啓之(監督) アニメーション部門 優秀賞 劇場公開アニメーション	アイデアが捕まらない。 奥田 昌輝 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション
pair* Factory MIX PV 小林 浩康 / 松井 祐亮 / 宮城 健 / 鈴木 貴志 / 福澤 瞳(KDB) エンターテインメント部門 推薦作品 映像	海上自衛隊 敬礼訓練プログラム SALUTE TRAINER 生駒 健太 / 畑中 翔太 / 倉田 潤一 エンターテインメント部門 推薦作品 アプリケーション・ソフトウェア	マイブリッジの糸 山村 浩二 アニメーション部門 優秀賞 短編アニメーション	ぐりうむ キム・ハケン アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション
		鬼神伝 川崎 博嗣 アニメーション部門 優秀賞 劇場公開アニメーション	これくらいで歌う 根本 晃佑 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション

ちいさなあなたへ～Someday～ 南家 こうじ アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	Romance Georges SCHWIZGEBEL アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	アイアムアヒーロー 花沢 健吾 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	ママはテンバリスト 東村 アキコ マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌
ホリデイ 平野 遼 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	Scripta volant 折笠 良 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	一日の最後に読みたい本。～奈知未佐子 自選短編集～ 奈知 未佐子 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	水蛸蛤の庭 須藤 真澄 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌
約束 河野 亜季 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	SPOTS SPOTS 胡 嫻嫻 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	宇宙兄弟 小山 宙哉 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	義男の空 エアーダイブ マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌
ようこそぼくです 姫田 真武 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	土星マンション 岩岡 ヒサエ マンガ部門 大賞 単行本・雑誌	かりあげクン 植田 まさし マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	乱と灰色の世界 入江 亜季 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌
Animation Hotline Dustin GRELLA アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	あの日からのマンガ しりあがり寿 マンガ部門 優秀賞 単行本・雑誌	機動戦士ガンダム THE ORIGIN 安彦 良和 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	I【アイ】 いがらし みきお マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌
BONNIE 岡本 将徳 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	皺 パコ・ロカ(著) / 小野 耕世、高木 菜々(訳) マンガ部門 優秀賞 単行本・雑誌	西原理恵子の人生画力対決 西原 理恵子 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	MOON一昴(スバル)ソリチュード スタンディングー 曾田 正人 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌
Das Haus David BUOB アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	秘密 トップ・シークレット 清水 玲子 マンガ部門 優秀賞 単行本・雑誌	シュトヘル 伊藤 悠 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	Sunny 松本 大洋 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌
Garden 鈴木 隼吾 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	ファン・ホーム ―ある家族の悲喜劇― アリソン・ベクダル(著) / 椎名 ゆかり(訳) マンガ部門 優秀賞 単行本・雑誌	進撃の巨人 諫山 創 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	アプリシティブ 菊島 秀明 マンガ部門 推薦作品 Web・Mobile
Helsingin kesä Maria BJÖRKLUND / Maria PALAVAMÄKI / Salla HÄMÄLÄINEN / Black Motor(music) / Risto アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	なかよし団の冒険 西村 ツチカ マンガ部門 新人賞 単行本・雑誌	テルマエ・ロマエ ヤマザキ マリ マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	戦うグラフィック！ 西野 杏 マンガ部門 推薦作品 Web・Mobile
Herr Hoppe und der Atommüll Jan LACHAUER / Thorsten LÖFFLER アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	御談 人情幕ノ内 まげもん。 昌原 光一 マンガ部門 新人賞 単行本・雑誌	ななめの音楽 川原 由美子 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	血潜り林檎と金魚鉢男 阿部 洋一 マンガ部門 推薦作品 Web・Mobile
many go round 中西 義久 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	マスタード・チョコレート 冬川 智子 マンガ部門 新人賞 Web・Mobile	人間失格 古屋 兎丸 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	とある市議の日常 小田 りえ子 マンガ部門 推薦作品 Web・Mobile
MODERN No.2 水江 未来 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	アンカル アレハンドロ・ホドロフスキー(作) / メピウス(画) / 原 正人(訳) マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	はたらけ、ケンタウロス！ えすとえむ マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	interw@// 佐々木 充彦 マンガ部門 推薦作品 Web・Mobile
Omerta Nicolas LOUDOT, Fabrice FITENI, Arnaud JANVIER, Gaspard ROCHE アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	北城百画帖 AKRU マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	花に染む くらもち ふさこ マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	いつも、どこかで 木川田 ともみ マンガ部門 推薦作品 その他
PLUG, The NeW WORLD 合田 経郎 アニメーション部門 推薦作品 短編アニメーション	氷河期 ニコラ・ド・クレシー(著) / 大西 愛子(訳) マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	ママゴト 松田 洋子 マンガ部門 推薦作品 単行本・雑誌	

9-7 名簿 The NACT Council and Staff List

評議員名簿 The NACT Council

新井光風	(社)日展理事、大東文化大学名誉教授、書家
梅原幸雄	東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻教授、日本画家
逢坂恵理子	横浜美術館館長
奥谷禮子	(株)ザ・アール代表取締役社長
勝田哲司	サントリー美術館支配人、サントリー芸術財団専務理事
熊倉純子	東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科教授
小林真理	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
酒井忠康	世田谷美術館長
桜井 武	熊本市現代美術館長
澄川喜一	(社)日本美術家連盟常任理事、島根県芸術文化センター長、彫刻家
高階秀爾	大原美術館長、西洋美術振興財団理事長
高橋信也	森美術館館長付アドバイザー
塗師祥一郎	(社)日展常務理事、日洋会理事長、洋画家
馬淵明子	日本女子大学人間社会学部文化学科教授
南 直哉	東京電力(株)顧問
山本 貞	(社)二紀会理事長、(社)日本美術家連盟理事長、洋画家
横里幸一	(株)NHKプロモーション代表取締役社長

平成24(2012)年2月末現在 17名

職員名簿 Staff

館長	青木 保(平成24年1月1日～)、林田英樹(～平成23年12月31日)
副館長	福永 治
館長補佐	小松弥生

[庶務課]	[学芸課]
庶務課長/室長(管理)	学芸課長/企画室長
係長(庶務)	主任研究員(企画)
一般職員(庶務)	主任研究員(企画)
事務補佐員	アソシエイト・フェロー
事務補佐員	研究補佐員
事務補佐員	研究補佐員
係長(会計)	研究補佐員
係主任(会計)	研究補佐員
事務補佐員	研究補佐員
事務補佐員	研究補佐員
事務補佐員	研究補佐員
室長(運営)	研究補佐員
係長(事業)	事務補佐員
事務補佐員	事務補佐員
事務補佐員	事務補佐員
事務補佐員	事務補佐員
	教育普及室長(主任研究員)
	主任研究員(教育普及)
	研究補佐員
	研究補佐員
	情報資料室長(主任研究員)
	主任研究員(情報資料)
	アソシエイト・フェロー
	研究補佐員
	研究補佐員
	研究補佐員
	研究補佐員
	研究補佐員
	情報研究補佐員
	事務補佐員
	特任研究員

平成24(2012)年2月末現在 49名

平成23年度 国立新美術館 活動報告

発行者：青木保
発行：国立新美術館
東京都港区六本木7-22-2
電話03-6812-9900

印刷：(株)アイワード
発行日：平成24年7月11日(非売品)

NACT REPORT
April 2011 – March 2012
The National Art Center, Tokyo

Publisher: AOKI Tamotsu
Published by: The National Art Center, Tokyo
7-22-2 Roppongi, Minato-ku, Tokyo, 106-8558, Japan
Printed by: iWORD

